

琵琶湖博物館業績目録

第 20 号

2015 年度

滋賀県立琵琶湖博物館 編

滋賀県立琵琶湖博物館

2016 年 6 月

*Performance Records of the Lake Biwa Museum, No. 20*

*From April 2015 to March 2016*

*Edited by the Lake Biwa Museum (Chief editor: URAYAMA, Shigeo)*

*Published by the Lake Biwa Museum*

*Oroshimo-cho 1091, Kusatsu, Shiga 525-0001, Japan*

*© Lake Biwa Museum, June 2016*

*All rights reserved*

## 目 次

収録内容 .....	3
<b>館長</b>	
篠原 徹                      SHINOHARA, Toru .....	5
<b>副館長</b>	
高橋 啓一                      TAKAHASHI, Keiichi .....	8
<b>上席総括学芸員</b>	
用田 政晴                      YODA, Masaharu .....	12
グライガー, マーク J.        GRYGIER, Mark Joseph .....	15
<b>環境史研究担当</b>	
山川 千代美                      YAMAKAWA, Chiyomi .....	20
里口 保文                      SATOGUCHI, Yasufumi .....	23
橋本 道範                      HASHIMOTO, Michinori .....	27
井関 明子                      ISEKI, Akiko .....	31
楊 平                              YANG, Ping .....	33
林 竜馬                              HAYASHI, Ryoma .....	36
大久保 実香                      OKUBO, Mika .....	39
<b>生態系研究担当</b>	
松田 征也                      MATSUDA, Masanari .....	42
桑原 雅之                      KUWAHARA, Masayuki .....	46
八尋 克郎                      YAHIRO, Katsuro .....	49
亀田 佳代子                      KAMEDA, Kayoko .....	52
芳賀 裕樹                      HAGA, Hiroki .....	56
水谷 智                              MIZUTANI, Satoshi .....	58
安福 俊幸                      YASUFUKU, Toshiyuki .....	61
榊永 一宏                      MASUNAGA, Kazuhiro .....	62
スミス, ロビン J.              SMITH, Robin James .....	65
浦山 重雄                      URAYAMA, Shigeo .....	67
山本 充孝                      YAMAMOTO, Michitaka .....	70
芦谷 美奈子                      ASHIYA, Minako .....	73
澤邊 久美子                      SAWABE, Kumiko .....	75
<b>博物館学研究担当</b>	
大塚 泰介                      OHTSUKA, Taisuke .....	78
戸田 孝                              TODA, Takashi .....	83
岡部 陽造                      OKABE, Youzou .....	86

金尾 滋史	KANAOKI, Shigefumi	89
間所 忠昌	MADOKORO, Tadaaki	94
渡部 圭一	WATANABE, Keiichi	97
<b>嘱託員</b>		
池田 勝	IKEDA, Masaru	100
草加 伸吾	KUSAKA, Shingo	103
鈴木 隆仁	SUZUKI, Takahito	105
三桝 友梨香	MIMASU, Yurika	106
渡邊 潤子	WATANABE, Junko	108
<b>名誉学芸員</b>		
川那部 浩哉	KAWANABE, Hiroya	110
布谷 知夫	NUNOTANI, Tomoo	113
中島 経夫	NAKAJIMA, Tsuneo	117
前畑 政善	MAEHATA, Masayoshi	118
<b>特別研究員</b>		
天野 一葉	AMANO, Hitoha	119
植田 文雄	UEDA, Fumio	120
太田 悠造	OTA, Yuzo	121
柏尾 珠紀	KASHIO, Tamaki	122
川瀬 成吾	KAWASE, Seigo	124
北村 美香	KITAMURA, Mika	126
黒岩 啓子	KUROIWA, Keiko	129
篠原 耕平	SHINOHARA, Kohei	132
朱 伟	ZHU, Wei	133
瀬口 眞司	SEGUCHI, Shinji	135
高梨 純次	TAKANASHI, Junji	136
辻川 智代	TSUJIKAWA, Tomoyo	137
中野 聡志	NAKANO, Satoshi	138
中野 正俊	NAKANO, Masatoshi	139
林 博通	HAYASHI, Hiromichi	140
廣石 伸互	HIROISHI, Shingo	141
藤岡 康弘	FUJIOKA, Yasuhiro	142
ブレキモ, ロバート J.	Blakemore, Robert John	144
矢田 直樹	YADA, Naoki	145
総合研究・共同研究による印刷物		147
2015年度の研究活動をふりかえって		149

## 収録内容

1. この業績目録には、滋賀県立琵琶湖博物館の学芸職員および嘱託員、特別研究員等の2015年4月から2016年3月までの内容が収録されています。
2. この業績目録には、次の項目に該当する業績を収録しました。

## 一年間の研究

### 印刷物

【学術論文】

【専門分野の著作】

【一般向けの著作】

【これまでの業績集に掲載されていない著作】

## 研究活動に関する業績

【学会・研究会での発表】

【インターネットページでの公表】

【研究プロジェクト等への参加】

【学会等の役職・運営、論文の査読など】

【大学の講義・実習、学生の指導など】

【受賞など】

## 博物館事業に関する業績

【交流・サービス事業】

*琵琶湖博物館の主催行事*

*他の博物館・機関等主催行事*

*視察対応*

*メディアへの協力*

【情報整備活動】

*琵琶湖博物館の活動*

*他博物館・機関の活動*

【資料整備活動】

*琵琶湖博物館の活動*

*他博物館・機関の活動*

【展示活動】

*琵琶湖博物館の活動*

*他博物館・機関の活動*

【企画調整活動】

【広報営業活動】

【新琵琶湖博物館創造室活動】

【研究部関連事業】

## 館内の人事・館外活動等に関すること

【館内の人事】

【海外渡航】

【館外の活動】

## 印刷物

### 【一般向けの著作】

- 篠原 徹 (2015) *自然を歩く*. 結社配信用連載エッセイ, 公益社団法人俳人協会, 東京都.
- 篠原 徹 (2015) ごあいさつ. 第23回企画展示「琵琶湖誕生—地層にねむる7つの謎—」展示解説書, 滋賀県立琵琶湖博物館: 2.
- 篠原 徹 (2015) フィールドワークの絶望と愉悦. *歴博ブックレット*, 30, 歴史民俗博物館振興会, 千葉県.
- 篠原 徹 (2015) *はじめて学ぶ民俗学*. 市川秀之・中野紀和・常光 徹・福田アジオ 編, ミネルバ書房: 110-118.
- 篠原 徹 (2015) 地域発見 36 史跡義仲寺・芭蕉が愛した人と風土. *毎日新聞*, 毎日新聞社, 5月12日.
- 篠原 徹 (2015) 地域発見 43 国友鉄砲の里資料館・特異技術からみる歴史. *毎日新聞*, 毎日新聞社, 9月1日.
- 篠原 徹 (2016) 地域発見 54 大角家住宅旧和中散本舗・東海道の旅人救った薬屋. *毎日新聞*, 毎日新聞社, 2月16日.
- 篠原 徹 (2016) 地域発見 56 醒井木彫美術館・上丹生の“作品展示場”. *毎日新聞*, 毎日新聞社, 3月15日.

## 研究活動に関する業績

### 【研究プロジェクト等への参加】

科学研究費助成事業（基盤 B）「日本の博物館総合調査研究」（研究代表者：篠原 徹），研究代表者（2013～2015年度）.

### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

東京大学大学院農学生命科学研究科, 博士論文審査, 1件.  
日本民俗学会, 評議員, 2014年10月～.  
文部科学省「新学術領域研究」, 査読, 1件.

### 【大学の講義・実習、学生の指導など】

2015年7月26日, 神戸大学大学院, 講義.

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### *琵琶湖博物館の主催行事*

- 質問コーナー・フロアトーク, 琵琶湖博物館, 5件.
- 2015年7月18日, 第23回企画展示「琵琶湖誕生—地層にねむる7つの謎—」, 琵琶湖博物館, 開会挨拶.
- 2015年8月8日, 滋賀が誇る逸品展関連講演会「宇宙からの贈り物」, 琵琶湖博物館, 開会挨拶.
- 2015年10月11日, C展示室クロージングイベント「滋賀の暮らしを語ろう昭和から平成へ」, 琵琶湖博物館, 開会挨拶.
- 2015年12月13日, 琵琶湖地域の水田生物研究会, 琵琶湖博物館, 開会挨拶.
- 2015年12月20日, 淡海こどもエコクラブ活動交流会・表彰式, 琵琶湖博物館, オブザーバー・選考委員.

2016年1月23日、新琵琶湖学セミナー「いざりリニューアルへ！」、琵琶湖博物館、開講挨拶。

### **他の博物館・機関等主催行事**

2015年4月17日、滋賀の食文化について、美濃加茂伝承料理の会、琵琶湖博物館、講師。

2015年5月9日、エチオピア・コンソの織物文化、日本織物文化研究会、総会・講演会・見学会、大和文華館(奈良市)、講演。

2015年5月28日、自然の遊びと教育、滋賀県教育会、研究大会草津・栗東大会、草津アミカホール(滋賀県草津市)、講演。

2015年7月22日、人文学会学術講演会、神戸学院大学(神戸市中央区)、講演。

2015年7月25日、国際シンポジウム「カワウとのつきあい方」、環境省、琵琶湖博物館、開会挨拶。

2015年8月4日、自然と共に生きる豊かな社会を求めて、第66回近畿小学校長会協議会研究大会滋賀大会、近畿小学校長会協議会、大津プリンスホテル(滋賀県大津市)、講演。

2015年9月27日、琵琶湖と俳諧、日本遺産フォーラム in 滋賀、日本遺産「水の文化」ツーリズム推進協議会、ピアザ淡海(滋賀県大津市)、講演。

2015年10月24日、「滋賀の自然観察シリーズ」発刊30周年記念事業、滋賀の理科教材研究委員会、ライズヴィル都賀山(滋賀県守山市)、来賓あいさつ。

2015年10月27日、滋賀県立琵琶湖博物館のリニューアル、関西博物館連盟例会、関西博物館連盟、安土城考古博物館(滋賀県近江八幡市)、講演。

2015年11月7日、第5回生物多様性全国ミーティング生物多様性自治体ネットワークフォーラム、国連生物多様性の10年日本委員会・環境省、琵琶湖博物館、開会挨拶。

2016年1月30日、公開座談会「ふなずし」の歴史が変わる、滋賀県ミュージアム活性化推進事業、琵琶湖博物館、開会挨拶・コーディネート。

2016年2月7日、野生生物研修会、滋賀県獣医師会、琵琶湖博物館、開会挨拶。

2016年2月11日、地域文化の記録、岐阜女子大学文化情報研究センター、デジタルアーカイブ in 岐阜2016、岐阜女子大学(岐阜市)、講演。

### **視察対応**

2015年7月8日、挨拶、タイ・ナショナルディスカバリーミュージアム・インスティテュート研究員。

2015年7月27日、挨拶・案内、秋篠宮親王、佳子内親王。

2015年8月24日、挨拶・案内、衆議院環境委員会。

2015年9月30日、挨拶・案内、彦根市副市長。

### **メディアへの協力**

2015年12月4日、サンライズ出版、Duet 第27巻(3)、対談「ふなずしの歴史」再考。

2016年1月13日、中日新聞、私の先生、インタビュー。

### **【展示活動】**

#### **琵琶湖博物館の活動**

モーニングレクチャー、講義、4回。

### **【企画調整活動】**

京セラ CSR 経済・社会・環境報告会、招待者代表挨拶、2015年11月11日、京セラ八日市工場(滋賀県東近江市)。感謝状贈呈式、4件。

JICA 研修 博物館とコミュニティ開発コース、開会挨拶、2015年10月2日、琵琶湖博物館。



## 館内の人事・館外活動等に関すること

### 【館内の人事】

滋賀県博物館協議会，会長.

滋賀県ミュージアム活性化推進委員会，会長.

### 【館外の活動】

国立歴史民俗博物館，名誉教授.

総合研究大学院大学，名誉教授.

琵琶湖環境研究推進機構，顧問.

環境省環境研究企画委員会，委員.

公益信託四方記念地球環境保全研究助成基金運営委員会，委員.

公益財団法人尾瀬保護財団尾瀬賞運営委員会，委員.

財団法人長尾自然環境財団，評議員.

公益財団法人国際湖沼環境委員会，理事.

公益財団法人日本博物館協会，参与.

滋賀県立大学教育研究評議会，委員.

京都の文化的景観研究会，検討委員

滋賀県文化振興事業団，個人会員.

家畜資源研究会，個人会員.

生態人類学会，会員.

本年度は、昨年度から開始した企業連携を強化するため、企業訪問を重ねた。その結果、目標としていた基準にまで達することができた。企業訪問は、企業からの応援や企業との連携を深めるだけでなく、これまで博物館とつながりが薄かった層に対して、琵琶湖博物館の魅力やリニューアルの告知をすることができ、その意義は大きいといえる。

担当する“はしかけ”の「ほねほねくらぶ」および「古琵琶湖発掘隊」の活動も行った。特に、古琵琶湖発掘隊はフィールドとする多賀町での発掘と発掘した各種の化石を扱うための勉強を参加者が自ら重ね、それぞれに実力をつけてきた。

研究面では、琵琶湖博物館の総合研究の分担者として琵琶湖の環境史（特に動物化石）を明らかにするために、後述する科研費や共同研究とも組み合わせる研究を進めた。共同研究では代表者を務めているX線CTを活用したゾウ化石の研究が最終年度となり、次々にでる成果を公表した。今後は、成果をまとめた論文を公表する予定である。外部資金としては、科学研究費基盤 (C) 「博物館、市民が連携した総合的古環境調査の実践的研究 (2014～2016年度)」 (研究代表者：高橋啓一) の2年目として、多賀町四手における古琵琶湖層群の発掘を行いながら、市民とともに約190万年前の古環境を明らかにする調査を行った。この調査には、琵琶湖博物館の学芸員、はしかけ「古琵琶湖発掘隊」、多賀町立博物館、地域の人々が参加している。そのほか、科学研究費基盤 (B) 「北東アジアにおける最終氷期最盛期における主要樹木分類群の分布と古植生」 (研究代表者：高原 光) (2014～2017年度) の研究分担者として、モンゴルにおける古生物調査を行った。

## 印刷物

### 【学術論文】

Takahashi, K., Baba, R., Kondo, Y., Kitagawa, H. and Seki, M. (2016) Observation by X-ray computed tomography of the Usuda specimen of *Mammuthus "trogotherii"*. *Bulletin of Nojiriko Museum*, 24, Nojiriko Museum: 24, 1-6.

高橋啓一・馬場理香・加藤正明 (2016) 門前標本、見玉標本 (*Mammuthus* 属) のX線CT装置による観察. *長岡市立科学博物館研究報告*, 51, 長岡市立科学博物館: 51, 1-6.

高橋啓一 (2016) 隠岐諸島周辺の海底から産出したナウマンゾウ化石. *隠岐の文化財*, 33, 隠岐の島町教育委員会: 45-53.

### 【専門分野の著作】

高橋啓一 (2015) 旧石器時代から縄文時代にかけての動物相の変化. *季刊考古学*, 雄山閣, 132: 23-27.

### 【一般向けの著作】

高橋啓一 (2015) 湖岸より 238 ワニもいた太古の琵琶湖. *中日新聞*, 中日新聞社, 5月30日.

高橋啓一 (2015) 湖岸より 242 多賀町から“化石”の親善大使. *中日新聞*, 中日新聞社, 7月25日.

高橋啓一 (2015) 湖岸より 248 サイもいた岸辺. *中日新聞*, 中日新聞社, 10月10日.

高橋啓一 (2016) 北海道のゾウ化石は語る. *カイ*, 30: 29.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

高橋啓一・馬場理香・北川博道 (2016) X線CT装置によるムカシマンモスゾウ臼歯の観察. 日本古生物学会第165回例会, 京都大学 (京都市), [ポスター発表].

近藤洋一・高橋啓一・馬場理香・北川博道・関めぐみ (2015) 臼田標本 (*Mammuthus trogontherii*) のX線CTによる観察. 日本地質学会第122年学術大会, 信州大学 (長野県松本市), [ポスター発表].

### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館専門研究「古琵琶湖層群から新しく発見された魚類頭骨化石の形態解析」, (2015年度).

琵琶湖博物館総合研究「琵琶湖の生物多様性の成立過程の解明」(研究代表者:マーク J. グライガー), 研究分担者(2011~2015年度).

琵琶湖博物館共同研究「X線CT画像を使ったシガゾウの分類学的再検討」(研究代表者:高橋啓一), 研究代表者(2013~2015年度).

科学研究費助成事業(基盤C)「博物館, 市民が連携した総合的古環境調査の実践的研究」(研究代表者:高橋啓一), 研究代表者(2014~2016年度).

科学研究費助成事業(基盤B)「北東アジアにおける最終氷期最盛期における主要樹木分類群の分布と古植生」(研究代表者:高原 光), 研究分担者(2014~2017年度).

### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

化石研究会, 運営委員, 2013年6月~.

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

フロアトーク・質問コーナー, 琵琶湖博物館, 8回.

はしかけ運営「ほねほねくらぶ」・「古琵琶湖発掘隊」, 担当.

2015年5月24日, 360万年前の化石観察会, 企画展示関連イベント, 運営.

#### 他の博物館・機関等主催行事

2015年5月22日, 琵琶湖博物館をもっと楽しんでみませんか, 滋賀医療機器工業会平成27年度総会特別講演会, クサツエストピアホテル(滋賀県草津市), 講師.

2015年8月13日・14日・23日, 博物館の概要, 近江鉄道株式会社, 近江鉄道バスツアー, 琵琶湖博物館, 講師.

2015年10月23日, 滋賀県中学校教育研究会理科部会 記念講演, 多賀町立多賀中学校 (滋賀県), 講師.

2015年11月7日, 常盤小学校ふれあいまつり 講演会 (5年生対象), 常盤小学校 (滋賀県草津市), 講師.

#### 視察対応

2015年6月3日, 挨拶, マレーシア国立水理学研究所所長ほか.

2015年6月11日, 視察対応, 札幌市観光文化局市民文化課長ほか.

2015年7月25日, 挨拶, 日本生命森の探検隊.

2015年7月27日, C展示室説明, 秋篠宮文仁親王および佳子内親王.

2015年9月3日, 館内案内, 自由民主党滋賀県議会議員団会派研修.

2015年10月9日, 館内案内, 日本の森を守る地方銀行有志の会.

2015年10月22日, 館内案内, インド行政・企画関係者.

2015年10月22日, 館内案内, KBS 京都滋賀支局.  
2015年10月30日, 館内案内, 滋賀県医療器具工業会.  
2015年11月6日, 館内案内, 環境大臣政務官.  
2015年11月10日, 館内案内, 加須市市議会議員.  
2015年11月10日, 企画展示案内, 琵琶湖博物館協議会委員.  
2015年11月28日, 博物館の概要説明, 近畿バス協会研修.  
2015年12月2日, A展示室説明, 琵琶湖博物館寄附者.  
2016年2月24日, 館内案内, 大阪ガス株式会社.  
2016年3月21日, 挨拶, 中国新石器考古学研究者.

### **メディアへの協力**

2015年11月18日, エフエム滋賀, フォーカスイン滋賀「古琵琶湖の化石と博物館のリニューアル」, 出演.

### **【情報整備活動】**

#### **琵琶湖博物館の活動**

化石標本データベース公開, 担当.  
哺乳類標本データベース公開, 担当.

### **【資料整備活動】**

#### **琵琶湖博物館の活動**

化石資料, 受入・貸出.  
脊椎動物資料, 受入・貸出.

### **【展示活動】**

#### **琵琶湖博物館の活動**

2015年7月18日～11月23日, 第23回企画展示「琵琶湖誕生—地層にねむる7つの謎—」, 展示製作.  
モーニングレクチャー, 講義, 4回.

#### **他博物館・機関の活動**

2015年9月11日～9月12日, 東京都立産業技術研究センターINNOVSTA2015!, 展示用説明映像製作協力.  
2015年9月12日～9月27日, 多賀町立博物館企画展「多賀の自然環境—発掘された180万年前の多賀—」, 展示製作協力.  
2015年6月, 大阪大学総合学術博物館常設展示, 解説パネル製作協力.

### **【企画調整活動】**

新任職員等研修, 博物館の設立の理念と経緯紹介, 講師, 2015年4月14日, 琵琶湖博物館.  
新任職員等研修, A展示室紹介, 講師, 2015年4月15日, 琵琶湖博物館.  
JICA研修 博物館とコミュニティ開発コース, 琵琶湖博物館の概要および設立経緯, 講師, 2015年10月13日, 琵琶湖博物館.  
JICA研修 博物館とコミュニティ開発コース, 博物館の研究活動(特に参加型研究, コミュニティー開発関連の研究), 講師, 2015年10月14日, 琵琶湖博物館.  
サテライトミュージアム事業, 「博物館がやってきた!」展示物設営・運営, 東急ハンズ心斎橋店(大阪市中央区).

### **【広報営業活動】**

企業訪問, 25件.

## 館内の人事・館外活動等に関すること

### 【館内の人事】

2004年～ 図書選定委員.

2014年～ 研究審査委員.

2015年4月14日～締結日, 新琵琶湖博物館創造第1期展示制作および設置等業務, 契約審査会委員.

### 【海外渡航】

2015年9月6日～11日, モンゴル国ウランバートル市(モンゴル科学アカデミー考古学研究所) およびヘンティール県ウンドゥルハーン市(地域研究博物館), 科研費研究に係る古脊椎動物調査.

### 【館外の活動】

2010年10月6日～2015年10月5日, 高島市指定管理候補者選定委員.

2014年4月～, 琵琶湖環境研究推進機構, 幹事.

2015年6月23日～2016年3月31日, 野尻湖ナウマンゾウ博物館構想策定委員会, 委員.

2012年9月1日～, 西日本自然史系博物館ネットワーク, 標本救済ネットワーカー.

この 10 年ほどの間は、近江の前方後円墳を中心とする古墳時代首長墓・山岳寺院の研究、湖上交通史の考古学的追究に加えて、中国長江下流域・中流域の太湖や洞庭湖の考古・民俗資料の基礎的整備、それに琵琶湖水系を含めた水環境や民具資料を扱った考古民俗学的方法論の開発研究をテーマの中心に取り組んできた。

2015 年度は、特に古墳時代首長墓の実態を旧郡ごとに把握する中で、琵琶湖をめぐる支配や領域を探る研究の成果として、彦根市荒神山古墳を主な素材に調査を進め、前方後円墳の中でも特異な墳丘の在り方を探り、特に前期前方後円墳の類例について近畿地方を中心に求めて検討した。これは『淡海文化財論叢』第 7 輯に投稿した。

一方、水環境施設に関わる考古・民俗・社会学的調査研究成果の一環として、長江流域における水田やエリ・家船に関する研究は、琵琶湖との比較の中での評価を行っており、琵琶湖地域の水環境における考古民俗学的調査法の開発研究と合わせてその成果を総合的に取りまとめ、2016 年 3 月に『琵琶湖博物館研究調査報告』第 28 号として 2 編の論考を掲載して刊行した。

また、地域の企業との連携も近年の博物館の大きな使命の一つであり、その一環として「謎でなくなりつつある琵琶湖に沈んだ遺跡」と題した小文を文具会社のネット機関誌『ヨシでびわ湖を守るネットワーク通信』に掲載したところである。

その他、石川県埋蔵文化財センター、彦根ロータリークラブ、伊吹山文化資料館、JICA などでの研究会・講演会発表の機会を得たし、大学や市民団体関係授業・講義の一環で博物館学について話をする機会があった。

## 印刷物

### 【学術論文】

用田政晴 (2015) 古墳時代前期首長墓に共通する特異な墳形—荒神山古墳の再検討—. *淡海文化財論叢*, 7, 淡海文化財論叢刊行会: 29-32.

### 【専門分野の著作】

用田政晴 (2016) 太湖・洞庭湖に琵琶湖の祖形を探る水環境民俗調査法. *研究調査報告「東アジアの水環境—水辺暮らしの記憶と記録—」*, 28, 滋賀県立琵琶湖博物館: 5-38.

用田政晴 (2016) 琵琶湖水系における湧水環境保全に向けた基礎資料整備と方法論の開発. *研究調査報告「東アジアの水環境—水辺暮らしの記憶と記録—」*, 28, 滋賀県立琵琶湖博物館: 43-62.

### 【一般向けの著作】

用田政晴 (2015) 謎でなくなりつつある琵琶湖に沈んだ遺跡. *ヨシでびわ湖を守るネットワーク通信*, 22, コクヨ工業滋賀: 1.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

用田政晴 (2015 年 6 月 19 日) 琵琶湖をめぐる古墳時代首長の領域と地域性. 琵琶湖博物館研究セミナー, 琵琶湖博物館, 琵琶湖博物館, [口頭発表].

用田政晴 (2015 年 12 月 5 日) 都と日本海をつなぐもの—近江・琵琶湖—. 石川県埋蔵文化財センター研究集会, 石川県埋蔵文化財センター (金沢市), [口頭発表].

用田政晴 (2016 年 3 月 17 日) 王と武将の湖—荒神山古墳・佐和山城と松原内湖に浮かべた信長の船の意義—.

彦根ロータリークラブ歴史研究会，彦根ビューホテル（滋賀県彦根市），[口頭発表].  
用田政晴（2016年3月19日）松尾寺と伊吹山岳寺院研究. 米原市教育委員会，醒ヶ井楼（滋賀県米原市），[口頭発表].

#### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館専門研究「琵琶湖水系における古墳時代首長の領域と地域性」，（2015年度）.  
科学研究費助成事業(基盤 B)「湖沼比較民俗調査を通じた国際的博物館・大学連携研究モデル構築」(研究代表者：用田政晴)，研究代表者(2013～2015年度).  
アジア考古学研究機構「アジアの考古と民俗」(研究代表者：用田政晴)，研究代表者（2015年度）.

#### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

アジア考古学研究機構，代表.

#### 【大学の講義・実習、学生の指導など】

2015年5月17日，京都文教大学，「博物館学」.  
2015年11月21日，京都造形芸術大学，「民具学・博物館学」.

## 博物館事業に関する業績

#### 【交流・サービス事業】

##### *琵琶湖博物館の主催行事*

質問コーナー・フロアトーク，琵琶湖博物館，10件.

##### *視察対応*

2015年8月22日，博物館案内，京阪バス関係者，琵琶湖博物館.  
2015年10月3日，博物館案内，県内関係大学，琵琶湖博物館.  
2015年10月29日，博物館案内，高槻市民環境大学，琵琶湖博物館.  
2015年12月2日，博物館案内，近江鍛工，琵琶湖博物館.  
2016年2月3日，博物館案内，滋賀県関係者，琵琶湖博物館.  
2016年3月24日，博物館案内，中国湖南省研究機関，琵琶湖博物館.

#### 【情報整備活動】

##### *琵琶湖博物館の活動*

琵琶湖博物館個人ページ（用田政晴），管理・運営，更新多数.

#### 【資料整備活動】

##### *琵琶湖博物館の活動*

考古資料整備，分類・配架.  
中国関係考古・民俗文献，資料収集・整理・保管・管理.

#### 【展示活動】

##### *琵琶湖博物館の活動*

2015年度，琵琶湖博物館常設展示（B展示室）維持管理，担当.  
2015年10月19日，展示交流員現地研修，塩津港遺跡，長浜市.  
2016年2月8日，展示交流員現地研修，観音寺城，東近江市.

**【企画調整活動】**

2015 年度，JICA 海外研修員研修，副担当.

**館内の人事・館外活動等に関すること**

**【海外渡航】**

2015 年 4 月 13 日～16 日，中国遼寧省大連市，新石器時代遺跡等現地調査・博物館資料調査.

2016 年 2 月 19 日～27 日，中国雲南省昆明市ほか，棚田をめぐる水環境民俗調査.



In 2015 I continued as director and arthropod team leader of the Lake Biwa Museum's comprehensive research project, "Explanations for Biodiversity Development". I was coauthor of one paper arising from this project, concerning a new species of the interstitial harpacticoid copepod genus *Schizopera*, and I summarized all recent work on Shiga's groundwater crustaceans at an international conference in Canada, "Speciation in Ancient Lakes 7". In February I invited an earthworm specialist to join the project and assisted him in the field. Together with the museum's "Hashikake" group that surveys rice paddy organisms, I monitored the occurrence of Asian tadpole shrimp, *Triops granarius*, in Otsu, and I also conducted rearing trials of various species of clam shrimp. Work continued, as coauthor or primary author, on manuscripts concerning a freshwater nemertean, the endemic goby *Rhinogobius* sp. BW, and monstrilloid copepod bibliography and nomenclature. As a member of the International Commission on Zoological Nomenclature, I voted and commented on many nomenclatural cases that were brought before the Commission; these comments comprise most of my publications during the year.

2015年度は、琵琶湖博物館総合研究「琵琶湖の生物多様性の成立過程の解明」の研究代表者として、また、同総合研究の節足動物班の班長として、琵琶湖周辺の河川上・中流の河川敷に生息する間隙性カイアシ類の一種である *Schizopera abei* の新種記載共著論文を出版した。また、滋賀県の全ての地下水性甲殻類について、カナダで開催された「SIAL7」国際会議で口頭発表を行った。また、ミズ類の専門家に、新共同研究者として同総合研究への参加依頼を行い、彼と2月に野外調査を行った。プロジェクト研究以外では、今年度も琵琶湖博物館の「田んぼの生き物調査」はしかけグループとともに、大津市の水田におけるアジアカブトエビの分布調査を行った。さらに、カイアシ類の飼育実験を行った。また、主著者または共著者として、淡水性のヒモムシの仲間、びわこの固有種であるピワヨシノボリ、そしてカイアシ類モンストリラ目の文献と命名に関する4本の原稿の執筆を継続した。動物命名法国際審議会の委員として、審議会の前に提案された審議会の細則の改正に関係した多くの命名法に関する案件について審査意見を提出するとともに投票を行った。2015年度に私が執筆したほとんどの著述は、その案件についてのコメントであった。

## 印刷物

### 【学術論文】

Karanovic, T., Kim, K. and Grygier, M.J. (2015) A new species of *Schizopera* (Copepoda: Harpacticoida) from Japan, its phylogeny based on the mtCOI gene and comments on the genus *Schizoperopsis*. *Journal of Natural History*, 49 (41-42), Taylor & Francis, 2493-2526, <http://dx.doi.org/10.1080/00222933.2015.1028112>.

### 【専門分野の著作】

Grygier, M. J. (2015) Comment on *Anolis chlorocyanus* Dumeril & Bibron, 1837 and *Anolis coelestinus* Cope, 1862 (Reptilia, Squamata): proposed conservation of the specific names and designation of a neotype for *A. chlorocyanus*. *Bulletin of Zoological Nomenclature*, 72 (2), Trustees of the Natural History Museum : 155-156.

International Commission on Zoological Nomenclature (2015) OPINION 2354 (Case 3518). *Cornu* Born, 1778 (Mollusca, Gastropoda, Pulmonata, HELICIDAE): request for a ruling on the availability of the generic name granted. *Bulletin of Zoological Nomenclature*, 72 (2), Trustees of the Natural History Museum : 157-158 [特にグライガー委員の意見 : 158].

- International Commission on Zoological Nomenclature (2015) OPINION 2356 (Case 3594). *Ecdyonurus* Eaton, 1868 and *Ephemera venosa* Fabricius, 1775 (currently *Ecdyonurus venosus*; Insecta, Ephemeroptera): usage conserved by designation of a neotype for *Ephemera venosa*. *Bulletin of Zoological Nomenclature*, 72 (2), Trustees of the Natural History Museum : 162-163 [特にグライガー委員の意見 : 163].
- International Commission on Zoological Nomenclature (2015) OPINION 2358 (Case 3458). *Balintus* d'Abbrera, 2001, *Gulliveria* d'Abbrera & Bálint, 2001, *Salazaria* d'Abbrera & Bálint, 2001, *Megathecla* Robbins, 2002 and *Gullicaena* Bálint, 2002 (Insecta, Lepidoptera, LYCAENIDAE): priority maintained. *Bulletin of Zoological Nomenclature*, 72 (2), Trustees of the Natural History Museum : 166-170 [特にグライガー委員の意見 : 168].
- International Commission on Zoological Nomenclature (2015) OPINION 2360 (Case 3602). *Coenosia* Meigen, 1826 and COENOSIINAE Verrall, 1888 (Insecta, Diptera, MUSCIDAE): usage of the genus-group and family-group names conserved. *Bulletin of Zoological Nomenclature*, 72 (2), Trustees of the Natural History Museum : 173-175 [特にグライガー委員の意見 : 174].
- International Commission on Zoological Nomenclature (2015) OPINION 2362 (Case 3620). *Ticinella primula* Luterbacher, 1963 (Foraminifera, Globigerinida, ROTALIPOROIDEA, ROTALIPORIDAE): specific name conserved. *Bulletin of Zoological Nomenclature*, 72 (3), Trustees of the Natural History Museum : 227-228 [特にグライガー委員の意見 : 228].
- International Commission on Zoological Nomenclature (2015) OPINION 2366 (Case 3615). *Polybothris* Dupont, 1833 (Insecta, Coleoptera): spelling conserved. *Bulletin of Zoological Nomenclature*, 72 (3), Trustees of the Natural History Museum : 235-236 [特にグライガー委員の意見 : 235-236].
- International Commission on Zoological Nomenclature (2015) OPINION 2368 (Case 3410). *Raja say* Le Sueur, 1817 (currently *Dasyatis say*; Chondrichthyes, Myliobatiformes, DASYATIDAE): original spelling maintained. *Bulletin of Zoological Nomenclature*, 72 (3), Trustees of the Natural History Museum : 239-244 [特にグライガー委員の意見 : 240, 242].
- International Commission on Zoological Nomenclature (2015) OPINION 2369 (Case 3604). *Helix (Helicogena) aspersa insolida* Monterosato, 1892 (currently *Erctella insolida*; Gastropoda, Pulmonata, HELICIDAE): species-group name conserved. *Bulletin of Zoological Nomenclature*, 72 (4), Trustees of the Natural History Museum : 316-317 [特にグライガー委員の意見 : 317].
- International Commission on Zoological Nomenclature (2015) OPINION 2370 (Case 3634). OMALIIDAE Handlirsch, 1904 (Insecta, Archaeorthoptera) and XENOPTERIDAE Pinto, 1986 (Insecta, Megasecoptera): emended to OMALIAIDAE and XENOPTERAIDAE respectively. *Bulletin of Zoological Nomenclature*, 72 (4), Trustees of the Natural History Museum : 318-320 [特にグライガー委員の意見 : 319].
- International Commission on Zoological Nomenclature (2015) OPINION 2371 (Case 3617). *Habroleptooides confusa* Sartori & Jacob, 1986 (Insecta, Ephemeroptera, LEPTOPHLEBIDAE): precedence given over *Habroleptooides carpatica* Bogoescu & Craşnaru, 1930. *Bulletin of Zoological Nomenclature*, 72 (4), Trustees of the Natural History Museum : 321-323 [特にグライガー委員の意見 : 322].
- International Commission on Zoological Nomenclature (2015) OPINION 2372 (Case 3605). PHYCINAE Lyneborg, 1976 (Insecta, Diptera, THEREVIDAE): spelling emended to PHYCUSINAE and *Phycis* Walbaum, 1792 (Osteichthyes, Gadiformes, PHYCIDAE): usage conserved by designation of *Blennius phycis* Linnaeus, 1766 as the type species. *Bulletin of Zoological Nomenclature*, 72 (4), Trustees of the Natural History Museum : 324-326 [特にグライガー委員の意見 : 326].
- International Commission on Zoological Nomenclature (2015) OPINION 2373 (Case 3626). *Phoronis* Wright, 1856 (Phoronida) and *P. muelleri* de Selys Longchamps, 1903: both names conserved. *Bulletin of Zoological Nomenclature*, 72 (4), Trustees of the Natural History Museum : 327-328 [特にグライガー委員の意見 : 328].
- International Commission on Zoological Nomenclature (2016) OPINION 2375 (Case 3639). *Krynickillus maculatus* Kalenishenko, 1851 (currently *Limax maculatus*; Gastropoda, Stylommatophora, LIMACIDAE): specific

name conserved. *Bulletin of Zoological Nomenclature*, 73 (1), Trustees of the Natural History Museum : 61-62 [特にグライガー委員の意見 : 62].

International Commission on Zoological Nomenclature (2016) OPINION 2377 (Case 3624). A proposal for the rejection of 38 names in ANTHICIDAE (Coleoptera): approved. *Bulletin of Zoological Nomenclature*, 73 (1), Trustees of the Natural History Museum : 65-69 [特にグライガー委員の意見 : 67-68].

International Commission on Zoological Nomenclature (2016) OPINION 2378 (Case 3632). *Anathyris monstrum* Khalfin, 1933 (currently *Anathyrella monstrum*; Brachiopoda, Athyridida): specific name conserved. *Bulletin of Zoological Nomenclature*, 73 (1), Trustees of the Natural History Museum : 70-71 [特にグライガー委員の意見 : 71].

International Commission on Zoological Nomenclature (2016) OPINION 2380 (Case 3630). CORCORACIDAE Mathews, 1927 (Aves) and *Coracia melanorhamphos* Vieillot, 1817: names conserved. *Bulletin of Zoological Nomenclature*, 73 (1), Trustees of the Natural History Museum : 74-76 [特にグライガー委員の意見 : 76].

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

- Grygier, M. J. (2015年9月18日) カイアシ類モンストリラ目の分類、文献、命名に関する研究. 琵琶湖博物館研究セミナー, 琵琶湖博物館, 琵琶湖博物館, [口頭発表].
- Karanovic, T., Grygier, M. and Tomikawa, K. (2015年8月17日) Ancient lakes as biodiversity pumps into groundwater: potential crustacean examples from around Lake Biwa. Speciation in Ancient Lakes 7, Great Lakes Institute for Environmental Research, University of Windsor (Windsor, Canada), [口頭発表].
- 大塚泰介・高橋奈苗・金尾滋史・南谷幸雄・高橋 久・Mark J. Grygier・浦部美佐子・上西 実・渡辺弘之 (2015年12月13日) 全国ハッタミミズ・ダービー結果発表. 第6回琵琶湖地域の水田生物研究会, 琵琶湖博物館・日本生態学会近畿地区会・近江地域学会生きもの豊かな農村づくり研究会, 琵琶湖博物館, [口頭発表].

### 【インターネットページの公表】

マーク ジョセフ グライガー (2015年9月) 地下水性生き物の発見. うみっこ通信, No.14 (滋賀県立琵琶湖博物館) : 1-3, <[http://www.lbm.go.jp/publish/umikko\\_tsuushin.html](http://www.lbm.go.jp/publish/umikko_tsuushin.html)>, <014\_umikko-tsuushin\_150903.pdf>.

### 【研究プロジェクト等への参加】

- 琵琶湖博物館専門研究「日本各地のヒメカイエビ属標本の同定に関する研究」, (2015年度).
- 琵琶湖博物館共同研究「微小な生物の飼育技術開発および展示技法」(研究代表者: 松田征也), 共同研究者 (2013~2015年度).
- 琵琶湖博物館総合研究「琵琶湖の生物多様性の成立過程の解明」(研究代表者: マーク J. グライガー), 研究代表者 (2011~2015年度).

### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

- 日本動物分類学会, 日本動物分類学会・動物命名法国際審議会支援委員会, 委員.
- 日本動物分類学会, Species Diversity, Editorial Consultant.
- The Crustacean Society, *Journal of Crustacean Biology*, Associate Editor, 査読, 8件.
- Systematic Parasitology, Associate Editor.
- 日本ベントス学会, *Japanese Journal of Benthology* (日本ベントス学会誌), 編集委員 (English editor).
- 2015年12月31日まで, 日本付着生物学会, Sessile Organisms, 編集委員 (英語エディター).
- Zoological Institute, Russian Academy of Sciences, *Zoosystematica Rossica*, Editorial Board.

国立科学博物館, Bulletin of the National Museum of Nature and Science, Series A (Zoology), 編集委員.  
動物命名法国際審議会, Bulletin of Zoological Nomenclature, 査読, 7件.  
PLOS ONE, 査読, 1件.  
Senckenberg Natural Research Society and Springer, Marine Biodiversity, 査読, 1件.

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス活動】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

質問コーナー・フロアトーク, 琵琶湖博物館, 7件.

はしかけ運営「田んぼの生き物調査グループ」, 副担当.

2015年8月6日, 資料分野実習(微小生物液浸), 博物館実習, 琵琶湖博物館, 講師.

#### 他の博物館・機関等主催行事

2015年6月24日, 琵琶湖と田んぼの生き物について, 愛知郡愛荘町長塚地域総合センター, 琵琶湖博物館, 講義.

2015年7月8日, 琵琶湖と田んぼの生き物について, 京都府立洛北高等学校, 琵琶湖博物館, 講義.

2015年11月14日, 琵琶湖の環境、その環境問題、田んぼにおける甲殻類と人間の関係に関して, 滋賀大学国際センター「Japanese Studies Program JAPANESE CULTURE AND SOCIETY」, 琵琶湖博物館, 講義.

#### 視察対応

2015年5月26日, ミシガン州立大学連合日本センター研修「環境学」と同センター「サマーインターンシッププログラム」.

2015年10月23日, Engineering Neo-Biomimetics VI の Satellite Workshop at Lake Biwa の参加者.

2016年2月21日, 京都大学大学院地球環境学堂の短期留学生.

#### メディアへの協力

2015年12月11日, 「いきもにあ」にミジンコ界の最大生物「ノロ」のオブジェが出品されます, 資料提供.

### 【資料整備活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

標本受入, 無脊椎動物(昆虫、貝類を除く), 13件45点、そのうちカイミジンコ類4新種、ムカシエビ類1新種、ミズダニ類1新種のタイプ標本26点(それぞれ21点、4点、1点)、ミミズ類12点、ヨコエビ類3点、その他4点.

標本の仮登録, 28点.

特別観覧, 1件.

研究依頼期間延伸, 2件.

### 【展示活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

常設展示「琵琶湖博物館研究最前線」, パネル更新, 1件.

社会福祉法人グローの依頼による展示「アール・ブリュート」, 担当者.

モーニングレクチャー, 講義, 4回.

展示交流員と話そう, 内容指導.

### 【企画調整活動】

JICA研修 博物館とコミュニティ開発コース(JICA Museums and Community Development Course), 副担当.

新任職員等研修, C展示室 生き物コレクション (寄生虫), 講師, 2015年4月22日, 琵琶湖博物館.

#### 【新琵琶湖博物館創造室】

C展示室「生き物コレクション」コーナー, メンバー.

水族展示室「マイクロアクアリウム」, メンバー.

#### 【研究部関連事業】

琵琶湖博物館特別研究員3名 (鈴木隆仁、太田悠造、Robert J. Blakemore), 受け入れ担当.

全国ハッタミミズ・ダービー, 顧問.

2015年4月26日, 琵琶湖博物館研究施設使用者 (京都大学大学院人間・環境科学研究科の山根美子), 受入担当.

## 館内人事、館外活動等に関すること

#### 【館外の活動】

2015年5月22日～2016年3月31日, 国立民族学博物館, 国立民族学博物館国際研修博物館学コース, 運営委員会委員.

(米国) スミソニアン研究所国立自然史博物館, 協力研究員.

2015年10月30日更新, (米国) ロサンゼルス郡立自然史博物館資料・研究部 (無脊椎動物学研究科), 協力研究員.  
動物命名法国際審議会, 委員.

研究テーマは、「新生代の大型植物化石の研究」とし、植物化石の分類学的な視点で化石植物群の組成解析による古植生の復元、古植物相の変遷、古環境などを明らかにすることを目的にしている。今年度は、昨年度に引き続き申請専門研究「琵琶湖地域における化石ヒシ属の果実形態からみた分類とその変遷」と、総合研究「琵琶湖の生物多様性の成立過程の解明」（研究代表者：マーク J. グライガー）を軸に、植物化石からみた琵琶湖の水生植物相の変遷を捉える調査研究を行った。また、科学研究費基盤（C）「博物館、市民が連携した総合的古環境調査の実践的研究」（研究代表者：高橋啓一）の協力者として、滋賀県多賀町四手丘陵のアケボノゾウ発掘に伴う古環境解析を行うため、発掘調査、資料収集を行った。新たには、第3期展示リニューアルを見据えて、共同研究「大型植物遺体・花粉分析に基づく琵琶湖地域における最終氷期の森の復元」（研究代表者：林 竜馬）として、滋賀県長浜市西浅井町山門地先にある山門湿原のボーリングコア試料を用いた最終氷期の古植生復元の研究を始めたところである。

## 印刷物

### 【学術論文】

Yamakawa, C., Momohara, A., Saito, A. and Nunotani, T. (2015) Composition and paleoenvironment of wetland forests dominated by *Glyptostrobus* and *Metasequoia* in the latest Pliocene (2.6Ma) in central Japan. *Palaeogeography, Palaeoclimatology, Palaeoecology*, ELSEVIER, online.

### 【一般向けの著作】

山川千代美 (2015) 湖岸より 239 古琵琶湖時代の絶滅した植物. *中日新聞*, 中日新聞社, 6月13日.  
山川千代美 (2015) 湖岸より 243 隕石は宇宙の化石!?. *中日新聞*, 中日新聞社, 8月1日.  
山川千代美 (2015) 湖岸より 249 古琵琶湖層に眠る植物化石. *中日新聞*, 中日新聞社, 10月24日.  
山川千代美 (2015) 古琵琶湖を彩る湿地林. *ヨシで琵琶湖を守るネットワーク通信*, 23, コクヨ工業滋賀: 2-3.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

山川千代美・神谷悦子・古代ゾウ発掘プロジェクト (2015年5月15日) 滋賀県多賀町四手丘陵のアケボノゾウ発掘に伴う古植生復元. 琵琶湖博物館研究セミナー, 琵琶湖博物館, 琵琶湖博物館, [口頭発表].  
矢部 淳・山川千代美 (2015年6月28日) 化石コウヨウザン属 *Cunninghamia orotokonisii* Tanai et Onoe の再検討: その古植物地理学的意義について. 日本古生物学会 2015 総会・年会, つくば産業総合研究所 (茨城県つくば市), [口頭発表].  
Yamakawa, C., Saito, T., Terada, K., Satoguchi, F. and Ishida, S. (2015年7月29日) Paleovegetational reconstruction of the Middle Pleistocene fossil forests from the Kobiwako Group, central Japan. XIX INQUA Congress, International Union for Quaternary Research, (Nagoya), [Oral].  
山川千代美・百原 新・齊藤 毅・布谷知夫 (2016年1月31日) 鮮新-更新世境界付近における化石林に基づく古植生の復元. 日本古生物学会第165回例会, 京都大学 (京都市), [口頭発表].

### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館申請専門研究「琵琶湖地域における化石ヒシ属の果実形態からみた分類とその変遷」, (2013~2016年

度).

琵琶湖博物館共同研究「大型植物遺体・花粉分析に基づく琵琶湖地域における最終氷期の森の復元」(研究代表者: 林 竜馬), 副代表 (2015~2017 年度).

琵琶湖博物館総合研究「琵琶湖の生物多様性の成立過程の解明」(研究代表者: マーク J. グライガー), 研究協力者 (2011~2015 年度).

科学研究費助成事業 (基盤 C) 「博物館、市民が連携した総合的古環境調査の実践的研究」(研究代表者: 高橋啓一), 研究協力者 (2014~2016 年度).

#### 【学会の役職・運営、論文の査読など】

日本地学教育学会, 地学研究, 査読, 1 件.

## 博物館事業に関する業績

#### 【交流・サービス事業】

##### 琵琶湖博物館の主催行事

質問コーナー・フロアトーク, 琵琶湖博物館, 10 件.

2015 年 5 月 24 日, 360 万年前の化石観察会, 企画展示関連イベント, 服部川河床・三重県伊賀市, 実施補助.

2014 年 8 月 3 日, 博物館実習, 企画調整・中長期計画説明, 琵琶湖博物館, 講師.

2015 年 10 月 10 日, 植物化石を掘りだそう, わくわく探検隊 企画展示関連イベント, 琵琶湖博物館, 実施.

2015 年 10 月 11 日, 260 万年前の化石観察会, 企画展示関連イベント, 野洲川河床・滋賀県湖南市, 実施補助.

2015 年 11 月 15 日, 2016 年 3 月 21 日, はしかけ「古琵琶湖発掘隊」勉強会, 琵琶湖博物館, 講師, 2 件.

##### 他の博物館・機関等主催行事

2015 年 9 月 13 日, 古琵琶湖層の化石林について, 日本土壌学会, 琵琶湖博物館, 講義.

#### 【情報整備活動】

##### 琵琶湖博物館の活動

琵琶湖博物館ホームページ, 「琵琶湖博物館と連携」ページ, 制作.

国内古生物標本横断データベースへの登録情報の提供.

#### 【資料整備活動】

##### 琵琶湖博物館の活動

鮎河層群産貝類化石標本 (約 3,000 点) の同定 (栗原行人三重大学准教授による) 等, 標本整備推進.

#### 【展示活動】

##### 琵琶湖博物館の活動

第 23 回企画展示「琵琶湖誕生—地層にねむる 7 つの謎—」, 展示および資料借用.

モーニングレクチャー, 講義, 4 回.

##### 他の博物館主催の活動

多賀町立博物館企画展「多賀の自然環境—発掘された 180 万年前の多賀—」, 展示協力.

#### 【企画調整活動】

滋賀県立琵琶湖博物館と成安造形大学との協力協定, 起案・協定式運営, 2015 年 4 月 14 日, 滋賀県公館 (滋賀県大津市).

新任職員等研修, 企画調整・中長期計画説明, 講師, 2014 年 4 月 15 日, 琵琶湖博物館.

伊藤園フォトコンテスト作品展，授賞式およびオープニングセレモニー，準備調整・運営，2015年4月28日，琵琶湖博物館。

伊藤園フォトコンテスト作品展，準備調整・運営，2015年4月28日～5月31日，琵琶湖博物館。

第23回企画展示「琵琶湖誕生ー地層にねむる7つの謎ー」オープニングセレモニー，企画，2015年7月18日，琵琶湖博物館。

琵琶湖・からすま半島魅力向上活性化事業「滋賀が誇る逸品展『里帰り隕石展示』」，企画実施，2015年7月11日～8月31日，琵琶湖博物館。

生態学琵琶湖賞授賞式講演会，実施対応，2015年7月18日，琵琶湖博物館。

生物多様性フォーラム，実施対応，2015年7月18日，琵琶湖博物館。

琵琶湖・からすま半島魅力向上活性化事業「滋賀が誇る逸品展『里帰り隕石展示』」関連講演会，企画実施，2015年8月8日，琵琶湖博物館。

平成26年度（株）ダイフク寄附目録贈呈式，企画準備調整，2015年9月8日，琵琶湖博物館。

C展示室クロージングイベント，企画準備，2015年10月11日，琵琶湖博物館。

日本土木学会近畿支部講演会，実施対応，2016年2月26日，琵琶湖博物館。

琵琶湖博物館協議会，開催，担当・副担当，2件。

滋賀県博物館協議会，総会運営，補助。

サテライトミュージアム事業，企画運営，補助。

サテライトミュージアム事業，東急ハンズとのコラボ，補助。

2016年度年末年始の開館，企画調整。

中長期基本計画（第3段階）2015年度実施評価 第3段階総括，担当。

2015年度事業調整会議，調整・運営・司会。

2015年度マネジメント会議，調整・運営。

2015年度広報戦略会議，調整・実施。

#### 【研究部関連事業】

研究報告会，司会，2016年6月20日・21日 琵琶湖博物館。

地学研究発表会，運営，2016年2月14日，滋賀大学サテライト（滋賀県大津市）。

琵琶湖博物館特別研究員（川那部浩哉），受入担当。



地層から過去の地層ができる環境解析を行うことや、地層中の火山灰層から、地層の年代決定や、過去の火山活動の検討を行うことを中心に研究を行っており、これらの研究は、現在の琵琶湖がどのようにできてきたのか？を知る研究に結びついている。

今年度は、科学研究費助成金事業（基盤研究C）の最終年であり、日本列島周辺の海底の地層から得られる火山灰層の研究によって、海底の古環境情報と陸域の古環境情報を高精度で時間的な対比を行った。論文での公表はまだできていないが、国際プロジェクトとして行われている IODP の Exp346 にも関連した研究プロジェクトであることから、関連の研究者と情報共有と議論を行っている。この成果は、過去の琵琶湖環境を保存している古琵琶湖層群中の火山灰との関係をも検討することによって、古琵琶湖の年代精度を上げる役割を持っており、古琵琶湖の古環境を知る上でも重要であるといえる。

総合研究として行っている琵琶湖の生物多様性の成立過程研究については、古琵琶湖から現在の琵琶湖への地理的環境変化を担当しており、これまで提案されている古琵琶湖から琵琶湖への地史の再検討を行っている。これまでの研究成果と、まだわかっていないことについては、本年度企画展示の展示や展示解説書として公表を行った。企画展示の主担当として全体の構成を行い、展示を実施した。展示は歴代2位の来場者数を得ることができ、アンケートからも地層に興味をもってもらうことができたことがわかり、展示としては成功したといえよう。

また、総合研究および専門研究に関連して、古琵琶湖の安定した湖がなくなったと言われている時代への移行時期にどのような環境変化が起こったのか？についての仮説を日本地質学会の大会で発表を行った。この成果は、同時期の周辺地域との水系を考える上で重要である。

また、地域の人びとがフィールドのおもしろさを紹介する「地域の人びとによる展示コーナー」の展示替えを行った。その他、地域の方々と実施する地学研究発表会の運営などを、地学関係学芸職員と行ったほか、個人管理インターネットページで、博物館事業や、研究についての情報発信を行った。

## 印刷物

### 【学術論文】

里口保文 (2015) 古琵琶湖層群下部層序の再検討. *地質学雑誌*, 121 : 125-139.

Kimura, J., Nagahashi, Y., Satoguchi, Y. and Chang, Q. (2015) Origins of felsic magmas in Japanese subduction zone: Geochemical characterizations of tephra from caldera-forming eruptions <5 Ma. *Geochemistry, Geophysics, Geosystems*. 16, AGU Publications: 2147-2174.

岡村喜明・高橋啓一・里口保文 (2016) 古琵琶湖層群から新たに発見されたサイ類足跡化石. *化石研究会会誌*, 48 : 26-38

### 【一般向けの著作】

里口保文 (2015) 湖岸より 236 琵琶湖の生い立ちには謎がいっぱい. *中日新聞*, 中日新聞社, 5月11日.

里口保文 (2015) 湖岸より 240 琵琶湖は移動する?. *中日新聞*, 中日新聞社, 6月27日.

里口保文 (2015) 湖岸より 246 琵琶湖がみてきた噴火. *中日新聞*, 中日新聞社, 9月12日.

里口保文 (2015) 琵琶湖の生い立ちの謎を解く鍵は地層中に. *琵琶博だより*, 21, 琵琶湖博物館 : 1-2.

里口保文・高橋啓一・林 竜馬・山川千代美 (2015) 第23回企画展示「琵琶湖誕生—地層にねむる7つの謎—」展示解説書. 滋賀県立琵琶湖博物館, 草津市 : 71p.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

Satoguchi, Y. (2015年8月1日) The Kazusa Group as a standard tephrostratigraphy of the Pleistocene formations in Japan. XIX INQUA Congress 2015, INQUA, 名古屋国際会議場 (名古屋市), [口頭発表].

里口保文 (2015年9月11日) 古琵琶湖層群堆積盆の流出方向変化モデルの検討. 日本地質学会第122年学術大会, 日本地質学会, 信州大学 (長野市), [口頭発表].

井内美郎・山田和芳・里口保文・芳賀裕樹・林 竜馬・岡村 眞・松岡裕美 (2015年9月12日) 過去約5万年間の琵琶湖古気候変遷史. 日本地質学会第122年学術大会, 日本地質学会, 信州大学 (長野市), [ポスター発表].

里口保文 (2016年2月26日) 滋賀県の地盤とそのなりたち. 日本土木学会関西支部例会地方講演会, 日本土木学会関西支部, 琵琶湖博物館, [口頭発表].

### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館専門研究「鮮新—更新統境界付近の古琵琶湖層群と東海層群」, (2015年度).

琵琶湖博物館総合研究「琵琶湖の生物多様性の成立過程の解明」(研究代表者:マーク J. グライガー), 共同研究者 (2011年度~2015年度).

琵琶湖博物館総合研究「前近代を中心とした琵琶湖周辺地域における自然および自然観の通時的変遷に関する研究」(研究代表者:橋本道範), 副代表者 (2014年度~2018年度).

科学研究費助成事業(基盤 C)「日本周辺の海域と陸域の鮮新—更新統を統合した標準年代モデルの確立」(研究代表者:里口保文), 研究代表者 (2013年度~2015年度).

科学研究費助成事業(基盤 C)「博物館, 市民が連携した総合的古環境調査の実践的研究」(研究代表者:高橋啓一), 研究分担者 (2014年~2016年).

科学研究費助成事業(基盤 B)「琵琶湖地域を対象とした地域環境史モデルの構築」(研究代表者:橋本道範), 研究分担者 (2015年度~2018年度).

科学研究費助成事業(基盤 B)「鉍質土壌湿原の成立条件と生物群集の解明」(研究代表者:大塚泰介), 連携研究者 (2015年度~2018年度).

### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

日本地質学会, 県の石選定員, 2014年12月~2016年.

日本第四紀学会, 評議員, 2015年8月~2017年7月.

日本第四紀学会, 第四紀研究編集委員会編集委員, 2015年9月~2017年8月.

日本地質学会, 地方区代議員, 2012年4月~2016年3月.

### 【大学の講義・実習、学生の指導など】

2015年度春期・秋期, 京都産業大学学部学生, 「生命の誕生と進化入門」.

2015年度, 滋賀県立大学四回生卒業研究, 卒業研究のテーマおよび研究指導.

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

質問コーナー・フロアトーク, 琵琶湖博物館, 7件.

2015年5月24日, 360万年前の化石観察会, 企画展示関連イベント, 三重県伊賀市, 担当, (高橋啓一、山川千代美、林 竜馬、伊賀盆地研究会北田氏 共同).

- 2015年8月5日, 企画展示を使った展示評価法, 博物館実習, 琵琶湖博物館, 講義.
- 2015年8月23日, 230万年前の地層観察会, 企画展示関連イベント, 甲賀市みなくち子どもの森, 担当, (みなくち子どもの森自然館小西氏 共同).
- 2015年8月29日, 願いを込めたタヌキをつくろう, 企画展示関連イベント, 琵琶湖博物館, 担当, (滋賀県立陶芸の森・世界にひとつの宝物づくり実行委員会共催).
- 2015年10月11日, 260万年前の化石観察会, 企画展示関連イベント, 湖南市, 担当, (山川千代美、高橋啓一、滋賀県足跡化石研究会 岡村氏 共同).

### **他の博物館・機関等主催行事**

- 2015年4月8日, 琵琶湖のおいたち, 大阪芸術大学, 放送学科新入生研修, 琵琶湖博物館, 講演.
- 2015年7月26日, 琵琶湖のおいたち, 長浜市の地域自治会, 琵琶湖博物館, 企画展示の説明.
- 2015年8月7日, 琵琶湖のおいたち, 滋賀県環境教育研究協議会, 教員研修, 琵琶湖博物館, 講義.
- 2015年10月15日, 琵琶湖がどうやってできたのか?, 滋賀県立虎姫高等学校, SSH講演会, 長浜市立虎姫文化ホール(滋賀県), 講師.
- 2015年10月22日, 琵琶湖とそのおいたちについて, 全国都府県庁盛況連絡協議会, 琵琶湖ホテル(滋賀県大津市), 講師.
- 2015年11月10日, 火山灰の観察, 滋賀県立米原高等学校理数科, 琵琶湖博物館, 講義・実習指導.
- 2015年12月25日, 琵琶湖のおいたちと信楽の粘土, つちっこプログラムスキルアップミーティング, 世界にひとつの宝物づくり実行委員会・滋賀県立陶芸の森, 滋賀県立陶芸の森(滋賀県甲賀市), 講演.
- 2016年1月24日, A展示室の紹介, 滋賀大学教育学部, 琵琶湖博物館, 解説.
- 2016年2月6日, 琵琶湖のおいたち, いまづ自然観察クラブ, 琵琶湖博物館, 講演.

### **視察対応**

- 2015年7月18日, 企画展示の説明, 滋賀県知事, 企画展示室.
- 2015年7月27日, 琵琶湖博物館の視察, 秋篠宮殿下, 企画展示室.
- 2015年8月24日, 琵琶湖博物館の視察, 衆議院環境委員会議員, 企画展示室.

### **メディアへの協力**

- 2015年4月5日・6日, NHK, 総合関西のニュース, 企画展示関連ミニ展示の紹介・出演, (2015年4月4日取材).
- 2015年4月8日, 京都新聞, 企画展示関連ミニ展示, 取材対応, (2015年4月7日).
- 2015年, 京都新聞, 琵琶湖の生い立ちについて, 取材対応, (2015年4月8日).
- 2015年, NHK, 琵琶湖の生い立ちの新しい考えについて, 取材対応, (2015年4月9日).
- 2015年, 京都新聞, 企画展示「琵琶湖誕生」, 取材対応, (2015年7月23日).
- 2015年8月1日, 琵琶湖放送, テレビ滋賀プラスワン夏休みスペシャルうおーたんのわくわくこども体験隊～琵琶湖博物館で不思議を探そう!～, 企画展示の紹介, (2015年7月21日取材).
- 2015年8月10日, 琵琶湖放送, 知ったかぶりカイツブリニュース, 企画展示の紹介, (2015年7月28日取材).
- 2015年9月17日, 毎日新聞, OH!Me, 企画展示の紹介, (2015年8月9日取材).
- 2015年9月4日, 名古屋テレビ, ニュース情報センタードデスカ!, 琵琶湖の生い立ち説明, (2015年8月31日取材).
- 2015年9月26日, テレビ愛知, 探Q!Aトリップ, 伊賀焼の原料についてコメント, (2015年8月31日取材).
- 2015年11月, 大阪ガス, ネットページ「マイ大阪ガス」, 琵琶湖についてコメント, (2015年9月15日取材).
- 2015年9月22日, 中日新聞, 企画展示5万人目についてインタビュー, (2015年9月21日取材).
- 2015年12月6日, 日本テレビ, 所さんの目がテン!, 沖島のできかたについてコメント, (2015年9月25日取材).
- 2015年10月27日, 中日新聞, 琵琶湖の生い立ちについて説明, (2015年10月8日取材).

**【情報整備活動】**

*琵琶湖博物館の活動*

学芸員個人ページ，企画・運営，多数.

**【資料整備活動】**

*琵琶湖博物館の活動*

鉱物標本の貸し出し，資料選定・貸し出し対応.

地層標本・岩石鉱物標本，整理.

**【展示活動】**

*琵琶湖博物館の活動*

モーニングレクチャー，講義，4回.

2015年3月28日～4月19日，企画展示プレ展示，展示企画・設営.

2015年7月18日～11月23日，第23回企画展示「琵琶湖誕生－地層にねむる7つの謎－」，主担当.

2015年度，A展示室地域の人々による展示コーナー，展示助言・パネル作成，2件.

2015年度，A展示室最近寄贈された標本コーナー，展示設置，2件.

*他博物館・機関の活動*

イオンモールエコステーション展示，2015年7月23日～，共同展示.

多賀町立博物館企画展「多賀の自然環境－発掘された180万年前の多賀－」，2015年9月12日～27日，展示原稿等協力.

**【企画調整活動】**

新任職員等研修，A展示室解説，講師，2015年4月21日，琵琶湖博物館.

I、総合研究「前近代を中心とした琵琶湖周辺地域における自然および自然観の通時的変遷に関する研究」(研究代表者橋本道範、2014年度～2018年度)を開始しているが、さらに、科学研究費補助金基盤研究(B)「琵琶湖地域を対象とした地域環境史モデルの構築」(研究代表者橋本道範、2015年度～2018年度)が採択され、第四回研究会(2015年8月8日～8月9日)、第五回研究会(2015年9月12日～9月13日)、第六回研究会(2015年12月12日～12月13日)を開催した。そこにおいては、生業論を軸として分析を進めることを確認し、歴史的な地域環境史モデル、生態学的な地域環境史モデルをもとに、地域環境史モデルについて議論を行った。また、「地域環境史の課題」について日本史研究会例会で報告した。

II、科学研究費補助金基盤研究(C)「日本中世における「水辺移行帯」の支配と生業をめぐる環境史的研究」(研究代表者橋本道範、2011年度～2014年度)で作成した「播磨国矢野庄河成データベース」を分析し、「日本中世における「水辺」の支配—播磨国矢野庄の「河成」をめぐる—」と題して、第58回歴史地理学会大会で報告した。そこでは、「河成」認定が単に洪水の発生をそのまま反映したものではなく、小さくとも政治が介在したことを論証した。その内容は『歴史地理学』に掲載された。

III、科学研究費補助金基盤研究(B)「中・近世「菅浦文書」の総合的調査・公開と共同研究—中・近世村落像の再検討—」(研究代表者青柳周一氏、2012年度～2015年度)において、菅浦文書の再翻刻に向けて、作業を分担した。そして、その成果の一部を青柳周一ほか「史料館新営20周年記念特別展 重要文化財菅浦文書を読み解く」(滋賀大学経済学部附属史料館、2015年10月13日～11月20日)で展示した。また、分析の一部が「中世菅浦の漁業権—応永四年「堅田証状」の再検討—」と題して滋賀大学経済学部附属史料館紀要に掲載された。これは、14世紀の琵琶湖漁撈の基準史料とされてきた応永4年(1397)の堅田証状が、実は中世の同時代史料ではなく、近世に作成された史料であることを論証したものである。

IV、その他事業関係の業務については下記に概要を示すが、特筆しておきたいのは、文化庁の「地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業」の一環として取り組んだ「市民と語る文化の歴史II」事業において、湖上フォーラム「みんなで語る「ふなずし」の歴史」(2014年11月8日)の報告書『みんなで語る「ふなずし」の歴史』を刊行したことである。そして、その成果に基づき「公開座談会 「ふなずし」の歴史が変わる」を開催した(2016年1月30日)。これによって、「滋賀県の現在のふなずし」はスシのもっとも古い形態ではなく、琵琶湖地域で近世以降に独自に発達した多様な「ふなずし」の一形態であるとの結論の妥当性がより明確になったと考えている。この成果は商業出版を計画している。なお、同じく文化庁の「地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業」の一部として、「西川嘉右衛門家特別公開」を担当した。

## 印刷物

### 【学術論文】

橋本道範 (2016) 日本中世における「水辺」の支配—播磨国矢野庄の「河成」をめぐる—。『歴史地理学』58-1: 75-90.

### 【専門分野の著作】

橋本道範 編 (2015) みんなで語る「ふなずし」の歴史。滋賀県ミュージアム活性化推進委員会、滋賀県: 295p.

橋本道範 (2015) 室町時代の「ふなずし」—山科家と蛭川親元の日記から—。橋本道範 編, みんなで語る「ふなずし」の歴史。滋賀県ミュージアム活性化推進委員会、滋賀県: 149-189.

橋本道範 (2016) 中世菅浦の漁業権—応永四年「堅田証状」の再検討—。『滋賀大学経済学部附属史料館紀要』, 49:

### 【一般向けの著作】

橋本道範 (2015) 古文書からみるフナズシの歴史. *滋賀の食事文化研究会報*, 145 : 1-2.

青柳周一・水野章二・大河内勇介・宇佐見隆之・竹内光久・橋本道範 (2015) *史料館新営 20 周年記念特別展 重要文化財菅浦文書を読み解く*, 滋賀大学経済学部附属史料館 : 解説・史料 5、史料 19～21.

橋本道範・渡邊潤子 (2016) *トピック展示 修験の聖地と「なりわい」－鎌倉時代における葛川の紛争－*, 滋賀県立琵琶湖博物館 : 6p.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

橋本道範 (2015 年 6 月 28 日) 日本中世における「水辺」の支配－播磨国矢野庄の河成をめぐって－. 第 58 回 歴史地理学会大会, 山形県立米沢女子短期大学 (米沢市), [口頭発表].

橋本道範 (2015 年 9 月 20 日) 地域環境史の課題. 日本史研究会九月例会, 京都大学 (京都市), [口頭発表].

橋本道範 (2015 年 12 月 18 日) 地域環境史の課題Ⅱ－総合研究『前近代を中心とした琵琶湖周辺地域における自然および自然観の通時的変遷に関する研究』の取り組み－. 琵琶湖博物館研究セミナー, 琵琶湖博物館, 琵琶湖博物館, [口頭発表].

### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館専門研究「日本中世の捨田について－「水辺」の生業と支配－», (2015 年度).

琵琶湖博物館総合研究「前近代を中心とした琵琶湖周辺地域における自然および自然観の通時的変遷に関する研究」(研究代表者: 橋本道範), 研究代表者 (2014～2018 年度).

科学研究費助成事業 (基盤 B) 「中・近世「菅浦文書」の総合的調査・公開と共同研究－中・近世村落像の再検討－」(研究代表者: 青柳周一), 研究分担者 (2012～2015 年度).

科学研究費助成事業 (基盤 B) 「琵琶湖地域を対象とした地域環境史モデルの構築」(研究代表者: 橋本道範), 研究代表者 (2015 年度～2018 年度).

京都大学人文科学研究所研究班「環世界の人文学－生きもの・なりわい・わざ」(班長: 大浦康介), 班員 (2015 年度～).

### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

日本史研究会, 編集委員, 2015 年 10 月～2017 年 10 月.

### 【大学の講義・実習、学生の指導など】

2015 年度前期, 岡山理科大学, 歴史学.

2016 年 1 月 7 日, 滋賀県立大学博物館資料保存論, 「資料保存環境を維持するための実務－IPM を中心に－」.

### 【受賞など】

日本博物館協会, 永年勤続賞.

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

*琵琶湖博物館の主催行事*

質問コーナー・フロアトーク, 琵琶湖博物館, 7 件.

2014年8月6日, 博物館実習, IPMについて一地道にこつこつー, 琵琶湖博物館, 講師.

### **他の博物館・機関等主催行事**

2015年4月21日, 湖辺の集落史ー500年続いた現集落のシステムー, 立命館大学大学院理工学研究科建築都市デザイン学科, 琵琶湖博物館, 講師.

2015年4月26日, 古文書からみるフナズシの歴史, 滋賀の食事文化研究会 フナとフナズシについての学習会, 滋賀大学大津サテライト (滋賀県大津市), 講師.

2015年7月22日, 近江の中世「村・浦」を考えるー惣とは何かー, 近江歴史回廊倶楽部平成27年度第1回勉強会, 大津ふれあいプラザ (滋賀県大津市), 講師.

2015年10月31日, うみとやまの権利をめぐる, 史料館新営 20周年記念特別展 重要文化財菅浦文書を読み解く関連シンポジウム「菅浦の歴史と史料を語る」, 滋賀大学経済学部附属史料館 (滋賀県彦根市), 講師.

2016年1月30日, 公開座談会 「ふなずし」の歴史が変わる, 滋賀県ミュージアム活性化推進事業, 琵琶湖博物館, 企画・運営・講演・司会.

### **視察対応**

2015年10月18日, 草津市を地理学的視点で総合的に考える, 関西大学地理学・地域環境学・大学院地理学合同学外授業, 琵琶湖博物館.

### **メディアへの協力**

2015年11月6日, 読売新聞, 西川嘉右衛門家 初の一般公開, 取材対応, (2015年11月6日).

2015年11月7日, 毎日新聞, 江戸の豪商宅 初公開, 取材対応, (2015年11月6日).

2015年11月7日, 京都新聞, 西川嘉右衛門家調査成果を紹介, 取材対応, (2015年11月6日).

2015年11月7日, 朝日新聞, ヨシ間屋 西川家公開, 取材対応, (2015年11月6日).

2016年1月12日, 京都新聞, ふなずし, 独自発達した調理法 県の伝統食ルーツ 研究者ら報告書, 取材対応, (2016年1月5日).

2016年1月14日, 福井新聞, ふなずし独自に進化 滋賀の伝統食研究者が報告書, 取材対応, (2016年1月5日).

2016年1月17日, 京都新聞(デジタル), ふなずし「最古のすし」説に疑義 滋賀の研究者ら, 取材対応, (2016年1月5日).

2016年1月31日, 朝日新聞, 現在のふなずし 江戸時代後期に琵琶湖周辺で確立か, 取材対応, (2016年1月30日).

2016年1月31日, 朝日新聞(デジタル), 現在のふなずし, 江戸時代後期に確立か 専門家座談会, 取材対応, (2016年1月30日).

2016年1月31日, 京都新聞, ふなずし 漬け方に地域性, 取材対応, (2016年1月30日).

2016年1月31日, 京都新聞(デジタル), なれずし, 世界で違う文化 ふな限定は日本だけ, 取材対応, (2016年1月30日).

2016年1月31日, 中日新聞, ふなずしの歴史つづる 研究者ら公開座談会, 取材対応, (2016年1月30日).

2016年1月31日, 読売新聞, ふなずしの歴史研究者が座談会, 取材対応, (2016年1月30日).

2016年2月8日, NHK, おうみ発630 おうみ食探訪 あなたの知らない, ふなずし最前線, 取材対応, (2016年1月22日, 1月30日, 2月2日).

2016年3月2日, 滋賀報知新聞 (デジタル), 修験の聖地と「なりわい」鎌倉時代の葛川の紛争を紹介, 取材対応, (2016年2月25日).

2016年3月6日, 毎日新聞, 「日本最古のすし」ー実際は? ふなずし歴史知ろう 研究者が報告書6月出版, 取材対応, (2016年2月12日).

2016年3月16日, 朝日新聞, 「ふなずし」歴史や食文化を追う, 取材対応, (2016年3月10日).

### 【情報整備活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

収蔵資料展示情報の web 発信, 8 件.

トピック展示情報の web 発信.

### 【資料整備活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

防虫防霉調査担当, トラップ調査指揮, 3 回.

収蔵庫担当者会議, 運営, 3 回.

定期収蔵庫清掃 (特別収蔵庫・一時保管庫・古文書整理室), 実施, 10 回.

大掃除 (B 展示室・古文書整理室), 実施, 1 回.

日本よし笛協会「三方葦 (よし) フェスター観てよし・聴いてよし・食べてよし」へヨシ博物館コレクション 21 点, 貸出・返却対応.

### 【展示活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

2016 年 2 月 9 日～3 月 13 日, トピック展示「修験の聖地と「なりわい」—鎌倉時代における葛川の紛争—», 企画・調査・準備・展示.

2015 年度, 収蔵資料展示「収蔵庫をのぞいてみよう!», 補助, 6 件.

2015 年 8 月 4 日～9 月 6 日, 収蔵資料展示「企画展示関連企画 I」第 58 回, 補助.

2015 年 9 月 8 日～10 月 18 日, 収蔵資料展示「企画展示関連企画 II」第 59 回, 補助.

B 展示室常設展示陳列替え, 実施, 4 件.

モーニングレクチャー, 講義, 4 回.

#### 他博物館・機関の活動

2015 年 10 月 13 日～11 月 20 日, 滋賀大学経済学部附属史料館「史料館新営 20 周年記念特別展 重要文化財菅浦文書を読み解く, 展示資料作成協力.

### 【企画調整活動】

新任職員等研修, B 展示室について, 講師, 2015 年 4 月 15 日, 琵琶湖博物館.

### 【研究部関連事業】

新琵琶湖学セミナー企画・運営, 主担当, 3 件.



滋賀県内の一級河川では、河川改修や砂防ダムなどの治水対策、また、利水ダムや取水堰などのインフラ整備が行われ、その結果、水害の軽減や農業や産業の発展などの便益がもたらされた。一方、インフラ整備による川へのインパクトは、山地から河道、そして琵琶湖へ流入する土砂の流れに影響をもたらしている。

一級河川愛知川は、土砂流出が多く下流部は天井川を形成し、過去に多くの水害をもたらしてきた。このため、県内で最初に全体計画が策定され昭和25年から河川改修を実施している。その後、琵琶湖総合開発や平成2年の災害復旧事業に引き続き河川整備計画に基づく河川改修が進められ、戦後最大相当の洪水を安全に流すことができるようになった。また、愛知川両岸に広がる湖東平野には約6,900haの水田があり、灌漑用水をめぐって水争いが頻繁に起きていた。現在は永源寺ダムが建設され、農業用水の安定供給に寄与している。その一方では、愛知川河口右岸の新海浜では、砂浜が減退してきたため突堤によって砂浜の維持を行っている。また、河道では植生の繁茂や濘筋の固定化やそれに起因する異常洗掘なども見受けられる。

このような影響とインフラ整備の関係を分析するため、また、現在の愛知川が持つ土砂輸送能力を把握するため、土砂動態モデルを用いて解析を行うこととした。土砂動態モデルは、過年度につくられたモデルを平成25年台風18号による洪水および河床の攪乱結果を用い、精度向上を図った。

航空写真の変遷からは、平成25年の洪水は概ね20年に1回起きる程度の規模の出水だったこと、その出水によって中流部では濘筋の変化などがみられ土砂動いた形跡がみられたこと、一方、河口部では顕著な土砂移動がみられなかったことが判った。また、土砂動態モデルによる解析からは、中流部では砂や小礫を動かす掃流力が発生しているが、河口部にいくと川幅が広がり掃流力が低下してしまうため大きな砂や小礫は堆積してしまうこと、また、永源寺ダムにより上流からの土砂供給が減っているため、中流部では河床低下が進行することが判った。

これらの結果から、愛知川で起きている土砂移動に関する課題のうち、新海浜の維持に必要な土砂に関しては、愛知川から洪水などの自然の営力によって供給するのは困難であることが判明したため、サンドバイパスなどの人為的な土砂供給を行う必要があるといえる。また、永源寺ダムでは大量の土砂がダム湖に堆積し問題となっており、現在、この堆積土砂をどのように排出するかを検討されている。愛知川が土砂を流せる能力を概ね評価できたので、今後、ダムの土砂をどのように河川に還元していくかを、担当部署と連携しながら検討する必要がある。

琵琶湖環境研究推進機構「水系のつながりと在来魚介類の分布・移動との関係把握」の研究においては、河川解析班として河床材料の現状把握や土砂移動解析を行った。愛知川に関しては、河口部はアユの好む粒径よりも小さい土砂が多く、アユの産卵に適した河床とはいえないこと、中流部は洪水時にアユの好む粒径の土砂を動かす掃流力があるため、アユの産卵に適した場所になる可能性があることが判った。

事業活動では、7月の第1期リニューアルオープンに向けて、水害や治水対策について、より身近に感じてもらえるよう工夫を凝らした展示の制作を行った。また、赤ちゃんや幼児を連れた来館者が博物館を利用しやすいよう、授乳室の改修やトイレの設計に携わった。

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

井関明子（2015年10月16日）愛知川の土砂移動について、琵琶湖博物館研究セミナー、琵琶湖博物館、琵琶湖博物館、[口頭発表]。

### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館専門研究「琵琶湖流入河川の土砂動態をめぐる再生のありかた」、(2015年度)。

琵琶湖環境研究推進機構「水系のつながりと在来魚介類の分布・移動との関係把握」，河川解析班（2015年度）。

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

質問コーナー・フロアトーク，琵琶湖博物館，7件。

#### 他の博物館・機関等主催行事

2015年9月29日，白鳥川の生き物調査とハザードマップづくり，馬淵小学校出前講座，滋賀県土木交通部流域政策局，白鳥川（滋賀県近江八幡市），講師。

#### 視察対応

2015年7月21日，滋賀県の流域治水について，京都大学大学院工学研究科。

2015年12月2日，河川の災害と維持管理と水害，木津川を美しくする会。

### 【展示活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

2015年度，常設展示維持管理，主担当。

常設展示維持管理委託，主担当。

屋外展示維持管理委託，主担当。

C展示室生き物コレクション展示棚修理業務，実施。

授乳室改修業務，実施。

モーニングレクチャー，講義，4回。

展示交流員と話そう，内容指導。

### 【企画調整活動】

新任職員等研修，B展示室治水への取り組み・C展示室 河岸林，講師，2015年4月21日・22日，琵琶湖博物館。

### 【新琵琶湖博物館創造室活動】

リニューアル施工業者との技術的調整に関すること，主担当。

第2期リニューアル交流空間基本設計の作成調整に関すること，主担当。

トイレ整備ワーキング，委員。

C展示室「川から森へ」コーナー，副担当。

## 館内の人事・館外活動等に関すること

### 【館内の人事】

2015年度，滋賀県土木交通部流域政策局河川・港湾室河川環境係主査，兼務。

「人と自然との関係性」に関する社会学的研究を進めつつ、今年度は、特に稲作社会における資源利用と地域づくりについて、琵琶湖を中心にフィールド調査を踏まえて研究推進を行った。これらの研究成果の一部を『日中社会学研究』及び『琵琶湖博物館研究調査報告』第28号に論考を掲載して刊行した。そのほか、博物館と大学との連携研究をめぐって、中国中央民族大学や社会科学院と協働して日中講演会の参画・研究討論会などを進め、研究成果の一般公表を行った。

共同研究においては、主に外部資金による日本学術振興会科学研究費補助金事業（基盤研究（B））「湖沼比較民俗調査を通じた国際的博物館・大学連携研究モデル構築」の研究分担者および日本学術振興会科学研究費補助金事業（新学術領域研究（研究領域提案型））「民族考古学と化学分析からさぐる生業活動の諸相」連携研究者として研究を進めた。

事業活動においては、琵琶湖博物館リニューアル事業に関する業務を行ったほか、琵琶湖博物館新空間での展示交流12件を受け入れ対応し、交流イベントを通じて一般来館者と展示交流を積極的に進めた。また、研究成果の還元につなぐ事業活動としては、海外向けに博物館活動をめぐる「琵琶湖研究」や「琵琶湖博物館展示活動」の紹介を含め、関連の研究機関との研究交流などを行った。

## 印刷物

### 【学術論文】

- 楊 平 (2015) 環境の持続的保全是何で決まるのか—資源利用から考える—。 *日中社会学研究*, 23 : 8-14.
- 楊 平 (2016) 稲作農耕社会にみる自然利用との深いかかわり。 *研究調査報告書「東アジアの水環境—水辺暮らしの記憶と記録」*, 28, 滋賀県立琵琶湖博物館 : 39-42.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

- 楊 平 (2016年1月15日) 食用植物がつなぐ知恵—植物貯蔵をめぐって—。琵琶湖博物館研究セミナー, 琵琶湖博物館, 琵琶湖博物館, [口頭発表].
- 楊 平 (2016年1月30日) 伝統的生業がつなぐ食文化—水田養魚と畑作から—。日中講演会「伝統知・植物利用・食 in 東アジア」, お茶の水女子大学 (東京都文京区), [口頭発表].
- 楊 平 (2016年2月21日) 「魚食」を支える水田稲作。生物多様性会議「にじゅうまるプロジェクト」, 国際自然保護連合日本委員会, 名古屋大学 (名古屋市千種区), [口頭発表].

### 【研究プロジェクト等への参加】

- 琵琶湖博物館専門研究「農村における資源利用をめぐる再生のありかた」, (2015年度).
- 科学研究費補助事業（基盤 B）「湖沼比較民俗調査を通じた国際的博物館・大学連携研究モデル構築」(研究代表者：用田政晴), 研究分担者 (2013~2016年度).
- 科学研究費補助事業（新学術領域研究（研究領域提案型））「民族考古学と化学分析からさぐる生業活動の諸相」(研究代表者：細谷 葵), 連携研究者 (2015年度).

### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

Biodiversity Science, 査読, 1件.

### 【大学の講義・実習、学生の指導など】

2015年6月5日, 大阪産業大学人間環境学部、「特別講義A」.

2015年度後期, 龍谷大学社会学部, 「びわ湖・滋賀学」.

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

質問コーナー・フロアトーク, 琵琶湖博物館, 8件.

2015年5月1日, 交流イベント, 展示室対応.

2015年5月31日, 交流イベント, 照明・展示室対応.

2015年7月4日, びわ博フェス☆2015, 対応.

2015年7月5日, びわ博フェス☆2015, 対応.

2015年8月2日, 研究活動について, 博物館実習, 琵琶湖博物館, 講師.

2015年10月11日, 嘉田さんと滋賀の暮らしを語ろう, C展クロージングイベント, 琵琶湖博物館, 対応.

#### 視察対応

2015年5月9日, 「展示と琵琶湖博物館での研究活動について」講義・企画展示解説・展示案内, 京都教育大学, 琵琶湖博物館.

2015年5月28日, 概要説明・展示解説・研究活動の紹介, 中国人民日報取材の対応, 琵琶湖博物館.

2015年8月28日, 概要説明・展示解説, 中国湖南省研修団, 琵琶湖博物館.

2015年9月9日, 概要説明・展示解説, 江蘇省視察団, 琵琶湖博物館.

2015年10月15日, 「琵琶湖の環境保全と琵琶湖博物館での研究活動」講義, 滋賀県立大学, 琵琶湖博物館.

2015年10月21日, 概要説明・展示案内, 中国社会科学院視察団, 琵琶湖博物館.

2016年3月24日, 展示解説・展示案内, 中国湖南省専門家団, 琵琶湖博物館.

#### メディアへの協力

2015年6月7日, NHK, 新空間利用について, 取材対応.

2015年7月27日, BBC, カバタの水について, 取材対応.

2015年9月10日, BBC, 撮影の対応, 高島市針江地区.

### 【情報整備活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

電子媒体による質問等問い合わせ, 回答, 3件.

中国関係の民俗・文献資料, 収集・整理.

### 【資料整備活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

資料の寄贈受け入れ, 2件.

### 【展示活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

2015年度, 琵琶湖博物館新空間, 展示維持管理, 主担当.

2015年度，琵琶湖博物館常設展示（C展示室），維持管理，担当。

琵琶湖博物館新空間利用の受け入れ、12件。

新空間展示交流イベント，対応，5件。

ディスカバリールームイベント等，対応，3件。

2015年6月14日，琵琶湖博物館交流コンサート・イベント等の対応，琵琶湖博物館。

#### 【企画調整活動】

新任職員等研修，C展示室農村の暮らし、水と暮らし，講師，2015年4月15日，琵琶湖博物館。

#### 【新琵琶湖博物館創造室活動】

琵琶湖博物館リニューアル展示関連の日中対訳の作成等。

C展示室「これからの暮らし」コーナー，副担当。

#### 【研究部関連事業】

海外の研究機関との連携，担当。

2015年6月20日，研究報告会関連の対応。

琵琶湖の湖底堆積物を中心とした花粉分析に基づいて、東アジア地域における過去数十万年間の森林植生の変遷と気候変動、さらには人間活動との関連についての研究を進めている。

日本学術振興会の科学研究費助成事業として、日本の森林動態の変化に対する日本海環境、東アジアモンスーンの影響について解明するため日本海堆積物の花粉分析を進めており、本年度はオーストラリアのメルボルンで開催された国際ワークショップに参加し、途中成果の発表を行った。さらに、琵琶湖博物館総合研究および申請専門研究として、琵琶湖周辺における縄文時代以降の植生復元に向けた基礎的研究を実施し、琵琶湖地域における古生態学データの収集、整理を継続して実施し、森林生態系の変化と人間活動の変化との対応関係について考古学、歴史学の研究者とともに議論を進めている。また、国際共同研究の枠組みの中で、琵琶湖博物館共同研究および科学研究費助成事業の共同研究者として、最終氷期最寒冷期における琵琶湖周辺地域での森林生態系の復元を行うための基礎データの蓄積を進めている。さらに本年度より、科学研究費助成事業の共同研究者として、ボルネオ島における環境変遷の解明を目的とした研究プロジェクトに参加し、野外調査を行った。

これらの研究成果の一部については、日本花粉学会大会や日本生態学会大会において発表を行った。さらに、本年度は、これまでの研究成果が評価され、日本花粉学会より奨励賞を受賞した。また、研究成果については琵琶湖博物館研究セミナーや新琵琶湖学セミナーをとおして、一般に向けた紹介にも努めた。

博物館事業に関しては、交流グループの一員として主にはしかけ活動の活性化に向けた新たな取り組みと観察会等のイベントの運営企画事業を担当した。はしかけ事業については、活性化と屋外展示の有効利用を目指した、はしかフェを年 11 回開催し、びわ博フェスの中ではしかけ登録者による屋外展示のガイドツアーを実施した。また、博物館主催のわくわく探検隊や観察会、講座での講師を勤めた。さらに、新琵琶湖博物館創造室の中で、C 展示室リニューアルの「川から森へ」コーナーの主担当、ユニバーサルデザイン評価および統一検討会議の担当、展示デザイン指針の主担当、樹冠トレイルの主担当、さらに音声ガイドの製作を担当した。

館外での活動としては、日本花粉学会および日本植生史学会の編集委員をつとめた。また、日本花粉学会第 56 回大会の実行委員長として、琵琶湖博物館で学会大会および一般普及講演会、花粉観察講座を開催した。

## 印刷物

### 【一般向けの著作】

- 林 竜馬 (2015) 湖岸より 237 花粉から探る琵琶湖の生い立ち. *中日新聞*, 中日新聞社, 5月23日.  
林 竜馬 (2015) 湖岸より 241 泥は知る日本の夏. *中日新聞*, 中日新聞社, 7月11日.  
林 竜馬 (2015) 湖岸より 247 花粉化石が語る人と自然の関係史. *中日新聞*, 中日新聞社, 9月26日.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

- 林 竜馬 (2015年6月27日) 縄文時代以降の森と人の移ろいー滋賀県における遺跡の花粉分析データベースの整理からー. 近江貝塚研第259回例会, 滋賀県埋蔵文化財センター (大津市), [口頭発表].  
Hayashi, R., Takahara, H., Igarashi, Y., Kumon, F., and Shichi, K. (2015年8月2日) Regional contrast in millennial-scale vegetation and climate variability during the last glacial based on pollen records from East Asia. the XIX INQUA Congress 2015, Nagoya Congress Center (Nagoya, Japan), [口頭発表].

- 林 竜馬 (2015 年 9 月 18 日) 縄文時代以降の森と人の移ろいー琵琶湖周辺における遺跡の古生態学データからー。琵琶湖博物館研究セミナー, 琵琶湖博物館, 琵琶湖博物館, [口頭発表].
- 林 竜馬 (2015 年 10 月 3 日) 最終間氷期以降の気候変動に対する植生の応答過程の解明. 日本花粉学会第 56 回大会, 琵琶湖博物館, [奨励賞記念講演口頭発表].
- 林 竜馬 (2015 年 10 月 3 日) 琵琶湖の花粉学からみる百万年・十万年・千年スケールでの気候と植生の変動. 日本花粉学会第 56 回大会, 琵琶湖博物館, [口頭発表].
- 林 竜馬・佐々木尚子・村上由美子・瀬口眞司 (2016 年 3 月 24 日) 縄文時代以降の森林生態系と人の移ろいー琵琶湖地域における古生態学と考古学データの比較から. 日本生態学会第 63 回大会, 東北大学 (宮城県仙台市), [ポスター発表].

### 【研究プロジェクト等への参加】

- 琵琶湖博物館専門研究「琵琶湖周辺における縄文時代以降の環境変遷復元に向けた基礎的研究ー古生態学データの整理とデータベースの構築ー」, (2015 年度).
- 琵琶湖博物館共同研究「大型植物遺体・花粉分析に基づく琵琶湖地域における最終氷期の森の復元」(研究代表者: 林 竜馬), 研究代表者 (2015~2017 年度).
- 琵琶湖博物館総合研究「前近代を中心とした琵琶湖周辺地域における自然および自然観の通時的変遷に関する研究」(研究代表者: 橋本道範), 研究副代表者 (2011~2015 年度).
- 琵琶湖博物館総合研究「琵琶湖の生物多様性の成立過程の解明」(研究代表者: マーク J. グライガー), 共同研究者 (2011~2015 年度).
- 科学研究費助成事業 (若手 B) 「日本海堆積物の花粉分析からみる森林動態に対する海洋・モンスーン変動の影響評価」(研究代表者: 林 竜馬), 研究代表者 (2013~2016 年度).
- 科学研究費助成事業 (基盤 B) 「北東アジアにおける最終氷期最盛期における主要樹木分類群の分布と古植生」(研究代表者: 高原 光), 研究分担者 (2014~2017 年度).
- 科学研究費助成事業 (基盤 B) 「ボルネオ島泥炭掘削: 過去 4000 年間の熱帯大気対流活動の復元」(研究代表者: 山本正伸), 研究分担者 (2015~2017 年度).
- 科学研究費助成事業 (基盤 B) 「琵琶湖地域を対象とした地域環境史モデルの構築」(研究代表者: 橋本道範), 研究分担者 (2015~2018 年度).
- 科学研究費助成事業 (基盤 C) 「博物館、市民が連携した総合的古環境調査の実践的研究」(研究代表者: 高橋啓一), 研究分担者 (2014~2016 年度).

### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

- 日本花粉学会, 日本花粉学会会誌, 編集委員.
- 日本花粉学会, 評議委員.
- 日本花粉学会, 日本花粉学会第 56 回大会, 実行委員長.
- 日本植生史学会, 植生史研究, 編集委員.
- GRANA, 査読, 1 件.
- Quaternary Science Review, 査読, 1 件.
- 日本第四紀学会, 査読, 1 件.
- 日本植生史学会, 査読, 1 件.

### 【受賞など】

- 日本花粉学会奨励賞, 2015 年 10 月 3 日, 「最終間氷期以降の気候変動に対する植生の応答過程の解明」.

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

質問コーナー・フロアトーク，琵琶湖博物館，7件。

フィールドレポーター，担当。

フィールドレポーター定例会，5件。

2015年6月20～21日，フィールドレポーター出張交流会，琵琶湖博物館，担当。

はしかフェ，運営担当，9件。

2015年7月4日，びわ博フェス☆2015，はしかフェ，琵琶湖博物館，企画・運営。

はしかけ登録講座，運営，3件。

2015年5月5日，朽木の春 セラピーの森を歩こう，観察会，くつきの森・滋賀県高島市，講師。

2015年5月16日，シノキの花と森を調べよう，博物館で楽しもう，琵琶湖博物館，講師。

2015年5月24日，360万年前の化石観察会，企画展示関連イベント，服部川・三重県伊賀市，講師。

2015年7月11日，葉っぱ模様のハンカチづくり，わくわく探検隊，琵琶湖博物館，講師。

2015年8月23日，230万年前の地層観察会，企画展示関連イベント，みなくち子どもの森・滋賀県甲賀市，講師。

2015年8月29日，願いを込めたタヌキをつくろう，企画展示関連イベント，琵琶湖博物館，講師。

2015年10月4日，空飛ぶ花粉を見てみよう，講座，琵琶湖博物館，講師。

2015年11月14日，秋の色さがし，わくわく探検隊，琵琶湖博物館，講師。

2016年1月2日，たこ作り，お正月開館イベント，琵琶湖博物館，講師。

#### 他の博物館・機関等主催行事

2015年8月5日，琵琶湖の森の移り変わり，新潟県立高田高等学校，琵琶湖博物館，講義。

### 【資料整備活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

植物標本整備，収蔵庫維持管理，担当。

### 【展示活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

第23回企画展示「琵琶湖誕生—地層にねむる7つの謎—」，副担当。

モーニングレクチャー，講義，4回。

### 【新琵琶湖博物館創造室活動】

C展示室「川から森へ」コーナー，主担当。

C展示室「これからの琵琶湖」コーナー，副担当。

展示デザイン指針，主担当。

樹冠トレイル，主担当。

音声ガイドワーキング，委員。

## 館内の人事・館外活動等に関すること

### 【海外渡航】

2015年10月14日～23日，マレーシア ボルネオ島，泥炭堆積物試料採取のための調査。

2016年1月21日～25日，オーストラリア メルボルン，IODP 第2回打ち合わせ会議への参加と発表。



研究に関しては、前年度から引き続き、人口減少と高齢化が進む山村の現代的な変容を明らかにした。これまでの研究成果を「現代山村における他出者の重要性」としてまとめ、東京大学大学院農学生命科学研究科に提出し、博士（農学）の学位を取得した。この論文では、親が出身村に居住していない者も含めた「他出者」に着目し、研究の対象として共同作業と祭り、それを支える自治組織に焦点をあてた。現代の山村集落における共同作業と祭りの実態を他出者の存在に着目しつつ明らかにすること、その過程で他出者が山村集落に果たしうる役割とその特性を検討することの2点を課題とし、明らかにした。

新琵琶湖博物館創造室におけるリニューアル業務に関しては、C 展示室「私たちの暮らし」コーナー、有識者評価などを担当した。

事業部資料活用担当に関しては、燻蒸処理、リニューアルにかかる展示室からの資料の撤収などを実施した。

## 印刷物

### 【学術論文】

Okubo, M., Abrar Juhar Mohammed and Inoue, M. (2015) Out-migrants and Local Institution: Case study of a depopulated mountain village in Japan, *Asian Culture and History*, 8(1): 2-9.

### 【専門分野の著作】

大久保実香 (2015) 第50回(龍谷大学)大会の報告 セッションD印象記. *環境社会学会ニューズレター*, 61:16-17.

大久保実香 (2016) 郊外育ちの私と山村. 「田舎暮らし」と豊かさーコモンズと山村振興, 日本林業調査会: 30-45.

### 【一般向けの著作】

大久保実香 (2016) 湖岸より 258 琵琶湖の水位と景色. *中日新聞*, 中日新聞社, 2月27日.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

大久保実香 (2015年4月16日) 湖上の島と二地域居住. 琵琶湖博物館研究セミナー、琵琶湖博物館、琵琶湖博物館, [口頭発表].

Okubo, M. (2015年5月26~30日) Depopulated community and its resource management. 15<sup>th</sup> Biennial Global Conference, International Association for Study of the commons, Shaw Conference Center (Edmonton, Canada), [Poster Presentation].

大久保実香 (2015年6月21日) 出身集落と他出先市街地との二地域居住. 琵琶湖博物館研究報告会, 琵琶湖博物館, 琵琶湖博物館, [口頭発表].

大久保実香 (2015年9月23日) 引き継がれるもの、そうでないもの: 現代山村の変化の背景について. 日本村落研究学会関西・東海地区研究会, 日本村落研究学会, キャンパスプラザ京都 (京都市), [口頭発表].

### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館専門研究「過疎集落と他出先市街地における二地域居住の実態の解明」, (2015年度).

琵琶湖博物館総合研究「前近代を中心とした琵琶湖周辺地域における自然および自然観の通時的変遷に関する研究」  
(研究代表者：橋本道範)、民俗・社会班 (2015 年度).

科学研究費助成事業 (若手 B) 「人口減少後の地域コミュニティとその資源管理」(研究代表者：大久保実香), 研究代表者 (2014~2016 年度).

科学研究費助成事業(基盤 C) 「博物館, 市民が連携した総合的古環境調査の実践的研究」(研究代表者:高橋啓一), 研究分担者 (2014~2016 年度).

科学研究費助成事業 (基盤 B) 「琵琶湖地域を対象とした地域環境史モデルの構築」(研究代表者：橋本道範), 研究分担者 (2015~2018 年度).

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

質問コーナー・フロアトーク, 琵琶湖博物館, 6 件.

はしかけ「暮らしをつづる会」・「緑のくすり箱」, 担当.

フィールドレポーター, 飛び出し坊や調査, 担当.

2015 年 8 月 6 日, 収蔵庫空間について, 博物館実習, 琵琶湖博物館, 講師.

2015 年 9 月 26 日, 50 年前の暮らしを探検!, 博物館で楽しもう, 琵琶湖博物館, 実施.

2015 年 10 月 11 日, 嘉田さんと滋賀の暮らしを語ろうー昭和から平成へー, C 展クローズングイベント, 琵琶湖博物館, インタビュアー.

2016 年 2 月 13 日, 水位変動と人の暮らし, ゲストを招いてのフロアトーク, 琵琶湖博物館, 企画・実施・講師,  
(大橋麻里子氏・藤澤奈都徳氏と共同).

#### 他の博物館・機関等主催行事

2015 年 6 月 24 日, 博物館と地域社会・国際社会, 龍谷大学経済学部, 農業・資源経済学, 琵琶湖博物館, 講師.

#### メディアへの協力

2015 年 12 月 26 日, 京都新聞, 琵琶湖遠くから近くから, 取材対応, (2015 年 11 月 25 日取材).

<http://www.shakaika.jp>, しゃかいか!, 取材対応, (2016 年 3 月 14 日取材).

### 【資料整備活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

燻蒸庫燻蒸・密閉テント式燻蒸, 実施.

燻蒸庫定期点検, 実施.

環境収蔵庫定期清掃, 実施.

### 【展示活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

モーニングレクチャー, 講義, 4 回.

2016 年 3 月 14 日, 展示交流員現地研修, 本庄地区を訪ねる, 企画運営補助・実施.

### 【新琵琶湖博物館創造室活動】

C 展示室「私たちの暮らし」コーナー, 主担当.

県民参加型展示評価, 「私たちの暮らし」コーナー, 主担当, 2015 年 10 月 11 日.

有識者による展示評価, 主担当.

## 館内の人事・館外活動等に関すること

### 【館内の人事】

2015 年度，ショップ会議.

### 【海外渡航】

2015 年 5 月 25 日～5 月 30 日，カナダ，国際コモンズ学会への参加・研究発表.

### 【館外の活動】

2015 年 6 月 10 日，滋賀県人口減少総合戦略の策定に係る意見交換，滋賀県企画調整課・滋賀県環境政策課.

平成 27 年度 (2015 年度) は、水族企画展示「琵琶湖固有の魚たちーびわ湖にしかない魚たちのあれやこれやー」の主担当として、企画・運営に携わった。なお、会期中の入室者数は 62,819 人であった。企画展示に「琵琶湖ー地層にねむる 7 つの謎」では、琵琶湖固有種である淡水生貝類の展示を行った。また、水族トピック展示では、天然記念物のアユモドキを展示し、その保全に協力する世界淡水魚園水族館、志摩マリンランド、京都水族館、宮津エネルギー研究所水族館、亀岡市文化資料館、大阪府立環境農林水産総合研究所水生生物センター、海遊館、神戸市立須磨海浜水族園、姫路市立水族館、宮島水族館と当館を含む 11 施設で参加した「守ろう アユモドキ！連携展示」の実行委員会代表として全体の企画、調整、運営を行った。

研究では、近畿大学の小林徹教授と共同で、希少淡水魚であるタナゴ亜科魚類の発生生理に関する研究内容を、魚類学会年会で報告した。また、アユモドキの生息域外保全および 11 施設が連携して実施した「守ろう アユモドキ！連携展示」について、熊本市で開催された (公社) 日本動物園水族館協会の種保存会議で、ポスターおよび口頭での発表を行った。オムロン野洲事業所で実施しているイチモンジタナゴの生息域外保全を継続して実施しているほか、共同研究「微小生物」では、微小生物の展示方法を考えるため、微小生物の展示を専門とする岩国市のミクロ生物館を視察した。微小生物の展示では、市販のマイクロスコープを用いた展示開発を継続して実施している。

リニューアルでは、水族展示、マイクロアクアリウム、C 展示室の生き物コレクション、田んぼコーナーのカメ池に携わり、展示のための資料や写真などの基礎的資料の収集を行った。

## 印刷物

### 【学術論文】

上西 実・石田未基・松田征也 (2015) 滋賀県内で採集されたウスイロオカチグサガイ. *ちりぼたん*, 45(3) : 135-137.

### 【一般向けの著作】

松田征也 (2015) 湖岸より 234 昨日の敵も展示します!. *中日新聞*, 中日新聞社, 4 月 11 日.

松田征也 (2016) 湖岸より 259 琵琶湖の固有種!. *中日新聞*, 中日新聞社, 3 月 12 日.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

松田征也 (2015 年 9 月 15・16 日) タナゴ亜科魚類の性分化に関する研究ー I. 日本魚類学会年会, 近畿大学奈良学舎 (奈良市), [ポスター発表].

松田征也 (2015 年 11 月 6 日) アユモドキの生息域外保全と連携展示. 第 19 回日本動物園水族館協会 種保存会議, ホテル日航熊本 (熊本市), [ポスター発表].

松田征也 (2015 年 11 月 7 日) アユモドキの生息域外保全と連携展示. 第 19 回日本動物園水族館協会 種保存会議, くまもと県民交流館パレア (熊本市), [口頭発表].

### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館専門研究「希少淡水魚における性決定について」, (2015 年度).

琵琶湖博物館共同研究「微小な生物の飼育技術開発および展示方法」（研究代表者：松田征也），研究代表者（2013～2015年度）．  
科学研究費助成事業（基盤 B）「日本の博物館の総合調査研究」（研究代表者：篠原 徹），共同研究者（2013～2015年度）．

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### 琵琶湖博物館の活動

質問コーナー・フロアトーク，琵琶湖博物館，7件．

はしかけ「うおの会」，担当．

2015年7月25日，ウ類国際シンポジウム，琵琶湖博物館，運営スタッフ．

2015年8月2日，事業部について，博物館実習，琵琶湖博物館，講師．

#### 他の博物館・機関等主催行事

2015年4月17日，琵琶湖の水生生物 魚編，京都新聞社，ソフィアが来た，宇治市立小倉小学校，講師．

2015年5月16日，びわ湖の生き物たち 魚編，鹿児島大学，JICA 研修，琵琶湖博物館，講師．

2015年5月24日，最近の琵琶湖の魚と水環境，栗東ロータリークラブ，琵琶湖博物館，講師．

2015年5月26日，シジミの遺伝的育種学的研究，三重県水産課，琵琶湖博物館，講師．

2015年6月6日，琵琶湖の魚と水環境，栗東ロータリークラブ，琵琶湖博物館，講師．

2015年6月28日，OB 講話，近畿大学農学部水産学科，琵琶湖博物館，講師．

2015年7月2日，琵琶湖の魚について，神姫バスツアーズ，ささやま市民講座，琵琶湖博物館，講師．

2015年7月9日，琵琶湖の魚，針江生水の郷委員会，針江生水の里（滋賀県高島市），パネラー．

2015年7月11日，ジャンボタニシの定点観察，比留田観察会，野洲市比留田自治会（滋賀県），講師．

2015年7月18日，魚類観察会，比留田観察会，野洲市比留田自治会（滋賀県），講師．

2015年7月27日，琵琶湖の水生生物 魚編，恵那高校，琵琶湖博物館，講師．

2015年7月30日，親子博物館舞台裏ツアー「博物館のお仕事見学！」，滋賀県ミュージアム活性化推進委員会，琵琶湖博物館，講師．

2015年8月3日，魚つかみと観察，下之郷遺跡資料館観察会，守山市教育委員会（滋賀県），講師．

2015年8月16日・29日，博物館案内，近江鉄道株式会社，観光コースめぐり，琵琶湖博物館，案内．

2015年8月24日，魚つかみの成果とお話，下之郷遺跡資料館観察会 守山市教育委員会（滋賀県），講師．

2016年2月6日，ミュージアムスクール，立命館守山中学校，琵琶湖学習，立命館守山中学校（滋賀県守山市），講師．

2016年2月6日，琵琶湖と滋賀の文化（漁労文化を中心に），ILEC（国際環境ビジネス人材育成事業），琵琶湖博物館，講師．

2016年3月23日，琵琶湖の魚貝類について，新浜町老人クラブ寿会，新浜会館（滋賀県草津市），講師．

2016年3月26日，守ろう！イチモンジタナゴ ータナゴ類の生息域外保全一，京都市動物園，京都市動物園（京都市），講演．

#### 視察対応

2015年4月16日，博物館の運営体制，豊田市教育委員会．

2015年7月27日，秋篠宮殿下 佳子内親王ご来館

#### メディアへの協力

朝日新聞社，鯉についての話，取材対応，（2015年4月8日）．

2015年4月19日，毎日放送テレビ，情熱大陸 カンボジアに生きる全ての魚に出会いたい…魚に魅せられた淡水

魚研究家に密着！，取材対応。

2015年4月27日，京都新聞，アユモドキ保全PR，取材対応，（2015年4月23日）。

2015年5月9日，中日新聞，アユモドキ保全を，取材対応，（2015年4月28日）。

2015年4月23日，毎日新聞，淡水魚アユモドキ知って，取材対応，（2015年4月22日）。

2015年4月30日，中日新聞，ウシモツゴ 実は新種，取材対応。

2015年4月29日，京都新聞，ウシモツゴは新種！，取材対応。

2015年4月30日，産経新聞，ウシモツゴ 新種と確認，取材対応。

2015年5月6日，びわ湖放送，コンニャクの花，取材対応・出演。

2015年5月9日，毎日新聞，悪魔の舌 開花 コンニャクの花，取材対応，（2015年5月7日）。

2015年5月9日，産経新聞，異臭放つコンニャクの花，取材対応，（2015年5月7日）。

京都新聞，琵琶湖固有の魚たち，取材対応。

### 【資料整備活動】

#### 他博物館・機関の活動

草津市，草津市の自然 滋賀県自然環境研究会調査，4点，写真貸出。

京都水族館，ハリヨ30尾，分譲。

京都水族館，ムサシトミヨ30尾，分譲。

姫路市立水族館，カネヒラ50尾，分譲。

東海タナゴ研究会，ウシモツゴ50尾，分譲。

水産総合研究センター増養殖研究所，ロングイヤーサンフィッシュ15尾，分譲。

水産総合研究センター増養殖研究所，パンプキンシード15尾，分譲。

水産大学校，コガタカワシンジュガイ標本40個体，貸出。

水産大学校，コガタカワシンジュガイ、カワシンジュガイ標本41個体，貸出。

岡山理科大学生物地球学部，魚類咽頭歯標本，貸出。

神戸市立王子動物園，セマルハコガメ緊急保護個体1個体，移動。

海遊館，オオクチバス、ブルーギルほか剥製，貸出。

宮津エネルギー研究所水族館，シルバーグラミーほか，分譲。

京都市動物園，イチモンジタナゴ50個体，分譲。

近江富士花緑公園，錦鯉49個体，分譲。

神戸市立須磨海浜水族園，ソウギョほか21個体，分譲。

大阪府立環境農林水産総合研究所，アユモドキ30個体，貸出。

米原市立双葉中学校，ハリヨ10個体，分譲。

姫路市立水族館，ジルティラピアほか31個体，分譲。

### 【展示活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

4月21日～6月14日，水族トピック展示「守ろう アユモドキ！ 連携展示」，実行委員会代表。

イオンモール草津 エコステーション，水槽展示等，管理多数。

7月18日～8月31日 第28回水族企画展示「琵琶湖固有の魚たちーびわ湖にしかない魚たちのあれやこれやー」，  
主担当。

7月18日～11月23日，第23回「琵琶湖誕生ー地層にねむる7つの謎ー」淡水貝類展示，展示協力。

水族トピック展示，企画・運営，4件。

### 【企画調整活動】

新任職員等研修，事業部について，講師，2015年4月14日，琵琶湖博物館。

### 【新琵琶湖博物館創造室活動】

- C展示室「田んぼへ」コーナー，担当.
- C展示室「生き物コレクション」コーナー，担当.
- 水族展示室「マイクロアクアリウム」，担当.

### 【研究部関連事業】

- 調査船「うみんど」管理，副担当.

## 館内の人事・館外活動等に関すること

### 【館内の人事】

- 滋賀県博物館協議会，事務局次長.
- 動物取扱責任者.

### 【館外の活動】

- 1999年～，守山湖岸再生部会，委員.
- 2000年～，木浜内湖再生部会，委員.
- 2004年～，淀川水系アユモドキ連絡協議会(環境省)，委員.
- 2011年～，(公社)日本動物園水族館協会生物多様性委員会・日本産希少淡水魚繁殖検討委員会，ニッポンバラタナゴ種別計画管理者.
- 2011年～，(公社)日本動物園水族館協会生物多様性委員会・日本産希少淡水魚繁殖検討委員会，アユモドキ種別計画管理者.
- 2011年～，(公社)日本動物園水族館協会生物多様性委員会・日本産希少淡水魚繁殖検討委員会，イチモンジタナゴ種別計画管理者.
- 2012年～，大津市立逢坂小学校エコスクール支援委員会，委員.
- 2012年～，びわこビジターズビューロー 宣伝キャンペーン委員会，委員.
- 2013年～，(公社)日本動物園水族館協会 生物多様性委員会・保全戦略部，部員.
- 2013年～，亀岡市都市計画公園及び京都スタジアム(仮称)に係る環境保全専門家会議，委員.
- 2013年～，亀岡市アユモドキ緊急調査検討委員会，委員.
- 2014年～，特定非営利活動法人 西日本自然史系博物館ネットワーク，理事.
- 2014年～，愛知目標達成のための侵略的外来種リスト作成に向けた魚類ワーキンググループ，検討委員.
- 2014年～，侵略的外来種リスト作成に向けた魚類WG会合，検討委員.
- 2014年～，環境省近畿地方環境事務所 淀川水系アユモドキ生息域外保全検討委員会，委員.
- 2014年～，関西広域連合広域環境保全局生物多様性検討委員会，委員.
- 2014年～，亀岡中部土地改良事業検討会，委員.
- 2015年～，滋賀県生き物調査生きもの総合調査委員会，魚貝類部会長.

2015 年度も環境学習センターの所長を兼務で行うこととなり、びわ博フェス 2015 や環境ほっとカフェ等、環境学習や環境について考えてもらうきっかけとなる事業等を行ってきた。環境学習センターとしては、これらのほかに、地域で活動している個人や団体などの情報を収集し、それらの情報を元に活動を行いたいと思っている人達を支援していくことが主要な業務となる。そのためには、環境学習推進員に現場に出て行ってもらう、地域で活動している人や団体およびその活動内容等について詳細に情報を集めてもらうとともに、それらの人や団体と環境学習を行おうとする人たちをつなぐ役目が重要である。今年度については、昨年度より約 60 件ほど相談件数が減少した。特に、年度後半の減少が著しいことから、C 展示室と水族の閉館が影響していると考えられた。また、収集した情報を発信する手段についても、思うような改善が行えなかった点が反省点である。昨年度より第四次滋賀県環境総合計画が施行され環境学習推進協議会の事務局を環境政策課と共同で運営し、第三次滋賀県環境学習推進計画の策定に携わるとともに、環境学習活動者交流会の開催を行った。また、おおむね 1 ヶ月に 2 回発行されるメールマガジン「そよかぜ」にビワマス博士・桑原所長のコラムを月 1 回掲載した。

また、今年度は総務部新琵琶湖博物館創造室の SGL として、特に水族展示室リニューアル工事の実施に携わるとともに、展示製作を中心的に行った。その中でも、「古代湖の世界」のコーナーのバイカル湖の展示について多大な労力を払う必要があった。まずバイカルアザラシについては、マリンワールド海の中道から 2 頭、鴨川シーワールドから 1 頭譲り受ける段取りをつけることができた。バイカルアザラシ以外の魚類等については、5 月の終わりと 6 月の終わりにバイカル博物館を訪問し、捕獲と輸送に関して段取りをつけることができた。実際、10 月、12 月、1 月、3 月と 4 回あわせて 14 種、約 200 個体の生物を送っていただくことができた。これらの飼育についても、魚類関係はおおむね順調に飼育を行うことができるようになった。

今年度は、ほぼリニューアル関係一色で、研究業務は思うに任せないところがあったが、学位取得の主査になっていただく予定の三重大学生物資源学部教授と論文作成に関する相談を行うなど、できるだけ努力は行ってきたつもりであるが、残念ながら投稿まで進めることができなかった。

## 印刷物

### 【一般向け著作】

桑原雅之 (2015) 湖岸より 245 受け継ぐ水族展示の歴史. *中日新聞*, 中日新聞社, 8 月 29 日.

桑原雅之 (2015) 琵琶湖の魚の不思議と謎 1 ホンモロコはどこへ?!. 琵琶湖と西日本の静かな釣り『Walton』, 05, ウォルトン舎.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

桑原雅之 (2015 年 7 月 17 日) バイカル湖産水生生物の展示に向けて. 琵琶湖博物館研究セミナー, 琵琶湖博物館, 琵琶湖博物館, [口頭発表].

亀甲武志・片岡佳孝・菅原和宏・石崎大介・吉岡 剛・桑原雅之・井口恵一朗・甲斐嘉晃・中山耕至 (2015 年 9 月 6 日) 琵琶湖流入河川姉川水系支流のナガレモンイワナの遺伝的特徴. 2015 年度日本魚類学会年会, 近畿大学奈良キャンパス (奈良市), [口頭発表]



### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館専門研究「琵琶湖産魚類の遺伝的多様性と個体群構造の変化に関する基礎的研究」, (2015年度).

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

質問コーナー・フロアトーク, 琵琶湖博物館, 7件.

2015年7月4・5日, びわ博フェス☆2015, 主担当.

2015年12月20日, 淡海こどもエコクラブ活動交流会, 琵琶湖博物館, 企画運営.

2016年2月21日, ふなずし学習指導者交流会, 環境学習指導者交流会, 琵琶湖博物館, 企画運営.

2016年2月27日, バイカル湖の生き物たちーバイカル湖産水生生物の展示に向けてー, 新琵琶湖学セミナー「いざリニューアルへ!」, 琵琶湖博物館, 講演.

#### 他の博物館・機関等主催行事

2015年8月3・4日, 淡水魚の生態と分類, シニア自然大学, 淡水魚①, 大阪環境情報プラザ・ワキタ天満橋ビル(大阪市), 講師.

2015年9月14・16日, 淡水魚の採集と同定, シニア自然大学, 淡水魚②, 大戸川(滋賀県大津市), 講師.

2015年12月17日, ビワマスの生態について, 米原市天野川ビワマス遡上プロジェクト, 息長小学校(滋賀県米原市), 講師.

#### メディアへの協力

2015年9月25日, 京都新聞, 夢枕獏の日本巡礼釣り紀行 滋賀・ビワマス, 取材協力, (2015年7月22日取材).

2015年8月31日, 京都新聞, バイカル湖汚濁深刻化, 取材協力(共同通信社 バイカル博物館にて), (2015年7月4日取材).

### 【資料整備活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

水族資料収集, 担当.

水族資料維持管理, 担当.

### 【展示活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

水族展示維持管理, 担当.

旬のさかなたち, 主担当.

水族トピック展示, 担当.

モーニングレクチャー, 講義, 4回.

展示交流員と話そう, 内容指導.

### 【広報営業活動】

企業訪問, 2件.

### 【新琵琶湖博物館創造室活動】

水族展示室リニューアル, 総括.

## 館内の人事・館外活動等に関すること

### 【海外渡航】

2015年6月2日～6月7日，ロシア イルクーツク・リストヴィヤンカ(バイカル博物館)，リニューアル関係展示  
生物捕獲依頼.

2015年6月29日～7月5日，ロシア イルクーツク・リストヴィヤンカ(バイカル博物館)，リニューアル関係展示  
生物捕獲依頼.

### 【館外の活動】

日本動物園水族館協会，設備会議，幹事.

野洲市環境審議会，委員.

滋賀大学環境学習支援士養成プログラム，企画運営委員会，委員.

米原市ビワマスプロジェクト，生態アドバイザー.

オサムシ科を中心に昆虫の系統進化および生物地理を明らかにすることを研究目標としている。また、地域の人たちとともに滋賀県の昆虫相を解明することを目指している。

研究業績としては、多賀賀町古代ゾウ発掘プロジェクトで発掘された昆虫化石の論文が印刷された。オサムシ科のミズギワゴミムシ属およびアオゴミムシ属、コメツキムシ科、ゾウムシ科は、古琵琶湖層群から初めて確認された。また、第一次、第二次、第三次発掘調査を通して、アオヘリネクイハムシに比較される種の産出数が多いことから、ある程度は基本的に安定した止水域で堆積したもので、外部からの異地性の昆虫遺骸が運搬されてくるような状況ではなかったと推測した。日本昆虫学会大会において開催された科研費「ニッチ構築としての鳥の巣」の小集会で「カワウの巣の昆虫群集」というタイトルで発表した。

滋賀県レッドデータブックは5年ごとに改訂版が出版されている。今年度は2015年版が発行される年度で、昆虫類部会長として、22名の委員の原稿のとりまとめを行うとともに15種の執筆を行った。

昨年度に引き続き研究部長として研究部の総括を行うほか、研究部代表者会議や研究審査会の運営に関わった。科学研究費補助金事業の学芸員全員申請に館として取り組み、申請書類に目を通すなどして採択率の向上にも努めた。博物館の研究推進のため、バイカル湖と琵琶湖の比較湖沼学研究を企画し、次年度の科研費基盤（B）に申請した。また、20周年記念国際シンポジウムについては研究成果公開促進費に申請した。

事業活動では、新琵琶湖博物館の創造においてC展示室の「生き物コレクション」コーナーの担当として、他の分類群の担当者と連携しながら展示リニューアルを行う準備を進めた。その他の事業活動としては寄贈された宮田彬コレクションの登録作業を進めている。寄贈された江本健一コレクションの標本目録が共著で印刷された。

## 印刷物

### 【学術論文】

Yahiro, K. and Hayashi, M. (2015) Fossil insects from the Pleistocene Kobiwako Group at Taga Town, Shiga Prefecture, Japan. *Elytra New Series*, 5 (2): 531-538.

### 【専門分野の著作】

吉武 啓・八尋克郎・伊藤元己 (2015) 象鼻虫 滋賀県立琵琶湖博物館所蔵の日本産ゾウムシ上科標本（江本健一コレクション）目録（1）オサゾウムシ科. *日本ゾウムシ情報ネットワークニュースレター*, 10: 9-11.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

八尋克郎 (2015年7月17日) 滋賀県多賀賀町四手の古琵琶湖層群から産出した昆虫化石について. 琵琶湖博物館研究セミナー, 琵琶湖博物館, 琵琶湖博物館, [口頭発表].

八尋克郎・亀田佳代子 (2015年9月21日) カワウの巣の昆虫群集. 日本昆虫学会第75回大会, 小集会「昆虫と鳥の巣—知られざる共生系—」, 九州大学 (福岡市), [口頭発表].

### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館専門研究「カワウの巣の昆虫相に関する研究」, (2015年度).

科学研究費助成事業(基盤 B)「ニッチ構築としての鳥の巣:未知の共生系の進化生態学的研究」(研究代表者:上田

恵介), 研究分担者 (2013~2015 年度).  
科学研究費助成事業(基盤 C)「博物館, 市民が連携した総合的古環境調査の実践的研究」(研究代表者: 高橋啓一),  
研究分担者 (2014~2016 年度).

#### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

日本昆虫学会 2015・2016 年度, 評議員, 2013 年 1 月 1 日～.  
日本環境動物昆虫学会第 13 期環境アセスメント動物調査手法研究部会, 運営委員, 2010 年 2 月～.  
滋賀オサムシ研究会, 事務局, 1997 年度～.  
地表性甲虫談話会会報, 編集幹事, 2004 年度～.  
Biogeography, 査読, 1 件.  
昆虫 (ニューシリーズ), 査読, 1 件.

#### 【大学の講義・実習、学生の指導など】

2016 年 1 月 7 日, 滋賀県立大学学芸員資格講義, 「博物館資料保存論」.

## 博物館事業に関する業績

#### 【交流・サービス事業】

##### *琵琶湖博物館の主催行事*

2015 年 8 月 1 日, びわ湖バレイでアキアカネ調査に参加しよう, 観察会, 琵琶湖バレイ・滋賀県大津市, 講師, (大塚泰介と共同).  
2015 年 8 月 4 日, 研究活動について, 博物館実習, 琵琶湖博物館, 講師.  
2015 年 8 月 6 日, 昆虫乾燥標本の整理と製作, 博物館実習, 琵琶湖博物館, 講師.  
2016 年 1 月 23 日, 滋賀の生き物コレクション, 新琵琶湖学セミナー「いざりニューアルへ!」, 琵琶湖博物館, 講演.

##### *他の博物館・機関等主催行事*

2015 年 9 月 26 日, 問題解決のアプローチ, 立命館守山中学校, 琵琶湖学習, 琵琶湖博物館, 講師.

##### *メディアへの協力*

2016 年 1 月 23 日, 毎日新聞, 新種の虫について, 取材対応, (2016 年 1 月 22 日).

#### 【情報整備活動】

##### *琵琶湖博物館の活動*

クエリーの質問対応, 昆虫に関する質問への回答, 3 件.

#### 【資料整備活動】

##### *琵琶湖博物館の活動*

昆虫乾燥標本, 寄贈, 1 件.  
昆虫乾燥標本, 特別観覧, 2 件.  
昆虫乾燥標本, 貸出し, 3 件.

#### 【展示活動】

##### *他の博物館・機関等主催行事*

多賀町立博物館企画展「多賀の自然環境—発掘された 180 万年前の多賀—」, 2015 年 9 月 12 日～27 日, 展示協力.

#### 【企画調整活動】

新任職員等研修，琵琶湖博物館の研究活動，講師，2015年4月14日，琵琶湖博物館。

新任職員等研修，C展示室生き物コレクション，講師，2015年4月22日，琵琶湖博物館。

JICA研修 博物館とコミュニティ開発コース，地域資料の整理と保管（陸前高田市博物館のチョウ類標本を例にして）および博物館の研究活動，講師，2015年10月14日，琵琶湖博物館。

#### 【広報営業活動】

企業訪問，2件。

#### 【新琵琶湖博物館創造室活動】

C展示室「生き物コレクション」コーナー，主担当。

## 館内の人事・館外活動等に関すること

#### 【館外の活動】

2011年4月1日～，滋賀県生きもの総合調査委員会昆虫類部会，部会長。

2012年4月1日～，滋賀県環境審議会自然環境部会「指定希少野生動植物種および指定外来種の選定に関する選定小委員会」，専門委員。

2011年11月1日～，大津市環境影響評価委員。

2013年4月1日～，滋賀県生物多様性大賞，選考委員。

2015年度の大きな仕事は、研究関連の事柄として、7月の二つのウ類国際シンポジウムの企画・運営・発表、博物館事業関連の事柄として、C展示室リニューアルの総括の二つである。

Vth International Wildlife Management Congress（第5回国際野生動物管理学会、IWMC2015）では、ウ類の保護管理に関するシンポジウムのオーガナイザーを務めた。事前に海外研究者ともメールで議論を重ねた上でシンポジウム全体の内容や方向性を決定し、当日の取りまとめや司会も英語で行い、発表も行った。またこれに先立ち、一般向けのウ類国際シンポジウムを当館で開催した。主催者の環境省や業務委託先のNPO法人バードリサーチと共に内容の検討や準備を進め、当日の発表やパネルディスカッションの司会を務めた。いずれのシンポジウムも大変有意義なものとなり、国内外のウ類の現状と保護管理について、多くの方々と情報共有と深い議論を行うことができた。

C展示室のリニューアルについては、2016年7月のオープンに向けて、自分自身の担当展示の準備の他、C展示室全体の調整や進捗管理などに多くの時間と労力を注いだ。その他の業務としては、研究部では、生態系研究領域グループリーダーとしての研究推進、特に学位取得希望者の研究発表の機会確保や今後の総合研究の課題の検討を行った。企画調整課では、研究部調整の担当として、研究審査委員会の対応や任期満了委員の後任の検討と決定、科研費の事務手続きなどを行った。また、開館20周年記念事業を担当し、企画調整課長や課長補佐、研究部長とともに、次年度の事業項目の検討や予算確保の段取りなどを行った。ただし、リニューアル業務に時間を割いたため、20周年記念事業には十分な時間を注ぐことはできなかった。

館外の活動としては、これまでつとめてきた滋賀県内のカワウ保護管理に関する検討委員会等の他、環境省のカワウ保護管理検討会の委員や、岐阜市と関市の鶴飼習俗総合調査の専門委員もつとめ、会議等で専門の立場から意見を述べた。カワウ以外では、滋賀県のレッドリスト改訂の作業や外来種検討委員会への出席などを行った。

## 印刷物

### 【一般向けの著作】

亀田佳代子（2015）湖岸より 250 さよならC展示室. *中日新聞*, 中日新聞社, 10月31日.

亀田佳代子（2015）琵琶湖地域のいまを読み解く 新しいC展示室, *琵琶湖博だより*, 23, 琵琶湖博物館: 1-2.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

亀田佳代子（2015年7月25日）日本のカワウの現状と課題. 国際シンポジウムウ類とのつきあい方～アメリカ・ヨーロッパの取り組みから考えるウの管理～, 環境省, 琵琶湖博物館, [口頭発表].

亀田佳代子（2015年7月25日）日本のカワウ管理の課題克服に向けて. 国際シンポジウムウ類とのつきあい方～アメリカ・ヨーロッパの取り組みから考えるウの管理～, 環境省, 琵琶湖博物館, [パネルディスカッション進行].

Kameda, K. O., Roby, D. R., Carss, D. N. and Wires, L. R. (2015年7月27日) Towards Sustainable, Knowledge-Based Cormorant Management: Combining Learning and Experiences from North America, Europe, and Japan. Vth International Wildlife Management Congress (第5回国際野生動物管理学会、IWMC2015), 札幌コンベンションセンター (札幌市), [口頭発表].

Kameda, K. O., Roby, D.R., Carss, D. N. and Tsuboi, J. (2015年7月27日) Session14: Symposium Towards Sustainable, Knowledge-Based Cormorant Management: Combining Learning and Experiences from North America, Europe, and Japan. Vth International Wild life Management Congress (第5回国際野生動物管理学会会議, IWMC2015), 札幌コンベンションセンター (札幌市), [企画・運営].

亀田佳代子 (2015年8月21日) 北アメリカ、ヨーロッパ、日本のウ類保護管理について～歴史的な文脈と社会的背景を含めた比較～. 琵琶湖博物館研究セミナー, 琵琶湖博物館, 琵琶湖博物館, [口頭発表].

李屋貴士・中静 透・亀田佳代子 (2015年3月19日) カワウの営巣と林冠構成種の組合せで変化する森林動態. 日本生態学会第63回全国大会, (一般社団法人) 日本生態学会, 仙台国際センター (仙台市), [ポスター発表].

#### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館申請専門研究「カワウと森と人の関係史に関するデータベース構築」, (2015年度).

琵琶湖博物館総合研究「前近代を中心とした琵琶湖周辺地域における自然および自然観の通時的変遷に関する研究」(研究代表者: 橋本道範), 研究分担者 (2014～2018年度).

科学研究費助成事業 (基盤 B) 「ニッチ構築としての鳥の巣」(研究代表者: 上田恵介), 研究分担者 (2013～2015年度).

科学研究費助成事業 (基盤 B) 「琵琶湖地域を対象とした地域環境史モデルの構築」(研究代表者: 橋本道範), 研究分担者 (2015～2018年度).

#### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

日本鳥学会評議員, 2006年1月～2017年12月.

日本鳥学会和文誌編集委員, 2014年1月～2017年12月.

日本鳥学会員近畿地区懇談会世話人, 2000年1月～.

日本生態学会生態学教育専門委員会委員, 2010年4月～2018年3月.

日本生態学会近畿地区会自然保護専門委員, 2008年1月～2016年12月.

日本生態学会近畿地区会委員, 2014年1月～2015年12月.

「野生生物と社会」学会「野生生物と社会」編集委員, 2012年4月～2016年3月.

#### 【大学の講義・実習、学生の指導など】

東北大学大学院生, 修士論文指導および情報提供.

## 博物館事業に関する業績

#### 【交流・サービス事業】

##### 琵琶湖博物館の主催行事

質問コーナー・フロアトーク, 琵琶湖博物館, 4件.

2015年6月21日, 滋賀の鳥たち最前線, 博物館で楽しもう!, 琵琶湖博物館, 主担当, (日本野鳥の会滋賀共催).

2015年8月5日, 発表課題内容の検討, 博物館実習, 琵琶湖博物館, 講師.

##### 他の博物館・機関等主催行事

2015年8月22日, カワウってどんな鳥?, 大津市科学館, 大津市科学館科学講演会, 大津市科学館 (滋賀県), 講師.

2015年11月11日, 海外のウ類の生息状況の変化, 環境省, 平成27年度特定鳥獣の保護・管理に係る研修会 (上級編 (カワウ)), 愛知県自治センター (名古屋市), 講師.

### **視察対応**

2015年9月3日，展示リニューアル視察対応，自由民主党滋賀県議員，琵琶湖博物館。  
2016年2月3日，展示リニューアル視察対応，池永肇恵副知事，琵琶湖博物館。  
2016年2月9日，展示リニューアル視察対応，共産党滋賀県議員，琵琶湖博物館。

### **メディアへの協力**

2015年8月2日，中日新聞，琵琶湖のカワウの生息状況と新たなコロニーについて，取材対応，（2015年7月31日）。

### **【資料整備活動】**

#### **琵琶湖博物館の活動**

鳥類資料の提供，受入・整理。

C展示室リニューアルに関わる鳥類資料（本剥製標本）の整理，130件。

### **【展示活動】**

#### **琵琶湖博物館の活動**

モーニングレクチャー，講義，4回。

### **【企画調整活動】**

新任職員等研修，C展示室生きものコレクションコーナー（鳥類）の説明，講師，2015年4月22日，琵琶湖博物館。

20周年記念事業に関すること，主担当。

研究部との調整に関すること，主担当。

### **【新琵琶湖博物館創造室活動】**

C展示室リニューアル，総括。

C展示室「川から森へ」ゾーン「琵琶湖をかこむ森」コーナー，カワウのすみ森展示の製作。

C展示室「生きものコレクション」ゾーン「生きものにぎわい」コーナー，鳥類展示の製作。

### **【研究部関連事業】**

生態系研究領域の研究推進に関すること，主担当。

研究発信の総括に関すること，主担当。

研究審査委員会に関すること，主担当。

## **館内の人事・館外活動等に関すること**

### **【館内の人事】**

2015年8月3日，平成27年度女性職員リーダー交流研修，受講。

2015年9月8日，平成27年度評価者研修（第3部）「実践力向上のための事例演習」，受講。

### **【館外の活動】**

2014年4月1日～2016年3月31日，京大大学生態学研究センター，協力研究員。

2006年8月1日～2016年3月31日，滋賀県生きもの総合調査委員会鳥類部会，専門委員。

2003年5月1日～2016年3月31日，滋賀県外来種問題検討委員会，委員。

2006年7月12日～2016年3月31日，農林水産省近畿中国森林管理局伊崎国有林の取扱いに関する検討におけるワーキンググループ，委員。

2010年7月21日～2016年3月31日，滋賀県カワウ総合対策協議会，委員。



2014年1月6日～2016年3月31日，関西地域カワウ広域保護管理計画の推進に関する検討委員会，委員.

2014年8月18日～2017年3月31日，関西広域環境保全計画に関する有識者会議，委員.

2015年9月1日～2016年3月7日，特定鳥獣に係る保護管理施策推進のための人材育成研修及び対応等調査・検討業務に関する保護・管理検討会，委員.

2015年9月1日～2016年3月7日，特定鳥獣に係る保護管理施策推進のための人材育成研修及び対応等調査・検討業務に関する指定管理鳥獣指定検討委員会，委員.

2016年2月1日～2017年3月31日，岐阜市長良川鶺鴒習俗総合調査専門委員会，委員.

2016年2月1日～2017年3月31日，関市小瀬鶺鴒習俗総合調査委員会専門部会，委員.

前年に引き続き、南湖の沈水植物の繁茂状況を魚群探知機で観測した。沈水植物の量の指標となる平均群落高（＝群落容積）は前年に較べてやや小さい傾向が見られたが、相変わらず南湖の容積の40%以上を占めていた。

研究発信としては、2014年度の定量調査の結果と、長期的な変遷のレビューの2本を論文として発表した。

## 印刷物

### 【学術論文】

芳賀裕樹（2015）琵琶湖南湖の沈水植物の長期変遷と近年の繁茂について. *環境技術*, 44: 2-7.

芳賀裕樹・石川可奈子（2016）琵琶湖南湖における2014年の沈水植物の現存量ならびに2002, 2007, 2012年との比較. *陸水学雑誌*, 77: 55-64.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

芳賀裕樹（2015年6月27日）水草の現状と変遷. 水草フォーラム, 滋賀県琵琶湖政策課, コラボしが21（滋賀県大津市）, [口頭発表].

芳賀裕樹（2016年1月15日）南湖の水草繁茂に関する研究の今後. 琵琶湖博物館研究セミナー, 琵琶湖博物館, 琵琶湖博物館, [口頭発表].

### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館専門研究「琵琶湖南湖の沈水植物の繁茂状況の把握」, (2015年度).

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

質問コーナー・フロアトーク, 琵琶湖博物館, 8件.

2015年10月24日, 琵琶湖の湖底を探検, 企画展示関連イベント, 琵琶湖博物館, 主担当.

2016年3月12日, 琵琶湖の模型を作ろう, わくわく探検隊, 琵琶湖博物館, 講師.

#### 他の博物館・機関等主催行事

2015年7月9日, 琵琶湖について, 千里ネイチャークラブ, 琵琶湖博物館, 講師.

2015年7月25日, 赤野井湾の現状について, びわこ豊穰の郷, 赤野井湾探検会, 守山漁港（滋賀県守山市）, 講師.

2015年8月20日, プランクトン採集と観察, 海南高校, プランクトン実習, 琵琶湖博物館, 講師.

2015年11月11日, 私たちをとりまく水環境・三郷町人権問題学習セミナー, 三郷町教育委員会, 琵琶湖博物館, 講師.

2016年3月5日, 南湖の水草の現状, NPO法人リバプレ隊, 石山港～米プラザ港（船上）, 講師.

### メディアへの協力

2015年12月5日，読売新聞，母なる湖のために，情報提供，取材対応，（2015年11月24日）.

2016年3月21日，朝日新聞，琵琶湖博物館改装の舞台裏，取材対応，（2016年3月20日）.

### 【情報整備活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

情報システム，主担当.

### 【展示活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

2015年4月28日～5月31日，ギャラリー展示「琵琶湖フォトコンテスト作品展～伊藤園お茶で琵琶湖を美しく。～」，主担当.

2016年3月19日～4月10日，ギャラリー展示「魅せます リニューアルの舞台裏」，主担当.

### 【企画調整活動】

滋賀県博物館協議会事務局，主担当

### 【新琵琶湖博物館創造室活動】

C展示室「琵琶湖にでかけよう」コーナー，主担当.

## 館内の人事・館外活動等に関すること

### 【館外の活動】

2015年度，大津市科学館運営協議会，協議委員.

2015年度，滋賀県水草対策チーム.

琵琶湖の集水域を流れる農業用水は、かんがいを中心に農産物や農機具の洗浄、防火用水など生活用水としての機能を有するとともに、生態系に欠かすことのできない環境保全の役割を果たし、これらの多面的機能の維持や利用を水田が持つ本来の機能と合わせて経済的な効果を評価しているところである。また、近年では震災以降の安定した電力の供給や収入の確保、地域振興などを目的として、各地で再生可能エネルギーを活用する動きが高まり、太陽光発電の導入や農業用水利施設を活用した小水力発電の取り組みが推進されている。そこで、農村地域における生きものや植物の生育にとって重要な生態系保全の役割を果たしている農業用水利施設をさらに有効活用するための取り組みとして、地域に現存する水車の利用実態を調査し、小水力発電の普及による再生可能エネルギーの拡大につながる施策立案の情報収集を行った。

調査は、博物館収蔵資料の「水環境カルテ」から「水車」に関する記事を検索し、得られた情報と合わせてヒアリングや既存資料から県内に現存する水車の実態を調査した。流水と水車とが接する位置によって分類した型式では、水路の流水を直接利用した下掛け水車が最も多く存在し、現状から判断した用途では、集落や公園等の景観として利用されている水車が最も多い状況であった。これらの結果をもとに、今日まで水車が稼働し続けていることは、継続した維持管理が必要であり、このことから、水車のある地域では、豊富な水資源による水力のポテンシャルが高く、同時に地域の水利用に関する意識も高いと推察され、こうした地域において小水力発電の普及拡大を図るため、地域の活性化施策の必要性を示唆した。

次に、2012年度から継続調査を行っている農村地域の実情に応じた営農による生態系保全の役割と効果について、これまでの現地調査の結果や本年度7か所での観察会を通じて、継続したモニタリングによる経年変化の把握と繁殖・成育に必要な宿主役(魚類と貝類の関係など)の機能性について、地域住民にわかりやすく説明し、今後の保全活動を取り組むきっかけづくりを行った。

事業活動では交流担当として、生活実験工房を中心に田んぼ体験教室を14回企画し、延べ280名の参加者に水稲作と暮らしに関する体験と田んぼの生きものに触れる機会を提供し、参加者との交流を深めることができた。地域連携では、館内外において、10件の講演や観察会の講師等を行った。また、一般向けの広報誌「琵琶博だより」を4回編集し、子供向け広報誌「うみっこ通信」をホームページ上で2回発行した。

新琵琶湖博物館創造室では、主にリニューアル工事全般の調整業務を担当し、交流空間の設計業務にも取り組んだ。

## 印刷物

### 【一般向けの著作】

水谷 智・里口保文・杉山國雄(はしかけ古琵琶湖発掘調査隊)・長 朔男(湖国もぐらの会)・小泉 誠(地学資料整理担当)・芳賀裕樹・渡部圭一・橋本道範・澤邊久美子 編(2015) *琵琶博だより*. 21, 琵琶湖博物館: 4p.

水谷 智・桑原雅之・金尾滋史・山本充孝・長田智生(水族展示飼育員)・芳賀裕樹・渡部圭一・橋本道範・澤邊久美子 編(2015) *琵琶博だより*. 22, 琵琶湖博物館: 4p.

水谷 智・亀田佳代子・白神啓太(滋賀トンボ調査グループ)・白神大輝(滋賀トンボ調査グループ)・芳賀裕樹・秋山廣光・渡部圭一・橋本道範・澤邊久美子・(2015) *琵琶博だより*. 23, 琵琶湖博物館: 4p.

水谷 智・ロビン ジェームズ スミス・宇野君平(平安造形大学)・松田征也・鈴木隆仁・芳賀裕樹・渡部圭一・橋本道範・澤邊久美子 編(2016) *琵琶博だより*. 24, 琵琶湖博物館: 4p.

水谷 智(2016) 湖岸より 255 魚が泳ぐ田んぼ作り. *中日新聞*, 中日新聞社, 1月23日.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

水谷 智（2015年12月18日）農業水利施設を活用した小水力発電について．琵琶湖博物館研究セミナー，琵琶湖博物館，琵琶湖博物館，[口頭発表]．

### 【研究プロジェクトへの参加】

琵琶湖博物館専門研究「水田地帯における営農にあわせた生態系保全の基礎調査」，（2015年度）．

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

質問コーナー・フロアトーク，琵琶湖博物館，8件．

2015年4月～2016年3月，体験教室 田んぼ体験，琵琶湖博物館，担当，13件，（中川 優・はしかけ他と共同）．

#### 他の博物館・機関等主催行事

2015年6月7日，豊かな生きものを育む水田体験ツアー観察会，滋賀県農村振興課，高島市，講師．

2015年6月20日，魚のゆりかご水田生きもの観察会，竹町のしぜんを守る会，竹町公民館（滋賀県近江八幡市），講師．

2015年8月4日，小佐治子供会生き物観察会，小佐治環境保全部会，甲賀もちふるさと館（滋賀県甲賀市），講師．

#### 視察対応

2015年6月11日，昔暮らし体験保育，若鮎保育園．

2015年6月30日，滋賀県の環境に配慮した農業の現状について，明治大学．

2015年7月25日，ニッセイ「森の探検隊」，日本生命保険相互会社．

2015年9月25日，10月2日，琵琶湖周辺の環境と滋賀の農業について，龍谷大学，2件．

2015年10月25日，暮らしとお米について，守山市立玉津小学校学童保育の会．

2015年11月28日，地域の環境と再生可能エネルギーについて，高島の未来を考える会．

2016年2月3日，幼児の食体験と昔の暮らしについて，せた森の幼稚園．

### 【資料整備活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

資料の貸出，2件．

### 【展示活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

生活実験工房，田畑の維持管理．

モーニングレクチャー，講義，4回．

### 【新琵琶湖博物館創造室活動】

施工業者等との調整業務，担当．

C展示室「田んぼへ」コーナー，副担当．

## 館内の人事・館外活動等に関すること

### 【館内の人事】

2015 年度，滋賀県農政水産部耕地課企画調整担当，副参事を兼務.

### 【館外の活動】

2015 年度，滋賀県農政水産部農村振興課 豊かな生き物育む水田づくり（魚のゆりかご水田），担当者.

森林には、地球温暖化防止・環境保全・憩いの場など多面的な機能があり、特に身近な里山については、適切な手入れが継続されることで、その機能が維持されてきた空間である。しかしながら、暮らしの中でのエネルギー構造が変化し、里山資源は利用されなくなり放置された里山が増えてきた。近年、補助事業等の導入により里山の整備が進んでいる地域も一部にある。

現在、暮らしの多くの面で森林資源を利用していた頃とは違い、里山整備で生産される資源は、木質バイオマスエネルギー資源としての利用が想定されるが、導入にあたっては不確定要素が多い。しかし、里山の整備と資源利用を両立させることが、里山の機能保全に役立つ。

今年度は、里山整備における活動を通して里山に対する理解を深める方法について調査研究した。

詳細事項としては、①里山整備と森林資源の有効活用、②森林環境学習の推進、③県民参画の森づくりなどを対象とした。

①は、はしかけ里山の会を支援する形で里山の資源利用を継承している。活動としては、木の名札づくり、薪づくり、原木キノコ栽培などを行った。

②については、兼務している県森林政策課の業務である森林環境学習「やまのこ」事業専任指導員等を対象とした研修会や、小学校教員を対象とした研修会での講師・指導助言などを行った。

③についても兼務している県森林政策課の業務である「森づくり県民講座」において、里山における人工林整備の方法に関する講師や指導助言などを行った。

交流事業としては、野洲市大篠原の里山周辺で体験教室を開催しており、四季を通じて4回企画運営した。担当しているはしかけ里山の会では独自活動を実施しており、この活動を支援してきた。

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

質問コーナー・フロアトーク、琵琶湖博物館、2件。

はしかけ運営「里山の会」、担当。

2015年4月～2016年1月、里山の四季を楽しむ、里山体験教室、野洲市大篠原、企画運営、4件、(はしかけ「里山の会」共同)。

2015年10月31日、秋の里山 宝物をさがしにいこう、観察会、大津市仰木の里、運営、(楠岡 泰・カワセミ自然の会・はしかけ「里山の会」と共同)。

## 館内の人事・館外活動等に関すること

### 【館内の人事】

2015年度、滋賀県琵琶湖環境部森林政策課(林業普及センター)、兼務。

水生双翅類昆虫の水辺環境への適応がどのように進化し、地理的に広がっていったのかについて、時間軸が導入できる分子系統学的手法と伝統的な比較形態学的手法を用いて解析し、その系統進化過程を解明することを目標として研究を行っている。この系統発生像に生物地理学的観点をも含めて考察し、世界の中での琵琶湖の成立過程や固有性を明らかにしようと考えている。

文部科学省の科学研究費補助金（科研費）の研究「インド洋における海洋性双翅目昆虫の分散と進化」において研究代表者として、2016年2月16日から3月16日の間、マダガスカル、マヨット、レユニオン、モーリシャスにおいて調査を行った。これらの地域に固有な種（未記載を含む）を多数採集できた。この他、日本各地で多数の水生双翅類標本が収集され、現在、標本作製やDNAの解析を行っている。

また、文部科学省科学研究費補助金（基盤研究B）「博物館経営の基盤となる総合的な全国調査」（研究代表者：篠原 徹）において研究分担者として、2016年1月12日から2月1日の間、アメリカの博物館（フィールド自然史博物館、アメリカ自然史博物館、スミソニアン自然史博物館、カルフォルニア科学アカデミー）において調査を行った。これらの施設において、子どもだけでなく大人も日常の学習の場として博物館を利用する方策を担当者からのヒアリングや来館者の展示の使用状況等を調査した。

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

榎永一宏（2015年11月15日）海洋を越えたアシナガバエの分散と進化. 公益財団法人 藤原ナチュラルヒストリー振興財団 第7回シンポジウム「流れが運ぶ 自然史」, 国立科学博物館（東京都台東区）, [口頭発表].  
榎永一宏（2015年12月18日）アシナガバエ科 *Cemocarus* 属の分類と生物地理. 琵琶湖博物館研究セミナー, 琵琶湖博物館, [口頭発表].

### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館専門研究「水生双翅目昆虫アシナガバエ科の分類学的研究」, (2015年度).  
科学研究費助成事業（基盤C）「インド洋における海洋性双翅目昆虫の分散と進化」（研究代表者：榎永一宏）, 研究代表者（2014～2016年度）.  
科学研究費助成事業（基盤B）「日本の博物館総合調査研究」（研究代表者：篠原 徹）, 研究分担者（2013～2015年度）.

### 【学会等の役職・運営, 論文の査読など】

日本昆虫学会, 電子化推進委員.  
日本昆虫学会, Entomological Science, 査読, 1件.

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

琵琶湖博物館の主催行事  
質問コーナー・フロアトーク, 琵琶湖博物館, 9件.



2015年度、はしかフェ、副担当、7件。

2015年7月4日、博物館の森ガイドツアー、観察会、琵琶湖博物館、講師。

2015年7月19日、里山体験教室、体験教室、琵琶湖博物館、講師。

2015年8月4日、博物館実習、交流事業について、琵琶湖博物館、講師。

2016年2月6日、はしかフェ、講座、琵琶湖博物館、講師。

#### **他の博物館・機関等主催行事**

2015年4月25日、川の中の生きもの探し、観察会、TANAKAMI こども環境クラブ、天神川(滋賀県大津市)、講師。

2015年5月16日、川の中の生きものしらべ、観察会、ホテルの学校、千丈川(滋賀県大津市)、講師。

2015年6月13日、千丈川の水生昆虫等についての講話、ほたるのタベ、ホテルの学校、千丈川(滋賀県大津市)、講師。

2015年7月25日、森の探検隊、日本生命保険相互会社、琵琶湖博物館、講師。

2015年8月18日、琵琶湖博物館へ行こう、観察会、ホテルの学校、琵琶湖博物館、講師。

#### **メディアへの協力**

事業に関する資料提供、2件。

#### **【情報整備活動】**

##### **琵琶湖博物館の活動**

昆虫液浸標本データベース、維持管理。

#### **【資料整備活動】**

##### **琵琶湖博物館の活動**

日本産の昆虫の収集・整理(液浸、乾燥とも)、500件。

#### **【展示活動】**

##### **琵琶湖博物館の活動**

2015年度、常設展示C展示室「川の生き物を調べる」ライトトラップの展示更新と維持管理。

2015年度、常設展示C展示室「川の生き物を調べる」顕微鏡で虫を観る展示更新と維持管理。

2015年度、研究最前線更新。

#### **【企画調整活動】**

新任職員等研修、交流事業について、講師、2015年4月14日、琵琶湖博物館。

新任職員等研修、C展示室 川岸林と川の生き物たち、川の生き物をしらべる、ホテルと人と環境と、講師、2015年4月22日、琵琶湖博物館。

JICA研修 博物館とコミュニティ開発コース、交流事業の考え方、講義、2015年10月14日、琵琶湖博物館。

#### **【新琵琶湖博物館創造室活動】**

交流ワーキング、総括。

C展示室「これからの琵琶湖」コーナー、主担当。

C展示室「生き物コレクション」コーナー、副担当。

## **館内の人事・館外活動等に関すること**

#### **【海外渡航】**

2016年1月12日～2月1日、アメリカ、先進地博物館における大人を対象とした展示・学習プログラム・運営につ

いての事例研究、現地調査.

2016年2月16日～3月16日, マダガスカル・マヨット・レユニオン・モーリシャス, 野外調査.

**【館外の活動】**

2015年4月～2016年3月, 滋賀県生きもの総合調査昆虫類部会, 専門委員.

2014年8月～, International Congresses of Dipterology, Members of the Council.

2015年3月～10月, 博物館白書編集委員会, 編集委員.

本年度は4つの研究プロジェクトを重点的に行った。日本の淡水カイミジンコの分類と生態についての研究を続けており、4新種を記述した論文を完成させ、2015年に出版した。2つ目のプロジェクトは、金沢大学とドイツの共同研究者と共にカイミジンコの精子について研究している。本年度は二つの論文を完成し、これらは現在学術誌に提出している。3つ目のプロジェクトは韓国の共同研究者と韓国南部の地中に棲むカイミジンコについて研究しており、これには洞窟から採取した2新種の記述を含む。4つ目のプロジェクトは「新たな生物進化モデルの展開：日本海多様化工場説とその世界的インパクト」で、金沢大学の共同研究者と行っており、琵琶湖博物館にて研究セミナーを行い、サンプルを採集した。さらに、国際的学術誌 *Zootaxa* の編集者も引き続き行っている。

## 印刷物

### 【学術論文】

Smith, R. J. and Kamiya, T. (2015) Four new species of the subfamily Candoninae (Crustacea, Ostracoda) from freshwater habitats in Japan. *European Journal of Taxonomy*, 136: 1-34.

### 【一般向けの著作】

ロビン ジェームス スミス (2016) 新展示『マイクロアクアリウム』について. *琵琶博だより*, 24, 琵琶湖博物館: 1-2.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

ロビン ジェームス スミス (2015年5月15日) カイミジンコ (甲殻類) のキプリス上科の生殖について. 琵琶湖博物館研究セミナー, 琵琶湖博物館, 琵琶湖博物館, [口頭発表].

### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館専門研究「東アジアのカイミジンコデータベースの拡大」, (2015年度).  
科学研究費助成事業 (基盤 B) 「新たな生物進化モデルの展開：日本海多様化工場説とその世界的インパクト」 (研究代表者：神谷隆弘), 共同研究者 (2014~2017年度).

### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

*Zootaxa*, 編集者.

*Zootaxa*, 査読, 1件.

*Freshwater Biology*, 査読, 1件.

*Journal of Paleontology*, 査読, 1件.

Edith Cowan University (Australia) PhD, 査読, 1件.

琵琶湖博物館学芸員の書いた英文 (論文等) の英文添削, 4件.

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### *琵琶湖博物館の主催行事*

質問コーナー・フロアトーク，琵琶湖博物館，8 件。

2015 年 7 月 18 日，第 23 回企画展示「琵琶湖誕生—地層にねむる 7 つの謎—」オープニングイベント，補助。

#### *他の博物館・機関等主催行事*

2015 年 5 月 27 日，Lake Biwa，高校生，琵琶湖博物館，講義。

#### *視察対応*

2015 年 6 月 2 日，講義・展示案内，タイ カセナート大学学生。

2015 年 11 月 11 日，講義・展示案内，マレーシア PEKA 大学研究員。

### 【情報整備活動】

#### *琵琶湖博物館の活動*

英語版ホームページの更新，多数。

英語版ホームページのデザイン，変更。

日本の淡水カイミジンコの検索表，更新。

### 【展示活動】

#### *琵琶湖博物館の活動*

世界の湖の展示コーナー，清掃・管理。

展示交流員の管理運営，主担当。

### 【新琵琶湖博物館創造室活動】

リニューアルのためのパネル・内容・ソフトウェアのデザイン，英語タイトルのチェック，多数。

水族展示室「マイクロアクアリウム」，主担当。

## 主任主査

研究部生態系研究担当  
(兼) 総務部企画調整課  
(兼) 総務部新琵琶湖博物館創造室

事業活動である新琵琶湖博物館創造室の一員として、年度内の実施設計策定に向け多くの時間を費やし、リニューアル内容における館内調整や県民参加型展示評価、行政機関への調整を主に担当した。館内調整では、リニューアルにおける検討課題のいくつかについて方針を打ち出し、県民参加型展示評価では、C 展示室クローゼイングイベントと同日に5つの展示に対する評価を実施することで、リニューアルを迎える雰囲気づくりを行った。また、行政機関へ意見照会を行うとともに、県が抱える厳しい行政課題に係る展示については意見調整を行った。

企画調整課においては、移動博物館、および今年度から開始した移動博物館の要素にリニューアル広報を加えたサテライトミュージアムの主担当を務めた。サテライトミュージアムでは、リニューアル広報に効果的な展示物(映像3本×2編集、展示物1つ)を作成し、サテライトミュージアムや移動博物館で展示することで、リニューアル広報に努めた。作成した映像は、リニューアルの概要を紹介するもの「2016年夏、滋賀県立琵琶湖博物館がリニューアルオープンをします!」、バイカル湖の魚が博物館に来たときの状況を紹介するもの「バイカル湖の魚たちがやってきた!」、リニューアル後のC展示室が大阪湾から琵琶湖、さらには山の水源地まで、水によってつながっていることを表しているとする「鳥になってたどってみよう 琵琶湖の水のつながり」の3本について、長編と短編を作成した。また、リニューアル後の展示を先行的に見せる目的でカワウを持って重さを体感する模型を作成した。一方、移動博物館では、貸出様式を作成し貸出を中心に展開を図った。その他、電子媒体による質問等の受付および情報整理、国際交流、視察対応、年報・要覧・業績目録、博物館刊行物の調整・管理に係る主担当を務めた。

研究活動としては、「県環境行政施策資料の整理と活用」をテーマとした。県の環境行政は、県公害防止条例が制定されてから約40年が経過し、複雑かつ多様化しつつある。この県の各環境行政施策の位置づけを明確にするため、個別事業を系統立てて整理することなどにより、施策の概観をとりまとめるべく検討を進めている。

今年度は、元びわ湖会議事務局長や県環境行政OBの方から、びわ湖会議の資料や環境行政創成期以降の公害行政資料などを入手し、その資料整理を行った。また、別の県環境行政OBの方にインタビューを行い、県環境行政職員が受け継ぐべき知識や職員に必要とされる資質等のあぶり出しを試みた。さらに、過去の行政資料、滋賀県史などを調べ、県公害行政機関の成り立ちやこれまでの変遷などについてとりまとめを行った。検討した結果の一部については、研究セミナーで口頭発表した。また、新琵琶湖博物館セミナーの副担当を務めた。

## 印刷物

## 【一般向けの著作】

浦山重雄(2015)湖岸より 251 琵琶湖の水の使われ方. *中日新聞*, 中日新聞社, 11月14日.

## 研究活動に関する業績

## 【学会・研究会での発表】

浦山重雄(2016年2月19日)県環境行政施策の特徴～過去の環境行政施策から学ぶこと～. 琵琶湖博物館研究セミナー, 琵琶湖博物館, 琵琶湖博物館, [口頭発表].

## 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館専門研究「県環境行政施策資料の整理と活用」, (2015年度).

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

質問コーナー・フロアトーク，琵琶湖博物館，9件。

#### 他の博物館・機関等主催行事

- 2015年5月21日，琵琶湖環境を守る～石けん運動とびわ湖を中心に～，岐阜市立長良中学校，琵琶湖博物館，講師。
- 2015年5月26日，ベトナム（ハノイ・カットバ）の水環境について，滋賀県琵琶湖環境部，平成27年度琵琶湖環境部  
新任職員研修，滋賀県庁，話題提供。
- 2015年6月17日，ベトナムの水事情，滋賀県化学職員同友会，平成27年度化学職員同友会研修会，滋賀県庁，話題提  
供。
- 2015年6月20日，琵琶湖の環境保護の取組と生活面での省エネの取組，「JENESYS2.0」2015年度中国高校生訪日団第1  
団，琵琶湖博物館，講師。
- 2015年10月31日，琵琶湖の環境保護の取組と生活面での省エネの取組，島根大学日中環境教育プロジェクトグルー  
プ，琵琶湖博物館，講師。
- 2015年12月12日，びわ湖の水のひみつ，滋賀県琵琶湖環境部環境政策課，出張出前講座「びわ湖の日制定30周年記  
念事業」，私立東山中学校（京都市），講師。

### 【情報整備活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

電子媒体による質問等の受付および情報整理，主担当，132件。

### 【企画調整活動】

- サテライトミュージアム・移動博物館運営，主担当，32件。
- サテライトミュージアム事業，「琵琶湖博物館がやってきた！」展示物設営・イベント「オリジナルうちわを作ろ  
う」実施・撤収，2015年7月16日・19日・8月1日・24日，東急ハンズ心斎橋店（大阪市中央区）。
- サテライトミュージアム事業，「琵琶湖博物館がやってきた！」展示物視察，2015年7月19日・8月1日，東急ハン  
ズあべのキューズモール店（大阪市阿倍野区）・江坂店（大阪府吹田市）。
- 地域発見！参加型移動博物館事業，「近畿小学校長会協議会研究大会滋賀大会」展示物設営・運営・撤収，2015年8  
月4日，天津プリンスホテル（滋賀県大津市）。
- サテライトミュージアム事業，「2016.7.14琵琶湖博物館リニューアルオープンします！」展示物運営・撤収，2016  
年3月21日，JR大阪駅（大阪市北区）。
- サテライトミュージアム事業，「2016.7.14琵琶湖博物館リニューアルオープンします！」展示物運営・撤収，2016  
年3月31日，くずはモール（大阪府枚方市）。
- 国際交流推進，主担当，15件。
- 視察対応，主担当，2件。
- 年報、要覧、業績目録，主担当。
- 博物館刊行物の調整・管理，主担当。

### 【新琵琶湖博物館創造室活動】

館内調整，主担当。

県民参加型展示評価，主担当，2015年10月11日。

県環境行政との連絡調整，主担当，県への照会期間2015年11月19日～12月10日，意見回答2016年2月21日。

ディスカバリールーム基本設計，副担当。

C展示室「琵琶湖へ出かけよう」コーナー，副担当。

**【研究部関連事業】**

新琵琶湖学セミナー，副担当，3件.

**館内の人事・館外活動等に関すること**

**【館内の人事】**

2015年度，滋賀県琵琶湖環境部環境政策課環境管理係，副主幹を兼務.

専門研究は水族展示のリニューアルのため内容を変更し、「琵琶湖産アユにおける摂餌なわばりの長期観察」を行った。水族展示室の「川の中流の生き物」で展示するアユに開館後、初めて川に遡上したヤナ漁で漁獲されたアユを用いたところ、なわばりアユが多数出現した。今後は、なわばりの様子を詳細に解析して琵琶湖産アユの特徴を明らかにする予定である。また、農林水産省からの委託研究として水田における環境保全型農業と慣行農業が生物多様性に及ぼす影響調査の魚類・両生類分野を琵琶湖周辺と愛知県の3地域において実施した。また、これまでの研究成果をとりまとめ「琵琶湖産アユ種苗における冷水病の実用的な防除技術」と題して近畿大学に博士学位論文を提出し、公聴会を経て、2016年3月に博士（農学）を取得した。

水族展示では水族維持管理、水族資料収集、飼育技術習得するとともに、第28回水族企画展示「琵琶湖固有の魚たちーびわ湖にしかない魚たちのあれやこれやー」を分担担当した。

博物館の事業では、新任職員等研修、博物館実習、JICA研修等の各種研修を主担当として運営した。交流・サービス事業として、外来魚解剖教室、琵琶湖の魚についての講師を務めた。

新琵琶湖博物館創造室では、水族展示担当として、水族展示水槽の改修・川魚屋等のドライ展示・展示評価等を分担担当した。

## 印刷物

### 【学術論文】

Yamamoto, M., Sugahara, K., Endo, M., Ishimaru, K. and Kato, K. (2015) Epidemiological Study of *Flavobacterium psychrophilum* in Ayu *Plecoglossus altivelis* Caught in Lake Biwa and the Inflowing Rivers from 1998 to 2011. *Fish Pathology*, 50 (3): 97-104.

山本充孝 (2015) 琵琶湖産アユ種苗における冷水病の実用的な防除技術. 近畿大学農学研究科水産学専攻 博士学位論文: 68p.

### 【一般向けの著作】

山本充孝 (2015) 下流域のさかなと築漁. 琵琶博だより, 22, 琵琶湖博物館: 3-4.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

山本充孝 (2015年6月19日) 琵琶湖産アユにおける実用的な冷水病の防除技術. 琵琶湖博物館研究セミナー, 琵琶湖博物館, 琵琶湖博物館, [口頭発表].

### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館専門研究「琵琶湖産アユにおける摂餌なわばりの長期観察」, (2015年度).

農林水産省委託プロジェクト「気候変動に対応した循環型食料生産等の確立のためのプロジェクト研究」(研究代表者: 夏原由博), 水田魚類調査担当 (2013~2017年度).



### 【大学の講義・実習、学生の指導など】

2015年6月28日，近畿大学水産学科，「滋賀の水産業」.  
2015年度後期，龍谷大学社会学部，「びわ湖・滋賀学」.

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

質問コーナー・フロアトーク，琵琶湖博物館，7件.

#### 他の博物館・機関等主催行事

2015年5月15日，外来魚について，レイカディア大学，琵琶湖外来魚駆除釣り大会，琵琶湖湖岸，講師.  
2015年7月29日，外来魚解剖教室，東山高校，講座，私立東山高校（京都市），講師.  
2015年8月19・21日，琵琶湖の魚，滋賀県水産課，夏休み親子水草と魚学習会，琵琶湖博物館，講師，2件.  
2016年2月9日，琵琶湖の外来魚について その被害と対策，関西大学 2回生ゼミ，琵琶湖博物館，講師.

### 【資料整備活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

水族資料収集，担当.  
水族資料維持管理，担当.  
魚類等資料収集，10件（淡水魚、甲殻類）.

### 【展示活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

水族展示維持管理，担当.  
2015年7月18日～8月31日，第28回水族企画展示「琵琶湖固有の魚たちーびわ湖にしかない魚たちのあれやこれやー」，分担担当.

#### 他博物館・機関の活動

東近江市役所，2015年8月25日，愛知川の魚の展示方法，コーディネーター，（桑原雅之と共同）.

### 【企画調整活動】

新任職員等研修，研修運営，主担当.  
博物館実習，主担当.  
JICA研修 博物館とコミュニティ開発コース（JICA Museums and Community Development Course），琵琶湖博物館側の主担当.  
日本博物館協会・全国科学博物館協会・日本動物園水族館協会等に関すること，主担当.

### 【広報営業活動】

企業訪問，1件.

### 【新琵琶湖博物館創造室活動】

水族展示水槽の改修およびドライ展示に関すること，主担当.  
有識者の展示評価に関すること，主担当.  
リニューアル展示アドバイザー（講師：高田浩二氏），企画・運営，2015年12月15日，琵琶湖博物館，（金尾滋史と共同）.

リニューアル展示アドバイザー（講師：堀越昌子氏）、企画・運営、2015年12月19日、琵琶湖博物館、（金尾滋史と共同）。

## 館内の人事・館外活動等に関すること

### 【館内の人事】

2015年度、ショップ会議。

### 【海外渡航】

2015年6月29日～7月5日、ロシア連邦 イルクーツク リストヴィヤンカ（バイカル博物館）、リニューアル展示生物搬入調整。

### 【館外の活動】

2015年5月22日～2016年3月31日、国立民族学博物館集団研修博物館学コース、運営委員会委員。

2015年度は、イバラモについての申請専門研究の2年目であった。フィールドを捜すことから苦労した前年度を反省して、計画的に調査地の探索を行ない、最終的には適切な調査地を得ることが出来たが、船舶を利用しなくてはいけないフィールドで、天候不順などで調査地へ行けないことが何回もあり、琵琶湖のような大きな湖沼での継続的な調査の困難さを再び思い知る事となった。

研究全般については、博物館学の分野で科研費の基盤研究 S「知の循環型社会における対話型博物館生涯学習システムの構築に関する基礎的研究」(代表者：国立科学博物館・小川義和)の4年目でもあり、この研究への協力をお願いする PCALi (ピカリ) カードも、琵琶湖博物館での協力者が100名を超え、夏と冬に東近江市の協力館とキャンペーンを打って学習プログラムの増強、協力者の確保に努めてきて、一定の成果を見る事ができた。

事業に関しては、交流担当より資料活用担当に異動した。これまで植物標本の担当者として取り組んできた様々な資料関係の事業について、日々実践に加えて業務担当として考える機会を得た。館の事業ではないが、「タンポポ調査・西日本2015」という参加型のタンポポ広域調査が2014年3月から2年に渡り行なわれ、滋賀県の実行委員会の事務局として滋賀の調査をとりまとめた。2014年、2015年の2年間で、前回(2010年)を超える3,000点ものサンプルを収集することができ、大きな成果を上げることができた。

これら研究、事業以外の仕事として、実質的に業務の大きな部分を占めたのが、C展示室のリニューアルであった。「ヨシ原に入ってみよう」ゾーンの主担当として、また「生き物コレクション」の一部(陸上植物、水生植物・湿生植物・海浜植物、菌類)の担当者として関わった。

## 印刷物

### 【専門分野の著作】

芦谷美奈子 (2016) 滋賀県, *タンポポ調査・西日本2015 調査報告書*, タンポポ調査・西日本実行委員会 : 72-75.

### 【一般向けの著作】

芦谷美奈子 (2015) 参加者からのコメント 支部会だより 近畿・九州支部会. *JMMA 会報*, 75, 日本ミュージアム・マネジメント学会 : 27.

芦谷美奈子 (2016) 滋賀県のタンポポ～“タンポポ調査・西日本2015”の結果より～. *滋賀県植物研究会会報 (2015年度)*, 滋賀県植物研究会.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

芦谷美奈子 (2015年4月17日) タンポポを調べる～参加型調査と専門的研究の間～. 琵琶湖博物館研究セミナー, 琵琶湖博物館, 琵琶湖博物館, [口頭発表].

芦谷美奈子 (2015年5月30日) 琵琶湖博物館における博物館(学芸員)実習. 2015年度JMMA近畿支部・九州支部合同研究会 徹底討論「学芸員養成課程における大学と博物館の連携方策を考える」, 日本ミュージアム・マネジメント学会, 桃山学院大学梅田サテライト(大阪市北区), [口頭発表].

芦谷美奈子 (2016年2月20日) 滋賀県のタンポポ～“タンポポ調査・西日本2015”の結果より～. 2015年度総会, 滋賀県植物研究会, 琵琶湖博物館, [口頭発表].

### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館申請専門研究「イバラモの繁殖生態に関する研究」, (2015 年度).

科学研究費助成事業(基盤 S)「知の循環型社会における対話型博物館生涯学習システムの構築に関する基礎的研究」  
(研究代表者: 小川義和), 研究分担者 (2012~2016 年度).

科学研究費助成事業(基盤 C)「学校教育における博物館利用を促進させるための教員支援ツールの開発」(研究代表者: 平賀伸夫), 研究分担者 (2013~2017 年度).

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

はしかけ運営「植物観察の会」・「タンポポ調査」, 担当.

2015 年 4 月 18 日, からすま半島たんぽぽ調査, からすま半島で楽しもう, 琵琶湖博物館, 講師.

2015 年 5 月 9 日, タンポポ調査にチャレンジしよう, 琵琶湖博物館わくわく探検隊, 琵琶湖博物館, 講師.

2015 年 8 月 4 日, 水草班, 自然調査ゼミナール, 琵琶湖博物館, 講師.

2016 年 2 月 13 日, ヨシ笛をつくろう, 琵琶湖博物館わくわく探検隊, 琵琶湖博物館, 講師.

#### 他の博物館・機関等主催行事

2015 年 4 月 4 日, タンポポ調査説明会, タンポポ調査・西日本 2015 滋賀県実行委員会, 琵琶湖博物館, 講師.

2015 年 4 月 5 日, タンポポ調査説明会, タンポポ調査・西日本 2015 滋賀県実行委員会, 琵琶湖博物館, 講師.

2015 年 5 月 17 日, タンポポ調査のお話, イオンチアーズクラブ草津, イオン草津店(滋賀県草津市), 講師.

2015 年 6 月 27 日, 博物館見学実習, 桃山学院大学, 学芸員養成課程, 琵琶湖博物館, 講師.

2015 年 7 月 22 日, 琵琶湖の水草について調べよう, イオンチアーズクラブ草津, 琵琶湖博物館, 講師.

2015 年 8 月 20 日, 琵琶湖の水草の分類と同定, 立命館守山高等学校, 水環境探求ワークショップ, 立命館守山高等学校(滋賀県守山市), 講師.

2015 年 9 月 9 日, 質問対応, 滋賀大学附属中学校, 琵琶湖博物館, 担当者.

2015 年 10 月 18 日, 琵琶湖の水草〜どこに、どんな種類が生えているか〜, 牧町農地水環境委員会, 研修会, 琵琶湖博物館, 講師.

### 【展示活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

2015 年 4 月 1 日~30 日, 集う・使う・作る 新空間「みんなで調べよう! 滋賀のタンポポ!!」, タンポポ調査・西日本実行委員会, 受入担当者.

### 【新琵琶湖博物館創造室活動】

C 展示室「ヨシ原に入ってみよう」コーナー, 主担当.

C 展示室「生き物コレクション」コーナー, 担当.

## 館内の人事・館外活動等に関すること

### 【館外の活動】

2000 年 4 月~, 木浜地区保全整備地域協議会守山湖岸再生部会, 委員.

2000 年 4 月~, 木浜地区保全整備地域協議会木浜内湖再生部会, 委員.

2015 年 6 月~, 琵琶湖湖南地域葎群落自然再生協議会, アドバイザー.

2014 年 2 月~2016 年 3 月, タンポポ調査・西日本 2015 滋賀県実行委員会, 委員.

研究部では昨年度に引き続き、滋賀県内のカヤネズミの生息地評価を目的とした現地調査を行い、そのとりまとめを行った。今年度は昨年 の 114 カ所のうち 62 地点で継続調査を行った。今年度は 29 地点でカヤネズミの生息を確認した。昨年生息した場所で今年度生息が確認できなかった地点が 15 地点あり、そのうち 5 カ所は太陽光発電や土地改変による生息地の消失であった。継続調査により、滋賀県内におけるカヤネズミの生息場所も年々減少していることが示唆された。大阪での調査結果は、原著論文「景観構造がカヤネズミの生息に及ぼす影響」として発行された。滋賀県の調査については、International Wildlife Management Congress 2015 においてポスター発表を行った。日本哺乳類学会との共同開催であった。この内容については現在投稿中である。

2014 年度から開始した自動撮影カメラ調査は、はしかけや関係者により、博物館以外の地域でも調査が広がり滋賀県における哺乳類分布把握に近づいている。今後は、屋外展示のみならず県内におけるほ乳類調査を進めていく。

事業部では展示グループでディスカバリールームを担当した。今年度も引き続き、展示物の老朽化を改善するために修理、更新を行った。「人形げきじょう」ではブラックバス、アマガエル、コウモリの 3 体を製作した。年間のイベントおよび展示も好評であった。「みんなで「びわこいのぼり」を作ろう！」や「はたきを作ろう！」は季節の人気イベントになりつつある。「ザ!ディスカバはしかけ」では、今年度も新しいメンバーを含めた新しいイベントを実施し、自主的な活動が活発であった。

新琵琶湖博物館創造室では、第 2 期交流空間のディスカバリールームを担当した。今年度は基本設計を行った。リニューアル後の展示室の方針および展示項目案について作成した。ディスカバリールームの展示項目については、開館当初の意図および現状と来館者によるお気に入り展示の人気投票アンケートを踏まえて評価した。それを元に次の新しい展示項目案を決定した。来年度の実施設計では、さらに具体的に議論を進めていく必要がある。リニューアル業務では、さらにヨシコーナー副担当および生き物コレクションのほ乳類コーナーと骨格コーナーを担当した。施工にあたり、資料採集及び映像撮影などフィールドに出かけた。同様に、地域の人々に展示に参加していただけるよう、協力を依頼し多くの団体及び個人に展示の協力をいただくことができた。

資料整理業務ではほ乳類標本を担当した。今年度はリニューアルのために使用する標本が新たに入り、その製作および登録を行った。また過去のほ乳類標本の撮影を行い、データベースを作製した。今後も、滋賀県内のほ乳類を中心に分布情報に加えて標本収集にも努める。

## 印刷物

### 【学術論文】

澤邊久美子・夏原由博(2015)景観構造がカヤネズミの生息に及ぼす影響. *応用生態工学 Ecology and Civil Engineering Society*, 18(2) : 69-78.

### 【一般向けの著作】

澤邊久美子(2016)湖岸より 260 日本一小さなネズミを博物館に. *中日新聞*, 中日新聞社, 3月27日.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

- 澤邊久美子 (2015年4月17日) 滋賀県のカヤネズミ分布—草津～甲賀エリア—, 琵琶湖博物館研究セミナー, 琵琶湖博物館, 琵琶湖博物館, [口頭発表].
- Sawabe, K., Natuhara, Y. (2015年7月27-30日) Habitats of harvest mouse in Shiga Prefecture, Central Japan. International Wildlife Management Congress 2015, The Mammal Society of Japan & The Wildlife Society, Sapporo Convation Center (Hokkaido, Sapporo), [Poster session].
- 澤邊久美子 (2015年11月2日) カヤネズミの生息率に影響する周辺の環境要素. 都市環境学発表会, 名古屋大学(名古屋市千種区), [口頭発表].
- 澤邊久美子 (2015年12月13日) 田んぼの周りにカヤネズミ. 琵琶湖地域の水田生物研究会, 琵琶湖博物館・日本生態学会近畿地区・近江地域学会生きもの豊かな農村づくり研究会共催, 琵琶湖博物館, [口頭発表].
- 澤邊久美子 (2016年2月1日) カヤネズミの生息適地は、地域の景観構造によって異なるのか. 都市環境学発表会, 名古屋大学(名古屋市千種区), [口頭発表].

### 【研究プロジェクト等への参加】

- 琵琶湖博物館申請専門研究「滋賀県におけるカヤネズミの生息適地要因」, (2015年度).
- 琵琶湖博物館総合研究「前近代を中心とした琵琶湖周辺地域における自然および自然観の通時的変遷に関する研究」(研究代表者:橋本道範), 研究分担者(2014～2018年度).
- 琵琶湖博物館共同研究「古琵琶湖の置き土産～滋賀県南部のミズゴケ湿地群の総合的研究～」(研究代表者:大塚泰介), 研究協力者(2012～2016年度).
- 科学研究費助成事業(基盤B)「琵琶湖地域を対象とした地域環境史モデルの構築」(研究代表者:橋本道範), 研究分担者(2015～2018年度).

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

- 質問コーナー・フロアトーク, 琵琶湖博物館, 9件.
- はしかけ運営「ザ!ディスカバはしかけ」, 担当.
- 2015年4月18日～5月6日, みんなで「びわこいのぼり」を作ろう!, ディスカバリールームイベント, 琵琶湖博物館, 運営.
- 2015年8月4日～5日, ほ乳類班, 自然調査ゼミナール, 琵琶湖博物館, 指導.
- 2015年8月29日, ヨシアートで学ぼう!, 博物館で楽しもう, 琵琶湖博物館, 運営, (ヨシ灯り展実行委員会と共同).
- 2015年12月26日, はたきを作ろう!, ディスカバリールームイベント, 琵琶湖博物館, 運営補助.

#### 他の博物館・機関等主催行事

- 2015年6月30日, 生物多様性セミナー～生きものが教えてくれる自然のつながり～, パナソニック(株)アプライアンス社(滋賀県草津市), 講師.
- 2015年7月9日, カヤネズミ調査について, 京都府立洛北高等学校, 琵琶湖博物館, 講師.
- 2015年8月26日, 博物館における環境への取り組みについて, 神戸大学, 琵琶湖博物館, 講師.
- 2015年10月2日, カヤネズミについて, 大阪動植物海洋専門学校, 琵琶湖博物館, 講師.
- 2015年12月12日, カヤネズミの住みかを探ろう—タナカミの哺乳類たち—, TANAKAMI ども環境クラブ, 田上公園(滋賀県大津市), 講師.

### **視察対応**

2015年8月31日、ハンズオン展示の新たな手法や工夫など博物館経営についての課題や今後の取り組みについて、立命館大学学生、琵琶湖博物館。

2015年5月8日、ディスカバリールームの運営や利用状況などについて、アクア・トトぎふ、琵琶湖博物館。

### **メディアへの協力**

2015年12月27日、中日新聞、できた!!私のはたき、取材対応、(2015年12月26日)。

### **【情報整備活動】**

#### **琵琶湖博物館の活動**

クエリー質問対応、ほ乳類、両生類、爬虫類、外来種などに関する質問への回答、5件。

### **【資料整備活動】**

#### **琵琶湖博物館の活動**

ほ乳類剥製の製作、16点。

ほ乳類標本の収集(未登録)、7点。

カヤネズミの譲渡(天王寺動物園)、5個体。

### **【展示活動】**

#### **琵琶湖博物館の活動**

ディスカバリールーム担当、展示物修繕・展示更新。

ディスカバリールームミーティング、琵琶湖博物館、12回。

2015年7月29日～11月23日、企画展示関連BOX「だれの足あと?」、琵琶湖博物館、製作補助。

2015年7月29日～11月23日、企画展示関連「化石スケッチ」、琵琶湖博物館、製作補助。

2015年12月11日～2016年2月29日、トピック展示「生まれ変わります。二十歳の琵琶湖博物館」第1弾・第2弾、企画制作。

モーニングレクチャー、講義、4回。

展示交流員と話そう、内容指導、3件。

### **【企画調整活動】**

新任職員等研修、ディスカバリールームについて、講師、2015年4月15日、琵琶湖博物館。

### **【新琵琶湖博物館創造室活動】**

ディスカバリールーム基本設計、主担当。

ディスカバリールームにおける現状と課題、2016年1月12日、関西博物館研究会1月座学、関西博物館研究会、高槻市役所(大阪府高槻市)。

ディスカバリールームリニューアルに関する意見交換会、2016年3月22日、関西博物館研究会3月座学、関西博物館研究会、琵琶湖博物館。

C展示室「ヨシ原を歩いてみると」コーナー、副担当。

## **館内の人事・館外活動等に関すること**

### **【館内の人事】**

2015年度、琵琶博だより、編集委員。

2015年度、うみっこ通信、編集委員。

2016年よりC展示室に新設される田んぼコーナーの主担当者として、また水族展示室に新設されるマイクロアクアリウムの副担当者として、リニューアル展示の作成に多くの時間を費やした。加えて交流担当グループでは、はしかけとフィールドレポーターの主担当を兼任する分掌とされたため、そこでも多くの時間を費やすことになった。結果として、以上の業務をこなすだけで所定の勤務時間を大幅に超過してしまい、他に関西広域連合検討委員会(生物多様性)の業務などもあって、研究に用いることができた時間はごく僅かであった。しかしそれでも、以下のとおり一定の研究あるいは研究交流の成果を得ることができた。

2015年5月から11月まで開催された「全国ハッタミミズ・ダービー」の事務局長として、全国のハッタミミズの分布解明に努めた。ハッタミミズは、石川県、福井県、滋賀県の3県のみから報告されている。このうち、石川県での分布は河北潟の周辺、福井県での分布は三方湖周辺に限られているのに対して、滋賀県では琵琶湖周辺に広く分布し、また流入河川の氾濫原だったと思われる場所や古琵琶湖の粘土層が分布する場所にも点々と分布することがわかってきた。また、記録が残るものとしては最長となる96cmのハッタミミズを甲賀市水口町で掘り当て、2016年3月現在、日本記録保持者になっている(ダービーは応募漏れで失格となった)。

今年も、琵琶湖地域で田んぼの生きものを研究している人たちを集めて、「第6回 琵琶湖地域の水田生物研究会」を開催した。第1部のミニシンポジウム「生きもの米の生態学的・社会的戦略—スーパースターはいなくても」では、トキやコウノトリなどの「スーパースター」がいない地域で、どのようにして生物と共存する米作りを進めていくことができるのかを、各地から招いた4人の論者に語っていただくき、会場の皆さんとともに議論をした。第2部は例年と同様の多数のショートセッションを行った。ポスター発表も含めて25題の発表、138名の参加があった。

博物館の総合研究・共同研究、科研費の研究、およびはしかけ「たんさいぼうの会」との共同研究は、ほとんど進めることができなかった。それでも前年度までの研究成果に基づき、共著論文2本を出版することができた。

## 印刷物

### 【学術論文】

- Fujioka, Y., Kikko, T., Saegusa, J., Usuki, T. and Ohtsuka, T. (2015) Response of sex ratio to timing of breeding in the small cyprinid *Gnathopogon caerulescens*. *Journal of Fish Biology*, 87, Wiley: 958-966.
- Kihara, Y. Tsuda, K., Ishii, C., Ishizumi, E. and Ohtsuka, T. (2015) Periphytic diatoms of Nakaikemi Wetland, an ancient peaty low moor in central Japan. *Diatom*, 31, 日本珪藻学会: 18-44.

### 【専門分野の著作】

- Tuji, A. and Ohtsuka, T. (2016) No. 121. *Gomphosphenia ryukyensis* Tuji et Ohtsuka sp. nov. In: Tuji, A. (ed.) *Algae Aquae Dulcis Japonicae Exiccatae VII*, National Museum of Science, Tsukuba, Japan: 2-4.

### 【一般向けの著作】

- 大塚泰介 (2015) 田んぼの生物多様性の見方・見え方の多様性. にぎやかな田んぼイナゴが跳ね、鳥は舞い、魚の泳ぐ小宇宙, 京都通信社: 82-83.
- 大塚泰介 (2015) 探せば探すだけ、新種が見つかる! 田んぼは小さな生きものの宝庫だった. にぎやかな田んぼイナゴが跳ね、鳥は舞い、魚の泳ぐ小宇宙, 京都通信社: 84-91.
- 大塚泰介 (2016) 湖岸より 256 ハッタミミズ・ダービー始末記. *中日新聞*, 中日新聞社, 1月30日.



## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

- 石角江里佳・大塚泰介・打越崇子・木原靖郎（2015年5月9日）中池見湿地の水環境が珪藻の分布に及ぼす影響。日本珪藻学会第36回大会，日本珪藻学会，東京大学（東京都文京区），[ポスター発表]。
- 富 小由紀・大塚泰介・堂満華子・林 竜馬・里口保文・多賀町古代ゾウ発掘プロジェクト（2015年5月9日）珪藻化石からみた滋賀県多賀町四手における約180万年前の古環境。日本珪藻学会第36回大会，日本珪藻学会，東京大学（東京都文京区），[口頭発表]。
- 芝崎美世子・後藤裕己・高橋恵之・田中広樹・大塚泰介（2015年5月10日）自然観察イベントにおける生物多様性とマイクロハビタットの理解。日本珪藻学会第36回大会，日本珪藻学会，東京大学（東京都文京区），[口頭発表]。
- 大塚泰介（2015年5月10日）現象としての種一分類学の成果を応用する立場から。日本珪藻学会第36回大会シンポジウム「珪藻の『種』とは何か」，日本珪藻学会，東京大学（東京都文京区），[口頭発表]。
- 大塚泰介（2015年5月15日）イノベーションを生み出す博物館活動。琵琶湖博物館研究セミナー，琵琶湖博物館，琵琶湖博物館，[口頭発表]。
- 大塚泰介（2015年6月7日）原生物の和名を考える～珪藻の場合～。ミクロ生物フェスティバル2015，ミクロ生物フェスティバル2015実行委員会，京都大学（京都市左京区），[口頭発表]。
- 佐々木尚子・林 竜馬・大塚泰介・片山慈敏（2015年10月3日）滋賀県甲賀地域の湧水湿地堆積物の花粉分析からみた過去3500年間の植生変化。日本花粉学会第56回大会，日本花粉学会，琵琶湖博物館，[ポスター発表]。
- 富 小由紀・大塚泰介・中村優介・石川俊之（2015年11月7日）滋賀県の水田で確認された珪藻。日本珪藻学会第35回研究集会，日本珪藻学会，日光交流促進センター『風のひびき』（栃木県日光市），[ポスター発表]。
- 大塚泰介（2015年11月7日）珪藻の外来種はどのようにして侵入しえるのかー他生物との関係で考えるー。日本珪藻学会第35回研究集会シンポジウム「外来珪藻」，日本珪藻学会，日光交流促進センター『風のひびき』（栃木県日光市），[口頭発表]。
- 大塚泰介・金尾滋史（2015年12月13日）第6回琵琶湖地域の水田生物研究会。琵琶湖博物館・近江地域学会生きもの豊かな農村づくり研究会・日本生態学会近畿地区会，琵琶湖博物館，[企画運営]。
- 大塚泰介（2015年12月13日）第1部ミニシンポジウム「生きもの米の生態学的・社会的戦略ースーパースターはいなくても」。第6回琵琶湖地域の水田生物研究会，琵琶湖博物館・近江地域学会生きもの豊かな農村づくり研究会・日本生態学会近畿地区会，琵琶湖博物館，[座長]。
- 富 小由紀・大塚泰介・中村優介・石川俊之（2015年12月13日）滋賀県の水田で確認された珪藻とその分布要因。第6回琵琶湖地域の水田生物研究会，琵琶湖博物館・近江地域学会生きもの豊かな農村づくり研究会・日本生態学会近畿地区会，琵琶湖博物館，[口頭発表]。
- 中西康介・山元大介・出口武洋・辻 泰光・大塚泰介（2015年12月13日）滋賀県の水田の微小甲殻類群集。第6回琵琶湖地域の水田生物研究会，琵琶湖博物館・近江地域学会生きもの豊かな農村づくり研究会・日本生態学会近畿地区会，琵琶湖博物館，[口頭発表]。
- 大塚泰介・高橋奈苗・金尾滋史・南谷幸雄・高橋 久・Mark J, Grygier・浦部美佐子・上西 実・渡辺弘之（2015年12月13日）全国ハッタミミズ・ダービー結果発表。第6回琵琶湖地域の水田生物研究会，琵琶湖博物館・近江地域学会生きもの豊かな農村づくり研究会・日本生態学会近畿地区会，琵琶湖博物館，[口頭発表]。
- 前田雅子・琵琶湖博物館フィールドレポーター・大塚泰介・芦谷美奈子（2015年12月13日）フィールドレポーターが明らかにした滋賀県のタンポポの分布。第6回琵琶湖地域の水田生物研究会，琵琶湖博物館・近江地域学会生きもの豊かな農村づくり研究会・日本生態学会近畿地区会，琵琶湖博物館，[口頭発表]。
- 多田正和・伊藤邦夫・河本智宏・齊藤光男・貸谷康宏・大塚泰介・小林秀司（2015年12月13日）岡山のナゴヤダルマガエルを守るか？ー保全生態研究はじめましたー。第6回琵琶湖地域の水田生物研究会，琵琶湖博物館・近江地域学会生きもの豊かな農村づくり研究会・日本生態学会近畿地区会，琵琶湖博物館，[口頭発表]。
- 大塚泰介・金尾滋史（2015年12月13日）「魚のゆりかご水田」の研究史をふりかえる，第6回琵琶湖地域の水田

生物研究会，琵琶湖博物館・近江地域学会生きもの豊かな農村づくり研究会・日本生態学会近畿地区会，琵琶湖博物館，[ポスター発表].

三村武士・大塚泰介（2016年3月6日）暖温帯のミズゴケ湿原山室湿原（滋賀県）の珪藻．地域自然史と保全研究発表会—関西自然保護機構2016年度大会—，関西自然保護機構，大阪市立自然史博物館（大阪市東住吉区），[ポスター発表].

草加伸吾・大塚泰介・大久保卓也（2016年3月29日）倒木が雨を集めることのシベリアカラマツ林再生への効果．第127回日本森林学会大会，日本森林学会，日本大学生物資源学部（神奈川県藤沢市），[口頭発表].

### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館専門研究「中池見湿地の珪藻群集と環境指標性」，（2015年度）.

琵琶湖博物館共同研究「古琵琶湖の置き土産～滋賀県南部のミズゴケ湿地群の総合的研究～」(研究代表者：大塚泰介)，研究代表者（2012～2016年度）.

琵琶湖博物館総合研究「琵琶湖の生物多様性の成立過程の解明」(研究代表者：マーク J. グライガー)，研究副代表者（2014～2015年度）.

琵琶湖博物館共同研究「琵琶湖を支える生命と物質の循環系に関する研究—I」(研究代表者：藤岡康弘)，共同研究者（2013～2015年度）.

総合地球環境学研究所機関連携プロジェクトフルリサーチ「生物多様性が駆動する栄養循環と流域圏社会—生態システムの健全性」(研究代表者：奥田 昇)，研究協力者（2015年度～）.

科学研究費助成事業（挑戦的萌芽研究）「マダガスカルにおける流水性両生類の多様性維持機構の解明」(研究代表者：夏原由博)，連携研究者（2014～2015年度）.

科学研究費助成事業（基盤 B）「鉍質土壌湿原の成立条件と生物群集の解明」(研究代表者：大塚泰介)，研究代表者（2015～2018年度）.

科学研究費助成事業（基盤 C）「*Microcystis* の群体集積によるアオコ発生メカニズムの解明」(研究代表者：朱 偉)，研究分担者（2015～2017年度）.

### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

日本珪藻学会，Diatom，編集委員，2015年1月～.

関西自然保護機構，運営委員，2014年2月～.

藻類学会，Phycological Research，査読，1件.

Magnolia Press，Phytotaxa，査読，1件.

### 【大学の講義・実習、学生の指導など】

2014年4月～2015年3月，芝崎美世子（大阪市立大学理学研究科博士課程），研究指導・助言.

2014年4月～2015年3月，富 小由紀（滋賀大学教育学部大学院），研究指導・助言.

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

はしかけ，担当.

フィールドレポーター，担当.

質問コーナー・フロアトーク，琵琶湖博物館，8件.

はしかけ運営「たんさいぼうの会」・「琵琶湖の小さな生き物を観察する会」，担当.

2016年3月26日，湖辺の田んぼの変な生きもの，新琵琶湖学セミナー「いざりニューアルへ！」，琵琶湖博物館，講演.

### **他の博物館・機関等主催行事**

- 2015年6月10日、ホンモロコ水田の学習と調査、加茂野農水産加工グループ・岐阜県立加茂農林高校、講義と観察、岐阜県美濃加茂市の休耕田・加茂農林高校、講師。
- 2015年6月14日、ゆりかご水田観察会、栗見出在家魚のゆりかご水田協議会ほか、講義と観察、滋賀県東近江市栗見出在家町の田んぼ、講師。
- 2015年7月15日、プランクトン実習、滋賀県立彦根東高校SSH、実習、琵琶湖博物館、講師、(楠岡 泰と共同)。
- 2015年7月23日、プランクトン実習、三重県立桑名高校、実習、琵琶湖博物館、講師、(小嶋陽太と共同)。
- 2015年8月4日、田んぼの生きもの観察会、甲賀もちふる里館、観察、滋賀県甲賀市小佐治の田んぼ、講師、(水谷智と共同)。
- 2015年8月7日、プランクトン実習、滋賀県環境教育研究協議会、実習、琵琶湖博物館、講師、(小嶋陽太と共同)。
- 2015年9月30日、田んぼの生きもの話、大阪動植物海洋専門学校、講義、琵琶湖博物館、講師。
- 2016年2月7日、情報交換会、国連大学、意見交換、コミュニティセンターひょうず(滋賀県野洲市)、コメンテーター。

### **メディアへの協力**

- 2015年5月12日、中日新聞、琵琶湖起源は東海湖?新説浮上 学术界にさざ波、写真提供。
- 2015年5月18日、京都新聞、ハッタミミズ大物探せ 国内種で最長 琵琶博など情報募る 全国分布調査も兼ね、取材対応。
- 2015年5月23日、毎日新聞、長寸、ふん塊で競う全国ハッタミミズ・ダービー 滋賀県立琵琶湖博物館 11月まで受け付け、取材対応。
- 2015年6月16日、中日新聞、水辺の生き物つかんで観察 東近江で学習会、取材対応。
- 2015年7月10日、びわ湖放送、キラりん滋賀、ニュース梅雨でも楽しめるスポット紹介、出演。
- 2015年8月31日、TJB 大田放送、TJB 特別企画ドキュメンタリー「川から西海まで」、取材対応・出演。
- 2015年12月11日、朝日新聞、水辺の生き物守る米作り報告 琵琶湖博物館が13日研究会、取材対応。
- 2016年2月1日、毎日新聞、ニョロッと「日本一」水口町で発見 85センチのハッタミミズ 11日発見者らによる自然観察会、取材対応。
- 2016年2月4日、読売新聞、長〜いハッタミミズ甲賀で85センチ全国一認定 滋賀、福井、石川生息大物探し、やがて競争に、取材対応。
- 2016年2月5日、朝日新聞、85センチミミズダービーV 甲賀のヨシ原で河瀬さん採取 11日、表彰式と観察会大会 実行委分布など記録 HP 公開へ、取材対応。
- 2016年2月9日、中日新聞、優勝は水口産 85センチ国内最長「ハッタミミズ」ダービー、取材対応。
- 2016年2月11日、NHK 大津、おうみ発 630、ハッタミミズダービー、取材対応。
- 2016年2月18日、産経新聞、長〜い戦い決着 全国ハッタミミズダービー 滋賀の85センチ個体がV、取材対応。
- 2016年2月28日、京都新聞、“水口・松尾産” 85センチV 全国ハッタミミズ・ダービー「聖地、自然豊か」、取材対応。

### **【資料整備活動】**

#### **琵琶湖博物館の活動**

- 微小生物試料の収集、整理、監督・指示。  
ナゴヤダルマガエル、採集、飼育。  
ハッタミミズ、採集、飼育。

### **【展示活動】**

#### **琵琶湖博物館の活動**

- モーニングレクチャー、講義、4回。

**【新琵琶湖博物館創造室活動】**

C展示室「田んぼへ」コーナー，主担当.

水族展示室「マイクロアクアリウム」，副担当.

**【研究部関連事業】**

琵琶湖博物館特別研究員（朱 偉、柏尾珠紀、篠原耕平，廣石伸互，草加伸吾），受け入れ担当.

## 館内の人事・館外活動等に関すること

**【館外の活動】**

2001年4月～，島根大学汽水域研究センター，協力研究員.

本年度は、共に3年計画の最終年度である科学研究費助成事業2件が中心となった。そのうち1件は、博物館の「副次的機能」を理論化しようとするものである。前年度までの整理で、多岐にわたる副次的機能の中から博物館施設の目的外利用（貸館利用など）や併設施設との共用に関わる問題が短期間で整理できそうな論点として浮び上がってきており、今年度はまずこの観点を学会発表の形にまで整理した。そして、そのうち「駅前科学館」などの形で「住民の居場所」として機能している事例の整理を進めた。さらに以上を踏まえた3年間の総括を進めており、これは研究期間終了後の論文化を目指している。

もう1件の科学研究費助成事業は日本博物館協会が数年おきに行ってきた博物館総合調査を継承するものである。昨年度に引き続いて初年度に実施した調査の分析成果公表に関わる事務作業を担うとともに、自分自身が実施した博物館に関する最近の全国調査との関連性を分析して報文にまとめた。対象とした全国調査は、博物館教員に関するアンケート調査結果と、上述した博物館の「副次的機能」に関連する施設の情報（ネット公開データを収集整理したもの）である。

なお、昨年度で中断を余儀なくされた琵琶湖博物館共同研究事業の成果のうち、博物館教員に関する全国の博物館を対象とするアンケート調査結果の分析過程で追加実施した、教員人事を取扱う各教育委員会への調査結果に関する論文は、事務的なトラブルもあって査読修正の作業が予定より1年以上遅延し、今年度末に漸く論文公表を実現した。

ところで、2012年度にまとめた「琵琶湖環流の研究史」の総説、昨年度までに進めてきた博物館教員の役割に関する検討、および「副次的機能」に関連した科学館の役割に関する検討という最近の研究成果を通じて、琵琶湖博物館のような自然史系博物館の性格が強い博物館における科学館的内容の取り扱いに関する問題を本格的に検討する必要があるとの認識に至り、それに基づいた活動を始めている。これは、琵琶湖博物館の計画段階からの懸案事項とも言えるものであるが、特に現在進行中の琵琶湖博物館のリニューアル計画において水理分野の位置づけが困難となっている状況への打開策としての必要性が高まっている内容である。当面の目標としては、この観点に基づく企画展示の実現を意図しているが、今年度は関係する各方面への協力依頼を兼ねた議論の手がかりとするための複数の研究発表を行った。

研究以外の事業の面では、引続き資料整備事業の総括を担っている。今年度は博物館全体でリニューアルに向けた体制を強化するために資料整備事業の担当者が減員となったため、電子図鑑やデータベースに加えて資料利用（貸出等、特に映像資料の利用）に関する実務作業を負うこととなり、実務量が増加する結果となった。また、滋賀県博物館協議会の長期計画による記念事業を担う委員を引き受け、2年後の35周年を意識した事業計画の立案に参画した。

## 印刷物

### 【学術論文】

戸田 孝 (2016) 教員を学校以外へ配属する場合の人事制度の地域差. *科学教育研究*, 40 (1), 日本科学教育学会: 92-97.

### 【専門分野の著作】

戸田 孝 (2015) 「研究博物館」の組織論と活動論—琵琶湖博物館開設時の主張とその後. *博物館研究*, 50 (10), 日本博物館協会: 2-5.

戸田 孝 (2016) 自然史系博物館における「科学館的手法」への試み. *全国科学博物館協議会第23回研究発表大会資料*, 全国科学博物館協議会: 61-65.

- 戸田 孝 (2016) 博物館総合調査に見る「博物館教員」の現状. *日本の博物館総合調査研究 平成 27 年度報告書*, 日本学術振興会 (JSPS) 科学研究費助成事業研究基盤 (B) 課題番号 25282079 : 166-175.
- 戸田 孝 (2016) 「博物館の副次的機能論」に向けた「博物館総合調査」に基づく検討. *日本の博物館総合調査研究 平成 27 年度報告書*, 日本学術振興会 (JSPS) 科学研究費助成事業研究基盤 (B) 課題番号 25282079 : 196-202.
- 戸田 孝・榎永一宏 (2016) 「少子高齢化時代に求められる新しい手法の開発」に関する検討. *日本の博物館総合調査研究 平成 27 年度報告書*, 日本学術振興会 (JSPS) 科学研究費助成事業研究基盤 (B) 課題番号 25282079 : 225-237.

#### 【一般向けの著作】

- 戸田 孝 (2016) 湖岸より 253 琵琶湖の蜃気楼. *中日新聞*, 中日新聞社, 12 月 12 日.

## 研究活動に関する業績

#### 【学会・研究会での発表】

- 戸田 孝・小原千夏 (2015 年 6 月 28 日) 施設に関する外形的データからみた博物館の副次的機能. 全日本博物館学会第 41 回研究大会, 全日本博物館学会, 京都国立博物館 (京都市東山区), [口頭発表].
- 戸田 孝・小原千夏 (2015 年 7 月 17 日) 施設に関する外形的データからみた博物館の副次的機能. 琵琶湖博物館研究セミナー, 琵琶湖博物館, 琵琶湖博物館, [口頭発表].
- 戸田 孝 (2015 年 8 月 21 日) 自然史博物館における「物理学」. 日本科学教育学会第 39 回年会, 日本科学教育学会, 山形大学 (山形市), [口頭発表].
- 戸田 孝 (2015 年 11 月 5 日) 琵琶湖博物館にみる最近の ICT 環境事情. IP ネットワーク連絡会および第 23 回 NCA5 総会, 京都大学学術情報メディアセンター, キャンパスプラザ京都 (京都市下京区), [口頭発表].
- 戸田 孝 (2015 年 11 月 12 日) Geophysics-based questions on geostrophic gyre in Lake Biwa and the task of Lake Biwa Museum. Seminar on Geostrophic Eddies (地衡渦研究会), 立命館大学琵琶湖  $\Sigma$  (シグマ) 研究センター, 滋賀大学サテライトプラザ (滋賀県大津市), [口頭発表].
- 戸田 孝 (2015 年 11 月 14 日) 「エネルギーを持つシステム」としての琵琶湖環流. 陸水物理研究会第 37 回研究発表会, 陸水物理研究会, 秋田大学 (秋田市), [口頭発表].
- 戸田 孝 (2016 年 2 月 26 日) 自然史系博物館における「科学館的手法」への試み. 全国科学博物館協議会第 23 回研究発表大会, 全国科学博物館協議会, 富山市科学博物館 (富山市), [口頭発表].

#### 【研究プロジェクト等への参加】

- 琵琶湖博物館専門研究「地球物理学を手がかりとする博物館学の展開」, (2015 年度).
- 科学研究費助成事業 (基盤 B) 「日本の博物館総合調査研究」 (研究代表者: 篠原 徹), 研究分担者 (2013~2015 年度).
- 科学研究費助成事業 (挑戦的萌芽研究) 「「癒し」を手がかりとする博物館の副次的機能論の構築」 (研究代表者: 戸田 孝), 研究代表者 (2013~2015 年度).

#### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

- 陸水物理研究会, 運営委員.

#### 【大学の講義・実習、学生の指導など】

- 2015 年 10 月 25 日, 愛知学院大学, 「琵琶湖博物館収蔵設備の設計意図と問題点」.
- 2016 年 1 月 6 日, 滋賀県立大学博物館資料保存論, 「資料保存環境を支える設備」.

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

質問コーナー・フロアトーク，琵琶湖博物館，6件。

2015年8月5日，回転実験室で水槽実験を！，博物館講座，琵琶湖博物館，講師。

2015年8月6日，回転実験室で水槽実験を！，博物館講座，琵琶湖博物館，講師。

2015年8月7日，班別活動（地球物理班），滋賀県中学校教育研究会理科部会，自然調査ゼミナール，琵琶湖博物館，実習。

#### 他の博物館・機関等主催行事

2015年4月28日，琵琶湖の自然について(湖水の流れをめぐって)，JTB団体旅行京都支店，京都SKYシニア大学・SKY旅行，琵琶湖博物館，講義。

#### 視察対応

2015年7月8日，博物館における環境教育に関する視察への対応，Patporn Phoothong氏（タイ）。

### 【情報整備活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

個人管理ページ，運営。

### 【資料整備活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

資料整備活動，総括。

映像資料利用申請への対応。

資料データベースの管理運営，総合調整およびセキュリティ管理。

電子図鑑の管理運営，総合調整（将来計画策定など）。

### 【展示活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

2015年度，気象に関する展示の維持管理，主担当。

2015年度，水理に関する展示の維持管理，主担当。

### 【新琵琶湖博物館創造室活動】

琵琶湖全体に関する展示大項目の企画制作，副担当。

蜃気楼に関する展示小項目の企画制作，主担当。

### 【研究部関連事業】

研究セミナーの運営，主担当。

研究備品管理情報の再整理，副担当。

## 館内の人事・館外活動等に関すること

### 【館内の人事】

2015年度，滋賀県博物館協議会記念事業委員会，委員。

本年度は、「小学校における博物館の有効活用」というテーマで、博物館の展示内容と小学校の学習内容との関連を探るとともに、来館された小学校を対象に聞き取り調査を行い、来館の目的や来館前後の学習状況など小学校における博物館活用の実態を調べた。どの展示が小学校のどの学年のどの学習とリンクしているのか、理科や社会科の補足的・発展的学習や総合的な学習（主に環境学習）としてどのように博物館が活用できるのかをわかりやすく伝え、博物館をより有効に活用していただくことを研究の目的とした。

学校現場は、諸般の事情から校外学習に出にくい状況があり、当博物館の学校利用も残念ながら減少傾向にある。滞在時間も2～5時間と幅があり、じっくり博物館を見学する学校もあれば、他の施設と併用され、滞在時間が短くなるケースもある。小学校の利用としては、中学年（3年社会科「昔くらし」・4年社会科「水の利用」）の利用が多く、次いで高学年（環境学習）の利用が多い。どの学年も理科学習を目的とする利用が少ない。ある程度の事前学習を行い、目的を持って来館される学校（主に調べ学習やまとめで利用）や見学によって目的を持たせようとする学校（学習の導入で利用）など活用方法も様々であることが調査から見えてきた。

当館がリニューアル工事中ということもあり、学校が希望される展示を見学いただけないこともあったが、子どもたちの見学の様子を見てみると、目的を持って該当の展示を見学する姿、当館サポートシートを活用して答えを探る姿、特に目的無く見てまわっている姿、時間を持て余す姿などが見られた。やはり、子どもたちが目的意識を持って見学することが重要であり、そのためには、見学時に子どものサポーターとなる先生方に博物館をある程度理解していただくことが必要である。今年度は下見説明時に提案するのみにしたが、学習目的や滞在時間に沿った「博物館活用の手引き」の作成も視野に入れ、より具体的な学習プログラムを提案していきたい。

今後も、博物館及び学校それぞれの特性を踏まえ、より互いの思いが実現できる学習（体験学習やサポートシートを含む）の構築を目指して研究を継続する。

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

岡部陽造（2016年3月18日）小学校における博物館の有効活用．琵琶湖博物館研究セミナー，琵琶湖博物館，琵琶湖博物館，[口頭発表]．

### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館専門研究「小学校における博物館の有効活用」，（2015年度）．

### 【大学の講義・実習、学生の指導など】

2015年4月～2016年3月，滋賀の教師塾塾生，団体向け体験プログラム実習・交流事業研修受け入れ．  
2016年1月11日，神戸女子大学，「琵琶湖と琵琶湖博物館について」．

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

はしかけ運営「びわたん」，担当．

2015年4月～2016年3月，「春の草花でしおりをつくろう」等12講座，「琵琶湖博物館わくわく探検隊」事業，琵琶湖博物館



琵琶湖博物館，企画運営，12 件，（はしかけグループ「びわたん」「緑のくすり箱」「近江はたおり探検隊」と共催・間所忠昌と共同）。

2015 年 5 月～2016 年 2 月，琵琶湖学習，立命館守山中学校，ミュージアムスクール，琵琶湖博物館，コーディネーター・講師，5 件，（間所忠昌と共同）。

2015 年 6 月～2016 年 2 月，自然調査ゼミナール，琵琶湖博物館，企画運営・講師，4 件，（滋賀県中学校教育研究会理科部会・はしかけ「びわたん」と共催・間所忠昌と共同）。

2015 年 6 月～8 月，「プランクトンの観察」等 2 講座，指導者のための博物館活用講座，琵琶湖博物館，コーディネーター・講師，2 件，（滋賀県総合教育センターと共催・間所忠昌と共同）。

2015 年 7 月 4 日，ゆらゆらお魚モバイルをつくろう，びわ博フェス☆2015 はしかけオープンハウス，琵琶湖博物館，（はしかけ「びわたん」と共催・間所忠昌と共同）。

2015 年 7 月 4 日，七夕のお話会と星空観察会，びわ博フェス☆2015，琵琶湖博物館，（間所忠昌と共同）。

### **他の博物館・機関等主催行事**

2015 年 4 月～2016 年 2 月，学校団体向け体験学習，県内県外小中高等特別支援学校大学，団体向け体験学習，琵琶湖博物館，講師，100 件，（間所忠昌と共同）。

2015 年 6 月～8 月，2015 滋賀びわこ総文・博物館ガイド研修等，2015 滋賀びわこ総文実行委員会，琵琶湖博物館，コーディネーター・講師，7 件，（間所忠昌と共同）。

2015 年 6 月 18 日，琵琶湖と琵琶湖博物館について，高島市小学校教育研究会理科部会，高島市立新旭南小学校（滋賀県），講師。

2015 年 7 月～2016 年 3 月，一般団体向け体験学習，各団体，団体向け体験学習，琵琶湖博物館，講師，3 件，（間所忠昌と共同）。

2015 年 7 月 27 日，体験を活かした展示活用，三泗小学校理科教育研究協議会，琵琶湖博物館，講師。

2015 年 8 月 6 日，水環境について，滋賀県小学校教育研究会理科部会，琵琶湖博物館，講師。

2016 年 8 月 7 日，地域教材の活用「昔くらし体験」，滋賀県教育委員会学校教育課，平成 27 年度滋賀県環境教育研究協議会，琵琶湖博物館，講師，（間所忠昌と共同）。

2015 年 8 月 10 日，琵琶湖を見直そう，栗東市小学校教育研究会理科部会，琵琶湖博物館，講師。

2015 年 11 月 6 日，琵琶湖についての環境学習，彦根市立若葉小学校（滋賀県），講師。

2015 年 11 月 10 日～13 日，職場体験学習（実習），草津市立新堂中学校，琵琶湖博物館，コーディネーター・講師，4 件，（間所忠昌と共同）。

2015 年 11 月 17 日～26 日，琵琶湖博物館での体験学習（実習），滋賀県総合教育センター，初任者研修，琵琶湖博物館，講師，4 件，（間所忠昌と共同）。

2015 年 11 月 28 日，環境学習拠点施設の役割について，公益財団法人国際湖沼環境委員会，平成 27 年度さくらサイエンスプラン交流事業，琵琶湖博物館，講師，（間所忠昌と共同）。

2016 年 2 月 27 日，琵琶湖博物館の概要，滋賀大学教育学部化学教室理科教育研究会，滋賀大学大津サテライトプラザ（滋賀県大津市），講師。

### **視察対応**

2015 年 11 月 8 日，博物館の交流事業について，九州国立博物館。

### **【情報整備活動】**

#### **琵琶湖博物館の活動**

県内学校の質問対応・コーディネート，担当，6 件，（間所忠昌と共同）。

### **【資料整備活動】**

#### **琵琶湖博物館の活動**

2015 年 4 月～2016 年 3 月，学校等標本貸出事業，担当，30 件。

**【展示活動】**

*琵琶湖博物館の活動*

モーニングレクチャー，講義，4 回.

**【企画調整活動】**

JICA 研修 博物館とコミュニティ開発コース，博物館の学校連携について，講師，2015 年 10 月 14 日，琵琶湖博物館，(間所忠昌と共同).

## 館内の人事・館外活動等に関すること

**【館外の活動】**

2015 年 6 月～2016 年 2 月，滋賀大学コア・サイエンスティチャー推進事業，推進委員.

2015 年 9 月～2016 年 2 月，「湖の子」新体験学習作成プロジェクト会議，委員.

2015 年 11 月～2016 年 1 月，守山市立立入が丘小学校校内研究会，講師.

専門研究のテーマである水田地帯における各魚種の生態について、今年度は特に琵琶湖固有種の2種のスジマドジョウ類についての産卵行動や仔稚魚の生態、保全にむけた試みについて調査・研究を行い、野外において初めて卵を確認したほか、仔稚魚の成長様式について明らかにした。また、県内各地に設置されている「魚のゆりかご水田」における魚類の利用状況についても調査を行い、その効果についてデータを収集することができた。このほか、県内における希少淡水魚の保全に関わる研究として、ハリヨの生息域外保全に関わる知見や地域と連携した保全活動についてその手法論を検証した。

博物館学研究領域にかかわる研究としては、これまで博物館に寄せられた質問とその対応をまとめ、地域からどのようなニーズがあるのかという学会発表を行った。また、あわせて観察会などを通じたモニタリング調査の有効性や観察会が地域自然史の知見を得るための場となりうる可能性について研究を継続して行った。

広報営業課では新しい年間観覧券の倶楽部 LBM や水槽サポーターの制度づくり、広報業務のほか、企業連携に関わる事業を行った。博物館に対する利用者のニーズは多様化している。これらのニーズに適応できるよう今後も様々な取り組みや工夫をしていく予定である。

新琵琶湖博物館創造室では水族展示の展示設計に関わり、各水槽や展示コーナーの設計を担当した。水槽だけではなく、周囲に川魚屋や漁、水辺遊びなど人との関わりを踏まえた展示を構成し、琵琶湖博物館らしい水族展示を目指すよう心掛けた。また、展示室での来館者による展示評価や専門家を招きアドバイスをいただく有識者評価についても担当をした。さらに、新規で展示予定のバイカルアザラシの飼育技術を取得するため、2016年2月1日から29日まで鳥羽水族館において研修を受け、海獣類の飼育に関してのノウハウを学んだ。

## 印刷物

### 【学術論文】

大谷 ジャーメン ウィリアム・石田末基・上島 励・中原ゆうじ・金尾滋史 (2016) カタママイマイを滋賀県米原市と甲良町にて確認. *ちりぼたん*, 45(4) : 242-246.

### 【専門分野の著作】

金尾滋史 (2015) 生きもの調査のもつ楽しみと可能性. *JARUS*, 115, 農業農村整備センター : 49-53.

### 【一般向けの著作】

金尾滋史 (2015) 琵琶湖の環境は良くなっているの?. *コープしが情報誌「スパイラル」*, 2015年9月号, コープしが : 6-7.

金尾滋史 (2015) 湖岸より 244 もうすぐ見納めの水族展示. *中日新聞*, 中日新聞社, 8月15日.

金尾滋史 (2015) 水田地帯の魚と保全 一魚と人との関わりが生まれる場所一. *琵琶湖と環境 未来につなぐ自然と人との共生*, サンライズ出版 : 74-77.

金尾滋史 (2015) 犬上川物語 一学生からみた犬上川の魚たち一. *琵琶湖と環境 未来につなぐ自然と人との共生*, サンライズ出版 : 78-81.

金尾滋史 (2015) 魚にとっての大学の水辺環境 一キャンパス内にも魚がいる一. *琵琶湖と環境 未来につなぐ自然と人との共生*, サンライズ出版 : 82-83.

金尾滋史 (2015) ため池にすむ魚たち 一残された魚と放流された魚一. *琵琶湖と環境 未来につなぐ自然と人との共生*, サンライズ出版 : 84-85.

- 金尾滋史 (2015) 身近な水辺の魚を守る取り組み ―レッドデータブックと観察会―. *琵琶湖と環境 未来につなぐ自然と人との共生*, サンライズ出版: 287-289.
- 金尾滋史 (2015) 古老のフナが語る田んぼと人との関係. *にぎやかな田んぼ イナゴが跳ね、鳥は舞い、魚の泳ぐ小宇宙*, 京都通信社: 82-83.
- 金尾滋史 (2016) 滋賀の田んぼの生きもの図鑑. *滋賀の田んぼの生きもの下敷き*, 滋賀県農村振興課.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

- 金尾滋史 (2015年7月29日) 滋賀県の魚類の現状と課題. 滋賀自然環境研究会 40周年記念シンポジウム「滋賀県の生物多様性の現状と課題」, 滋賀自然環境研究会, 彦根勤労福祉会館 (滋賀県彦根市), [口頭発表].
- 金尾滋史 (2015年8月21日) 希少淡水魚ハリヨの滋賀県内における分布変遷と保全活動の現状. 琵琶湖博物館研究セミナー, 琵琶湖博物館, 琵琶湖博物館, [口頭発表].
- 金尾滋史 (2015年11月28日) 博物館は地域のギモンにどう挑む? ~博物館に寄せられた数々の質問とその特徴~. 第56回日本動物園水族館教育研究会沖縄大会, 日本動物園水族館教育研究会, 沖縄こどもの国 (沖縄市), [口頭発表].
- 大塚泰介・金尾滋史 (2015年12月13日) 第6回琵琶湖地域の水田生物研究会, 琵琶湖博物館・近江地域学会生きもの豊かな農村づくり研究会・日本生態学会近畿地区会, 琵琶湖博物館, [企画運営].
- 大塚泰介・高橋奈苗・金尾滋史・南谷幸雄・高橋 久・Mark J. Grygier・浦部美佐子・上西 実・渡辺弘之 (2015年12月13日) 全国ハッタミミズ・ダービー結果発表. 第6回琵琶湖地域の水田生物研究会, 琵琶湖博物館・近江地域学会生きもの豊かな農村づくり研究会・日本生態学会近畿地区会, 琵琶湖博物館, [口頭発表].
- 金尾滋史・上原和男 (2015年12月13日) みずすまし水田の活動で明らかになったスジシマドジョウ類2種の産卵場所. 第6回琵琶湖地域の水田生物研究会, 琵琶湖博物館・近江地域学会生きもの豊かな農村づくり研究会・日本生態学会近畿地区会, 琵琶湖博物館, [口頭発表].
- 金尾滋史 (2015年12月13日) 琵琶湖周辺の水田地帯に出現する淡水巻貝類の季節消長. 第6回琵琶湖地域の水田生物研究会, 琵琶湖博物館・近江地域学会生きもの豊かな農村づくり研究会・日本生態学会近畿地区会, 琵琶湖博物館, [ポスター発表].
- 大塚泰介・金尾滋史 (2015年12月13日) 「魚のゆりかご水田」の研究史をふりかえる. 第6回琵琶湖地域の水田生物研究会, 琵琶湖博物館・近江地域学会生きもの豊かな農村づくり研究会・日本生態学会近畿地区会, 琵琶湖博物館, [ポスター発表].

### 【研究プロジェクト等への参加】

- 琵琶湖博物館専門研究「琵琶湖周辺域における水田利用魚類の生態・保全に関する研究」, (2015年度).
- 琵琶湖博物館総合研究「琵琶湖の生物多様性の成立過程の解明」(研究代表者:マーク J. グライガー), 共同研究者 (2011~2015年度).
- 琵琶湖博物館共同研究「古琵琶湖の置き土産~滋賀県南部のミズゴケ湿地群の総合的研究~」(研究代表者:大塚泰介), 研究協力者 (2012~2016年度).
- 農林水産省委託プロジェクト「気候変動に対応した循環型食料生産等の確立のためのプロジェクト研究」(研究代表者:安田耕司), 共同研究者 (2013~2017年度).

### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

- 日本生態学会, 日本生態学会誌, 編集委員.
- 日本貝類学会, 情報誌「ちりぼたん」, 編集委員.
- 農業農村工学会, 農村生態工学研究部会, 代表幹事.
- 日本動物園水族館教育研究会, 運営委員.
- 日本動物園水族館教育研究会, 日本動物園水族館教育研究会誌, 編集長.

日本魚類学会, 魚類学雑誌, 査読, 1 件.  
日本貝類学会, ちりぼたん, 査読, 2 件.  
日本動物園水族館教育研究会, 日本動物園水族館教育研究会誌, 査読, 10 件.

#### 【大学の講義・実習、学生の指導など】

2015 年 5 月 23 日, 近畿大学農学部, 「博物館実習」.  
2015 年 5 月 30 日, 近畿大学農学部, 「博物館実習」.  
2015 年 6 月 1 日, 龍谷大学, 「里山学」.  
2016 年 1 月 6 日, 滋賀県立大学, 「博物館資料保存論」.  
2016 年 1 月 16 日, びわこ学院大学, 「滋賀の環境」.

## 博物館事業に関する業績

#### 【交流・サービス事業】

##### 琵琶湖博物館の主催行事

質問コーナー・フロアトーク, 琵琶湖博物館, 10 件.  
はしかけ活動「温故写新」, 担当.  
2015 年 7 月 4 日, 水族展示バックヤードツアー, びわ博フェス☆2015, 琵琶湖博物館, 案内.  
2015 年 7 月 5 日, イワトコナマズのはなし, びわ博フェス☆2015, 琵琶湖博物館, 講演.  
2015 年 7 月 5 日, さかなクンのギョギョっとビックリお魚教室, びわ博フェス☆2015, 琵琶湖博物館, 司会進行.  
2015 年 8 月 4 日, 夜の昆虫観察, 自然調査ゼミナール, 琵琶湖博物館, 指導.

##### 他の博物館・機関等主催行事

2015 年 5 月 14 日, イワトコナマズのはなし, びわ湖ヨシ笛アンサンブル, 守山市民ホール (滋賀県), 講師.  
2015 年 6 月 13 日, 「田んぼの学校」指導者養成研修 in 滋賀, 地域環境整備センター, 須原魚のゆりかご水田 (滋賀県野洲市), 講師.  
2015 年 6 月 20 日, 須原ゆりかご水田観察会, せせらぎの郷須原, 須原魚のゆりかご水田 (滋賀県野洲市), 講師.  
2015 年 7 月 20 日, かつべ水フェスタ水辺の生き物観察会, 勝部自治会, エルセンター (滋賀県守山市), 講師.  
2015 年 8 月 1 日, フィールドとヒトから学ぶ琵琶湖の自然と環境, 2015 滋賀びわこ総文実行委員会, 琵琶湖博物館, 講師.  
2015 年 8 月 4 日, 犬上川の生き物観察会, 快適環境づくりをすすめる会, 犬上川 (滋賀県彦根市), 講師.  
2015 年 8 月 4 日, 小野川の生き物観察会, 小野町自治会, 小野川 (滋賀県彦根市), 講師.

##### 視察対応

2015 年 6 月 3 日, 館内案内, アクアマリンふくしま.  
2015 年 8 月 30 日, 館内案内, 日亜化学オヤニラミ保全プロジェクト.  
2016 年 1 月 17 日, 館内案内, 淡水魚保全のための検討会.

##### メディアへの協力

新聞・テレビ・雑誌への取材対応, 30 件.

#### 【情報整備活動】

##### 琵琶湖博物館の活動

電話・窓口・メールによる質問対応, 235 件.  
窓口・メールによる生物の同定依頼, 25件60点.

### 【資料整備活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

水族資料収集, 担当.  
水族資料維持管理, 担当.  
動物資料貸出・特別観覧対応, 2件.  
魚類資料提供受入.  
魚類資料収集, 100件(淡水魚).  
昆虫資料収集, 50件(水生昆虫等).  
貝類資料収集, 50件(陸産貝類, 淡水貝類等).

### 【展示活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

水族展示維持管理, 担当.  
展示交流員と話そう, 内容指導.  
2015年5月2日～30日, 集う・使う・創る 新空間展示 「水辺の肖像」原画展 ー淡海～上越後ー, 対応.  
2015年10月3日～30日, 集う・使う・創る 新空間展示 はしかけグループ温故写新「温故写新な10年」, 対応.

### 【企画調整活動】

サテライトミュージアム事業, 展示解説, 2016年3月28日, くずはモール(大阪府枚方市).

### 【広報営業活動】

年間観覧券「倶楽部LBM」, 担当.  
水槽サポーター制度, 担当.  
イナズマロックフェス出展ブース, 展示解説, 2015年9月19・20日, からすま半島広場(滋賀県草津市).  
d-design travel SHIGA 出版記念パーティー, 全体総括, 2015年11月14日, 琵琶湖博物館.  
d-design travel SHIGA EXHIBITION, 展示貸出対応, 2015年10月29日～12月13日, d47museum(東京都渋谷区).  
企業訪問, 3件.  
企業の生物多様性保全活動などに関する相談対応, 5件.

### 【新琵琶湖博物館創造室活動】

水族展示室リニューアル, 担当.  
リニューアル展示アドバイザー(講師:高田浩二氏), 企画・運営, 2015年12月15日, 琵琶湖博物館.  
リニューアル展示アドバイザー(講師:堀越昌子氏), 企画・運営, 2015年12月19日, 琵琶湖博物館.  
リニューアル展示アドバイザー(講師:中島良一氏), 企画・運営, 2016年3月18日, 琵琶湖博物館.  
リニューアル展示評価, C展示室川魚屋設置およびアンケート, 展示・運営, 2015年11月10日, 琵琶湖博物館.

## 館内の人事・館外活動等に関すること

### 【館内の人事】

2015年4月～2016年3月, ショップ会議.  
2016年2月1日～2月29日, バイカルアザラシ飼育技術研修, 鳥羽水族館(三重県鳥羽市).

### 【館外の活動】

2006年8月～, 滋賀県琵琶湖環境部自然環境保全課, 滋賀県生きもの総合調査委員会魚貝類部会, 委員.  
2010年7月～, 環境省自然環境局, 希少野生動植物種保存推進員.  
2010年4月～, 滋賀県琵琶湖環境部自然環境保全課, 滋賀県希少野生動植物調査監視指導員.

2011年11月～，滋賀県農政水産部農村振興課，豊かな生き物を育む水田づくり懇話会，委員。  
2012年2月～，NPO法人西日本自然史系博物館ネットワーク，標本救済ネット，ケースワーカー。  
2014年10月～，環境省自然環境局，淡水魚保全に係る検討会，検討委員。

教育現場の課題や現状を踏まえつつ、博物館と参加教員ともに有益な教員研修の在り方について研究を進めてきた。特に、本年度は「養蚕」をテーマに教員研修を計画し、繭から真綿をつくる体験型研修会を行った。参加者の教員からは、繭から出てくる蛹を気味悪がる声も聞かれたが、真綿の温かさや軽さに対する純粋な驚きの声も聞かれた。博物館で展開する研修は、実際に見て触れられることや新たな気づきや発見が得られるものになりたいと考えている。そこで、フィードバックされた参加者の意見や研修会後の教員への活動支援などを通して、これからの博物館での教員研修の在り方についての方向性を見出すことを研究の目的とした。

本年度の県初任者研修（小学校）では、教科横断的教材である「養蚕」の特長を示し、授業実践のイメージがわくよう具体的な教育計画を参加教員らに立案させた。未だ博物館での研修内容を生かした教育実践を行ったとの報告は受けてはいないが、実践意欲の旺盛な教員の中から資料提供や教材開発への支援を博物館へ要請してくる人材で現れることを期待する。

研究活動に関する業績については、滋賀県中学校理科部会と共催で行っている自然調査ゼミナールの実践報告を海遊館 25 周年記念シンポジウムと滋賀県試験研究機関研究発表会で行った。本事業は、中学校教員と地元博物館が協力して企画運営する全国でも珍しい事業であり、県内中学生が琵琶湖周辺での野外調査から多くを学ぶ貴重な場となっていることを報告した。

## 印刷物

### 【一般向けの著作】

間所忠昌（2015）湖岸より 252 環境保全の歩みを次世代へ、*中日新聞*、中日新聞社、11月28日。

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

間所忠昌（2015年10月11日）野外活動を基盤とした環境学習の紹介～自然調査ゼミナールの取り組み～。海遊館 25 周年記念シンポジウム「生物多様性って何だろう？～琵琶湖・淀川・大阪湾から考える～」、海遊館、海遊館（大阪市）、[口頭発表]。

間所忠昌（2015年10月21日）環境学習プログラムの開発～自然調査ゼミナールの取り組み～。平成 27 年度滋賀県試験研究機関研究発表会 淡海の環境～試験研究と技術開発～、琵琶湖と滋賀県の環境に関する試験研究機関連絡会、長浜バイオ大学（滋賀県長浜市）、[口頭発表]。

間所忠昌（2016年1月15日）教員の専門性を支える博物館の役割について。琵琶湖博物館研究セミナー、琵琶湖博物館、琵琶湖博物館、[口頭発表]。

### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館専門研究「教員の専門性を支える博物館の役割について」、(2015年度)。

### 【大学の講義・実習、学生の指導など】

2015年4月～2016年3月、滋賀の教師塾塾生、団体向け体験プログラム実習・交流事業研修受け入れ。  
2016年1月24日、滋賀大学教育学部環境教育専攻、「琵琶湖博物館での学び」。



## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

はしかけ運営「びわたん」、担当。

2015年4月～2016年3月、「春の草花でしおりをつくろう」等12講座、「琵琶湖博物館わくわく探検隊」事業、琵琶湖博物館、企画運営、12件、(はしかけグループ「びわたん」「緑のくすり箱」「近江はたおり探検隊」と共催・岡部陽造と共同)。

2015年5月～2016年2月、琵琶湖学習、立命館守山中学校、ミュージアムスクール、琵琶湖博物館、コーディネーター・講師、5件、(岡部陽造と共同)。

2015年6月～2016年2月、自然調査ゼミナール、琵琶湖博物館、企画運営・講師、4件、(滋賀県中学校教育研究会理科部会・はしかけ「びわたん」と共催・岡部陽造と共同)。

2015年6月～8月、「プランクトンの観察」等2講座、指導者のための博物館活用講座、琵琶湖博物館、コーディネーター・講師、2件、(滋賀県総合教育センターと共催・岡部陽造と共同)。

2015年7月4日、ゆらゆらお魚モバイルをつくろう、びわ博フェス☆2015 はしかけオープンハウス、琵琶湖博物館、(はしかけ「びわたん」と共催・岡部陽造と共同)。

2015年7月4日、七夕のお話会と星空観察会、びわ博フェス☆2015、琵琶湖博物館、(岡部陽造と共同)。

#### 他の博物館・機関等主催行事

2015年4月～2016年2月、学校団体向け体験学習、県内県外小中高等特別支援学校大学、団体向け体験学習、琵琶湖博物館、講師、100件、(岡部陽造と共同)。

2015年5月～10月、河川調査、長浜市朝日小学校(滋賀県)、講師、5件。

2015年6月～8月、2015滋賀びわこ総文・博物館ガイド研修等、2015滋賀びわこ総文実行委員会、琵琶湖博物館、コーディネーター・講師、7件、(岡部陽造と共同)。

2015年7月3日、琵琶湖のプランクトンについて、愛知県私学協会理科研究会、琵琶湖博物館、講師。

2015年7月～2016年3月、一般団体向け体験学習、各団体、団体向け体験学習、琵琶湖博物館、講師、3件、(岡部陽造と共同)。

2016年8月7日、地域教材の活用「昔くらし体験」、滋賀県教育委員会学校教育課、平成27年度滋賀県環境教育研究協議会、琵琶湖博物館、講師、(岡部陽造と共同)。

2015年8月8日、魚の観察会、飯給会館(滋賀県長浜市)、講師。

2015年8月25日、田根隕石の歴史、滋賀県中学校教育研究会理科部会、琵琶湖博物館、講師。

2015年11月10日～13日、職場体験学習(実習)、草津市立新堂中学校、琵琶湖博物館、コーディネーター・講師、4件、(岡部陽造と共同)。

2015年11月17日～26日、琵琶湖博物館での体験学習(実習)、滋賀県総合教育センター、初任者研修、琵琶湖博物館、講師、4件、(岡部陽造と共同)。

2015年11月28日、環境学習拠点施設の役割について、公益財団法人国際湖沼環境委員会、平成27年度さくらサイエンスプラン交流事業、琵琶湖博物館、講師、(岡部陽造と共同)。

2016年2月21日、琵琶湖のプランクトンについて、プール学院高等学校、教員研修、琵琶湖博物館、講師。

#### 視察対応

2015年7月8日、博物館の学校連携および博物館教員の役割、タイ博物館、(戸田 孝と共同)。

2015年8月11日、田上隕鉄と田根隕石の展示について、宇宙美術館。

2016年1月23日、博物館の交流事業について、京都文化博物館。

**【情報整備活動】**

*琵琶湖博物館の活動*

県内学校の質問対応・コーディネート，担当，6件，（岡部陽造と共同）.

**【資料整備活動】**

*琵琶湖博物館の活動*

2015年4月～2016年3月，学校等標本貸出事業，担当，30件.

**【展示活動】**

*琵琶湖博物館の活動*

モーニングレクチャー，講義，4件.

**【企画調整活動】**

新任職員等研修，博物館の学校連携について，講師，2015年4月22日，琵琶湖博物館.

サテライトミュージアム事業，琵琶湖博物館がやってきた！」イベント「化石のレプリカづくり」，講師，2件，  
2015年7月～8月，東急ハンズ心斎橋店（大阪市中央区）.

JICA研修 博物館とコミュニティ開発コース，博物館の学校連携について，講師，2015年10月14日，琵琶湖博物館，（岡部陽造と共同）.

## 館内の人事・館外活動等に関すること

**【館外の活動】**

2015年6月～2016年2月，滋賀大学コア・サイエンスティチャー推進事業，推進委員.

科学研究費補助金若手研究 (B) 「宮座文書における「差定状」の管理史および儀礼史の解明：物質文化研究の視点から」の初年度にあたり、近江における宮座文書のなかでも突出して古い様式を示す頭役差定文書の調査を開始した。県内の野洲市大篠原 (大笹原神社)、同三上 (御上神社)、守山市幸津川 (下新川神社)、多賀町 (多賀大社・敏満寺) を中心に、奈良県香芝市・同御所市・同天理市・千葉縣市川市・埼玉県越谷市等でも類似する頭屋祭祀儀礼・文書の調査を進めた。とくに新出の差定関連文書を複数見出すことができたことは、一般に中世後期には衰退・消滅すると考えられてきた古典的な頭役祭祀が、中近世移行期の村社会で意外にも活動的であった事実を明らかにする有力な根拠となる。

専門研究の課題は「集落用水系をめぐる民俗儀礼の研究：近世湖南地域の虫送りと雨乞いを例に」とし、水田・用水に関連して近世に活発化する民俗儀礼をとりあげた。とくに近江村落の虫送り儀礼とこれに類似する埼玉県越谷市の虫追いをとりあげ、民俗誌データの蓄積に努めつつ、報告論文の公表に着手した。これまで無力なまじないと見られてきた虫送りが、近世中後期には松明の大型化、儀礼の長期間化、複数の近世村の連帯の強化といった形で、思うに任せない環境への人為的介入を強めていく可能性を検証することが今後の課題である。

2015年度は科学研究費補助金基盤研究 (B) 「東北型社会の特質に関する史的研究－地域資源の開発・管理・利用との関係を重視して」の初年度でもあり、秋田藩領の地縁社会による自然資源の開発・管理とその近代化過程をテーマとした共同研究に参加した。研究成果は、琵琶湖博物館総合研究「自然観」との合同研究会で報告し、秋田藩領の森林・耕地資源の管理に関わる多層的な地域主体の形成、および鉾山・領主による森林資源管理と村社会との協調・拮抗関係を明らかにした原著論文を公表した。これは後進的とみられがちな東北地方の村レベルの森林資源管理の実態に迫るもので、草山の卓越する近江村落の「森」環境を列島規模の視野で位置づけるのに不可欠な視点でもある。

## 印刷物

### 【学術論文】

- 渡部圭一 (2015) 頭役祭祀の再編と近代村落－頭人差定儀礼における神籤の変化を中心に. *史境*, 歴史人類学会, 70 : 66-82.
- 渡部圭一・芳賀和樹・福田 恵・湯澤規子・加藤衛拓 (2015) 阿仁川上流域における村社会と耕地管理－秋田藩領荒瀬村肝煎・湊家文書の解題と翻刻. *筑波大学農林社会経済研究*, 筑波大学大学院生命環境科学研究科農林社会経済学領域, 31 : 1-56.
- 芳賀和樹・渡部圭一・加藤衛拓 (2015) 阿仁銅山山麓における森林資源利用の均衡と対抗－秋田藩領荒瀬村肝煎・湊家文書の解題と翻刻. *徳川林政史研究所研究紀要*, 徳川林政史研究所, 50 : 159~179.
- 渡部圭一・相場 峻 (2015) 近世・近代村落寺院の経営基盤とその変容－寺院明細帳による分析の試み. *市史研究* いらかわ, 市川市史編さん委員会, 7 : 1-13.

### 【専門分野の著作】

- 渡部圭一 (2016) 地域自治会と「虫追い」の現在. *埼玉民俗*, 埼玉民俗の会, 40.

### 【一般向けの著作】

- 渡部圭一 (2015) 近江の「虫送り」から学ぶもの. *ヨシでびわ湖を守るネットワーク通信*, 21, コクヨ工業滋賀 : 2-3.
- 渡部圭一 (2015) 湖岸より 254 ヨシ松明を博物館へ. *中日新聞*, 中日新聞社, 1月9日.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

曲山さち子・余語琢磨・渡部圭一（2015年5月17日）転換期にある助産師に求められる資質とは．第41回日本保健医療社会学会大会，首都大学東京荒川キャンパス（東京都荒川区），[口頭発表]．

渡部圭一（2015年6月22日）祭祀組織の「近世化」過程－関東近世村落における宮座の事例から－．京都民俗学会第279回談話会，ウィングス京都（京都市中京区），[口頭発表]．

### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館専門研究「集落用水系をめぐる民俗儀礼の研究：近世湖南地域の虫送りと雨乞いを例に」，（2015年度）．  
琵琶湖博物館総合研究「前近代を中心とした琵琶湖周辺地域における自然および自然観の通時的変遷に関する研究」（研究代表者：橋本道範），共同研究者（2014～2018年度）．

科学研究費助成事業（若手 B）「宮座文書における「差定状」の管理史および儀礼史の解明：物質文化研究の視点から」（研究代表者：渡部圭一），研究代表者（2015～2017年度）．

科学研究費助成事業（基盤 B）「東北型社会の特質に関する史的研究：地域資源の開発・管理・利用との関係を重視して」（研究代表者：加藤衛弘），研究分担者（2015～2019年度）．

科学研究費助成事業（基盤 B）「琵琶湖地域を対象とした地域環境史モデルの構築」（研究代表者：橋本道範），研究分担者（2015～2018年度）．

科学研究費助成事業（基盤 C）「近代地方公文書アーカイブズと民間アーカイブズの構造・情報・関連性に関する総合研究」（研究代表者：白井哲哉），連携研究者（2014～2016年度）．

京都大学人文科学研究所共同研究「日本宗教史像の再構築」（班長：大谷栄一），班員（2014～2016年度）．

### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

日本民俗学会，評議員・電子ジャーナル化推進特別委員会，委員．

現代民俗学会，編集委員会，運営委員．

京都民俗学会，編集委員会，理事．

日本生活学会，生活学論叢，査読，1件．

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

質問コーナー・フロアトーク，琵琶湖博物館，6件．

フィールドレポーター，琵琶湖博物館，助言指導，3回．

#### メディアへの協力

資料提供・各種パブリシティ，主担当．

### 【資料整備活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

民俗資料整備，収蔵庫維持管理，担当．

### 【展示活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

モーニングレクチャー，講義，4回．

展示交流員と話そう，内容指導.

**【新琵琶湖博物館創造室活動】**

C展示室「ヨシ原に入ってみよう」コーナー，担当.

C展示室「私たちの暮らし」コーナー，担当.

## 館内の人事・館外活動等に関すること

**【館外の活動】**

2011年4月～現在，千葉県市川市史編さん事業，調査編集委員.

2014年4月～現在，奈良県御所市献灯行事・習俗に関する記録作成・調査事業，調査員.

2014年4月～現在，奈良県天理市ちゃんちゃん祭り記録作成事業，調査員.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

池田 勝(2015年10月16日)幼児向け環境学習プログラムの開発と実践について. 琵琶湖博物館研究セミナー, 琵琶湖博物館, 琵琶湖博物館, [口頭発表].

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

2015年12月20日, 淡海こどもエコクラブ活動交流会, 淡海こどもエコクラブ活動交流会, 琵琶湖博物館, 企画運営.

2016年2月21日, ふなずし学習指導者交流会, 環境学習指導者交流会, 琵琶湖博物館, 企画運営.

#### 他の博物館・機関等主催行事

2015年5月1日, 琵琶湖学習オリエンテーション, 草津市立玉川中学校, つながり学習 ESD, 玉川中学校(滋賀県草津市), 講師.

2015年5月8日, 地球環境問題について, 大津市立逢坂小学校, 総合学習, 逢坂小学校(滋賀県大津市), 講師.

2015年5月11日, 観察・調査「河川の生き物」, 草津市立玉川中学校, つながり学習 ESD, 玉川中学校(滋賀県草津市), 講師.

2015年5月13日, 調査から見える地域の様子と琵琶湖, 草津市立玉川中学校, つながり学習 ESD, 玉川中学校(滋賀県草津市), 講師.

2015年5月26日, 1年間の琵琶湖学習に向けて, 大津市立真野北小学校, 総合学習, 米プラザ(滋賀県大津市), 講師.

2015年6月5日, 伯母川の生きもの観察, 草津市立志津南小学校, 3年総合学習, 志津南小学校(滋賀県草津市), 講師.

2015年6月5日, 触れて描こう琵琶湖の魚, 草津市立玉川中学校, つながり学習 ESD, 玉川中学校(滋賀県草津市), 講師.

2015年6月6日, こどもエコクラブ体験活動, NPO法人子どもネットワークセンター天気村, こんぺいとうクラブ, 森の未来館(滋賀県栗東市), 講師.

2015年6月8日, 琵琶湖の魚の解剖実験, 草津市立玉川中学校, つながり学習 ESD, 玉川中学校(滋賀県草津市), 講師.

2015年6月11日, 琵琶湖にまつわる食体験と昔の暮らし体験保育, 社会福祉法人守山向日葵会若鮎保育園, 琵琶湖博物館, 講師.

2015年6月26日, 今後の学習に向けた問題提起, 草津市立玉川中学校, つながり学習 ESD, 玉川中学校(滋賀県草津市), 講師.

2015年6月29日, 幼児と親の自然体験活動, NPO法人子どもネットワークセンター天気村, こんぺいとう自然保育園, 森の未来館(滋賀県栗東市), 講師.

2015年7月3日, まとめにに向けての学習のアイデアとヒント, 草津市立玉川中学校, つながり学習 ESD, 玉川中学

- 校（滋賀県草津市），講師。
- 2015年7月31日，第2回野洲川での子どもたちの活動に関する情報交換会，琵琶湖河川レンジャー，立命館守山中学校（滋賀県守山市），アドバイザー。
- 2015年8月6日，平成27年度第1回教材開発委員会，滋賀県地球温暖化防止活動推進センター，地球温暖化防止活動推進教材開発，フェリエ南草津（滋賀県草津市），オブザーバー。
- 2015年8月30日，びわ湖の恵をウォッチング&チャレンジ in あやめ浜，環境省近畿環境事務所，平成27年度環境省ESD環境教育プログラム実証等事業に係るESD環境教育プログラムの作成・展開業務，あやめ浜（滋賀県野洲市），講師。
- 2015年10月25日，親子かまどのご飯体験，守山市玉津小学校学童保育保護者会，保護者会親子ふれあい活動，琵琶湖博物館，講師。
- 2015年10月26日，学習のまとめ1，草津市立玉川中学校，つながり学習ESD，玉川中学校（滋賀県草津市），講師。
- 2015年10月28日，里山里地湖学習，大津市立志賀中学校，総合学習，南比良近江舞子浜（滋賀県大津市），ファシリテーター。
- 2015年10月30日，学習指導「琵琶湖分野のまとめ」，草津市立玉川中学校，つながり学習ESD，玉川中学校（滋賀県草津市），講師。
- 2015年11月9日，学習指導「琵琶湖分野のまとめ」，草津市立玉川中学校，つながり学習ESD，玉川中学校（滋賀県草津市），講師。
- 2015年11月12日，学習指導「琵琶湖分野のまとめ」，草津市立玉川中学校，つながり学習ESD，玉川中学校（滋賀県草津市），講師。
- 2015年11月20日，ESD学習発表会，草津市立玉川中学校，つながり学習ESD，玉川中学校（滋賀県草津市），講師。
- 2015年12月4日，ESD学習オリエンテーション，草津市立玉川中学校，つながり学習ESD，玉川中学校（滋賀県草津市），講師。
- 2016年1月25日，体験「カトラリーワークショップ」，ひとつぶてんとうえん，自然木を活かしたスプーンづくり，琵琶湖博物館，講師。
- 2016年2月3日，博物館で楽しもう，せた♪森のようちえん，味噌づくりと五平餅づくり，琵琶湖博物館，講師。

## 館内の人事・館外活動等に関すること

### 【館外の活動】

- 2015年5月20日，親子しぜん遊びの広場，こどもと自然の研究所，琵琶湖博物館，講師。
- 2015年5月22日，体験「わくわくドキドキ自然あそび」，長浜市高月町あいあいらんど子育て支援センター，幼児と親子の遊び場，高月図書館（滋賀県長浜市），講師。
- 2015年6月17日，親子しぜん遊びの広場，こどもと自然の研究所，琵琶湖博物館，講師。
- 2015年6月18日～，マザーレイクフォーラム，運営委員会，一般委員。
- 2015年7月15日，親子しぜん遊びの広場，こどもと自然の研究所，琵琶湖博物館，講師。
- 2015年9月16日，親子しぜん遊びの広場，こどもと自然の研究所，琵琶湖博物館，講師。
- 2015年10月5日，幼児自然体験型環境学習，滋賀県環境政策課，社会福祉法人ご縁会さくら坂保育園（滋賀県草津市），環境レイカーズ，講師。
- 2015年10月7日，親子しぜん遊びの広場，こどもと自然の研究所，琵琶湖博物館，講師。
- 2015年10月14日，幼児自然体験型環境学習，滋賀県環境政策課，社会福祉法人ご縁会さくら坂保育園（滋賀県草津市），環境レイカーズ，講師。
- 2015年10月14日，幼児自然体験型環境学習，滋賀県環境政策課，大津市立瀬田東幼稚園（滋賀県大津市），環境レイカーズ，講師。
- 2015年11月4日，幼児自然体験型環境学習，滋賀県環境政策課，大津市立瀬田東幼稚園（滋賀県大津市），環境レイカーズ，講師。
- 2015年11月10日，幼児自然体験型環境学習，滋賀県環境政策課，ほいくえんももの家だいち（滋賀県彦根市），環

境レイカーズ，講師。

2015年11月18日，親子しぜん遊びの広場，こどもと自然の研究所，琵琶湖博物館，講師。

2015年11月20日，幼児自然体験型環境学習，滋賀県環境政策課，ほいくえんももの家だいち(滋賀県彦根市)，環境レイカーズ，講師。

2015年11月24日，幼児自然体験型環境学習，滋賀県環境政策課，しみんふくし保育の家(滋賀県野洲市)，環境レイカーズ，講師。

2015年11月25日，関西広域連合幼児自然体験型環境学習研修，滋賀県環境政策課，一里塚幼稚園(京都市)，環境レイカーズ，講師。

2015年12月1日，幼児自然体験型環境学習，滋賀県環境政策課，レイモンド淡海保育園(滋賀県大津市)，環境レイカーズ，講師。

2015年12月9日，幼児自然体験型環境学習，滋賀県環境政策課，しみんふくし保育の家(滋賀県野洲市)，環境レイカーズ，講師。

2015年12月10日，幼児自然体験型環境学習，滋賀県環境政策課，レイモンド淡海保育園(滋賀県大津市)，環境レイカーズ，講師。

2015年12月22日，親子しぜん遊びの広場，こどもと自然の研究所，琵琶湖博物館，講師。

2016年1月14日，関西広域連合幼児自然体験型環境学習研修，滋賀県環境政策課，京都府立植物園(京都市)，環境レイカーズ，講師。

2016年1月27日，親子しぜん遊びの広場，こどもと自然の研究所，琵琶湖博物館，講師。

2016年2月8日，関西広域連合幼児自然体験型環境学習研修，滋賀県環境政策課，堺市立若松台保育所(堺市)，環境レイカーズ，講師。

2016年2月16日，親子しぜん遊びの広場，こどもと自然の研究所，琵琶湖博物館，講師。

2016年2月20日，関西広域連合幼児自然体験型環境学習研修，滋賀県環境政策課，青葉保育園(徳島市)，環境レイカーズ，講師。

2016年3月2日，関西広域連合幼児自然体験型環境学習研修，滋賀県環境政策課，双百合幼稚園(大阪府和泉市)，環境レイカーズ，講師。

2016年3月16日，親子しぜん遊びの広場，こどもと自然の研究所，琵琶湖博物館，講師。



## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会で発表など】

草加伸吾 (2015年6月20日) 共11-08 モンゴル北部森林被害(火災・蛾食害)跡再生困難地での「倒木遮蔽更新」仮説の検証と再生促進手法の開発. 琵琶湖博物館研究報告会, 琵琶湖博物館, 琵琶湖博物館, [口頭発表].  
草加伸吾・大塚泰介・大久保卓也 (2016年3月29日) 倒木が雨を集めることのシベリアカラマツ林再生への効果. 第127回日本森林学会大会, 第127回日本森林学会大会運営委員会, 日本大学生物資源学部(神奈川県藤沢市), [口頭発表].

### 【研究プロジェクト等への参加】

平成27年度花博記念協会助成金「倒木遮蔽更新」仮説を応用した再生促進技術の開発(研究代表者:草加伸吾), 研究代表者(2015年度).

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス活動】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

サポートシートの企画、実施に関すること, 主担当.  
屋外サポートシート, 作成, 6件, (林 竜馬と共同).  
屋外入門はしかけ「はしかフェ」, 副担当, (林 竜馬と共同).  
里山体験教室に関すること, 副担当, (安福俊幸と共同).  
団体受付・下見対応, 副担当.  
観察会、講座、体験教室等の計画、進行管理に関すること, 副担当.  
はしかけ制度の運営および活性化に関すること, 副担当.  
2015年4月11日, 春の花でしおりを作ろう, 体験プログラムわくわく探検隊, 琵琶湖博物館, 講師, (間所忠信、岡部陽造、はしかけ「びわたん」、「緑のくすり箱」と共同).  
2015年4月19日, 里山体験教室(春)の自然観察会, 野洲市大篠原の里山, 企画・運営, (安福俊幸と共同).  
2015年4月25日, はしかフェ, 琵琶湖博物館屋外展示, 企画・運営, 講師, (林 竜馬、榊永一宏、小嶋陽太と共同).  
2015年5月5日, 朽木の春 セラピーの森を歩こう, 観察会, 森林公園くつきの森(滋賀県高島市), 企画運営, (森林公園くつきの森と共催、林 竜馬と共同).  
2015年5月10日, はしかけ登録講座, 琵琶湖博物館, 補助.  
2015年6月27日, はしかフェ, 琵琶湖博物館, 企画・運営, (林 竜馬、榊永一宏、小嶋陽太と共同).  
2015年7月4日, 琵琶湖フェスティバル, はしかフェの行う博物館の森ガイドツアー, 琵琶湖博物館, 企画・運営, (林 竜馬、榊永一宏、小嶋陽太と共同).  
2015年7月19日, 里山体験教室(夏)昆虫採集の自然観察会, 野洲市大篠原の里山, 企画・運営, (安福俊幸、榊永一宏と共同).  
2015年8月22日, はしかフェ筒蜂調査, 屋外展示, 琵琶湖博物館, 補助.  
2015年10月18日, 里山体験教室(秋)木の実の自然観察会ハンモックとモバイル作り, 野洲市大篠原の里山, 企

画・運営，(安福俊幸と共同)。

2015年10月25日，はしかフェ博物館の森ガイドツアー，琵琶湖博物館，企画・運営，(林 竜馬、榎永一宏、小嶋陽太と共同)。

2015年11月21日，はしかフェ，琵琶湖博物館，企画・運営，(林 竜馬、榎永一宏、小嶋陽太と共同)。

2015年12月20日，はしかフェしめ縄作りと昔の暮らし，琵琶湖博物館，企画・運営，(中川 優，林 竜馬、榎永一宏、小嶋陽太と共同)。

2016年1月17日，里山体験教室(冬)火おこしと冬芽の自然観察会，野洲市大篠原の里山，企画・運営，(安福俊幸と共同)。

2016年2月6日，はしかフェ大人のディスカバ，琵琶湖博物館，企画・運営，(林 竜馬、榎永一宏、小嶋陽太と共同)。

2016年2月18日，屋外展示植物観察会，栗東自然観察の森友の会悠々クラブ，屋外展示，講師。

2016年2月27日，はしかフェ屋外看板+ガイドブック検討，企画・運営，(林 竜馬、榎永一宏、小嶋陽太と共同)。

2016年3月6日，里山体験教室総会，琵琶湖博物館，補助，(安福俊幸と共同)。

2016年3月10日，はしかフェ，森はしかけ『森人』立ち上げ，琵琶湖博物館，(林 竜馬と共同)。

2016年3月13日，はしかけ登録講座，琵琶湖博物館，更新・新規受付，補助。

#### **他の博物館・機関等主催行事**

2015年7月25日，森の体験隊，日本生命，琵琶湖博物館，指導，(水谷 智，安福俊幸、中川 優、小嶋陽太と共同)。

2015年10月4日，高橋川清掃および自然観察会，日本生命，大津市瀬田高橋川周辺(滋賀県)，講師，(瀬田川リパブレ隊と共催)，2件。

2016年2月20日，滋賀県植物研究会，総会と研究発表会，琵琶湖博物館，準備。

#### **視察対応**

2015年5月20日，琵琶湖博物館の活動と体験学習について，タイ チェンマイ森林体験施設一行と京大大学院農学研究科。

#### **【展示活動】**

##### **琵琶湖博物館の活動**

屋外展示植栽，クサギ，マテバシイ。

2015年12月2日，展示用笹とブナ林の落ち葉採取，森林公園朽木の森周辺と生杉ブナ林，高島市朽木，(林 竜馬と共同)。

## **館内の人事・館外活動に関すること**

#### **【海外渡航】**

2015年5月22日～6月13日，モンゴル国フブスグル湖流域、ハトガル、ヘクツアルの山火事跡地，平成27年度花博記念協会助成金「倒木遮蔽更新」仮説を応用した再生促進技術の開発」。

2015年8月25日～9月10日，モンゴル国フブスグル湖流域、ハトガル、ハロス、ヘクツアルの山火事跡地，平成27年度花博記念協会助成金「倒木遮蔽更新」仮説を応用した再生促進技術の開発」。

## 印刷物

### 【一般向けの著作】

鈴木隆仁（2016）資料裏話 その20 マイクロアクアリウムの巨大な生き物, *琵琶博だより*, 24, 琵琶湖博物館 : 4.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

鈴木隆仁（2015年6月6日）日本のイタチムシ相. ミクロ動物フェスティバル2015京都, 日本ミクロ生物研究会, 京都大学理学研究科セミナーハウス（京都市左京区）, [口頭発表].

鈴木隆仁・古屋秀隆（2015年6月14日）琵琶湖博物館生態観察池より発見された3種の浮遊性イタチムシ. 第51回日本動物分類学会広島大会, 日本動物分類学会, 広島大学（広島県東広島市）, [ポスター発表].

鈴木隆仁・古屋秀隆（2015年9月17日）琵琶湖周辺で見られる特殊なイタチムシ. 第86回日本動物学会新潟大会, 日本動物学会, 朱鷺メッセ：新潟コンベンションセンター（新潟市中央区）, [口頭発表].

鈴木隆仁（2015年12月13日）滋賀県の水田にあらわれるイタチムシ達. 第6回琵琶湖地域の水田生物研究会, 琵琶湖博物館・日本生態学会近畿地区会・近江地域学会生きもの豊かな農村づくり研究会, 琵琶湖博物館, [口頭発表].

## 博物館事業に関する業績

### 【資料整備活動】

#### *琵琶湖博物館の活動*

映像資料管理・整理, DVCAM テープのデジタル化, 27 本.

映像資料管理・整理, BETACAM テープのデジタル化, 74 本.

映像資料撮影, 微小生物静止画撮影, 3300 枚.

映像資料撮影, 微小生物動画撮影, 800 本.

標本の仮登録・ラベル付け等, 無脊椎動物（昆虫、貝類を除く）, 29 点.

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

2015年10月11日、三上のずいき祭り、見学会、大中小路公民館（滋賀県野洲市）、準備・運営・記録。

#### 他の博物館・機関等主催行事

2016年1月30日、公開座談会「ふなずし」の歴史が変わる、滋賀県ミュージアム活性化推進委員会、琵琶湖博物館、運営補助。

#### 視察対応

2015年5月17日、民俗収蔵庫の見学、京都文教大学、琵琶湖博物館。

2015年9月2日、民俗収蔵庫の見学、滋賀県教育委員会ほか、琵琶湖博物館。

2015年9月22日、民俗収蔵庫の見学、滋賀県文化財保護審議委員、琵琶湖博物館。

2015年10月16日、民俗収蔵庫の見学・調査立ち会い、琵琶湖博物館。

2015年11月21日、民俗収蔵庫の見学、京都造形芸術大学、琵琶湖博物館。

### 【情報整備活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

琵琶湖博物館公式 Facebook、原稿作成補助、4件。

### 【資料整備活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

漁撈用具の台帳整備、分類表作成。

漁撈用具に関する打ち合わせ・聞き取り、3件。

橋本鉄男氏旧蔵資料の受入、調査・作業・記録、4回。

橋本鉄男氏旧蔵資料仮目録入力、250件。

寄託資料、受入対応。

寄贈資料、受入対応。

C展示室撤収物の収蔵対応。

無形民俗文化財調査・聞き取り、調査・記録、16件。

有形民俗文化財調査・聞き取り、調査・記録。

古文書調査、撮影補助、4件。

温湿度管理（データ取り込み）、52回。

定期収蔵庫清掃（民俗収蔵庫1・民俗収蔵庫2）、15回。

定期清掃（収蔵庫廊下）、5回。

定期清掃（B展示室）、37回。

虫カビ対策としての特別清掃（民俗収蔵庫2）、2回。

大掃除（B展示室・歴史研究室・古文書整理室）。

燻蒸室清掃。

生物環境調査、トラップ設置回収（民俗収蔵庫1・民俗収蔵庫2・考古収蔵庫）、3回。

図書室蔵書点検作業，2回.  
博物館パンフレット一斉発送作業.

#### 【展示活動】

##### *琵琶湖博物館の活動*

2016年3月19日～4月10日，ギャラリー展示「リニューアルの舞台裏」，原稿作成補助.

リニューアル展示品製作に関する打ち合わせ・調査，調査・記録，8件.

リニューアル展示品の搬入対応，2件.

C展示室撤収作業，5件.

C展示室内装補修立ち会い.

## 館内の人事・館外活動等に関すること

#### 【館内の人事】

2015年6月11・12日，第37回文化財の虫菌害・保存対策研修会，公益財団法人文化財虫菌害研究所，国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区），研修・報告書作成.

## 印刷物

### 【一般向けの著作】

橋本道範・渡邊潤子（2016）トピック展示 修験の聖地と「なりわい」―鎌倉時代における葛川の紛争―。滋賀県立琵琶湖博物館：6p.

## 博物館事業に関する業績

### 【情報整備活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

収蔵資料展示情報の web 発信，準備，7 件.

### 【資料整備活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

『木村忠兵衛家文書』（琵琶湖博物館所蔵）仮目録の入力，1,326 点.

『小野湖山の書』（個人より依頼）の翻刻，実施.

近江関係散逸古文書履歴入力，実施，115 件.

橋本鉄男家所蔵資料，搬出作業.

定期収蔵庫清掃（特別収蔵庫・一時保管庫・古文書整理室），実施，10 回.

定期清掃（収蔵庫廊下），実施，6 回.

定期清掃（B 展示室），実施，53 回.

大掃除（B 展示室・古文書整理室），実施.

虫カビ対策としての重点追加清掃（トラックヤード・B 展示室屋上・燻蒸室），実施，計 3 回.

虫カビ対策としての IPM 対策，年次計画の作成.

防虫防霉調査，トラップ設置回収，3 回，報告書作成，2 回.

生物発生履歴の整備，入力，49 件.

ph 測定（7ヶ所），実施.

脱酸素処理，実施，2 回.

収蔵庫・展示室等の温湿度記録計用紙交換（10ヶ所），実施，12 回.

収蔵庫担当者会議発表（生物環境調査結果），実施 2 回.

乳剤散布，実施，6 回.

図書室蔵書点検作業，4 回.

博物館パンフレット一斉発送作業，2 回.

#### 他博物館・機関の活動

滋賀県立安土城考古博物館保管長命寺文書，2015 年 11 月 25 日～27 日，現物確認調査.

### 【展示活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

2016 年 2 月 9 日～3 月 13 日，トピック展示「修験の聖地と「なりわい」―鎌倉時代における葛川の紛争―」，企画・

調査・準備・展示.

2015年4月21日～5月24日, 収蔵資料展示「収蔵庫をのぞいてみよう!」第55回, 企画・調査・準備・展示.

2015年5月26日～6月28日, 収蔵資料展示「収蔵庫をのぞいてみよう!」第56回, 企画・調査・準備・展示.

2015年6月30日～8月2日, 収蔵資料展示「収蔵庫をのぞいてみよう!」第57回, 企画・調査・準備・展示.

2015年8月4日～9月6日, 収蔵資料展示「企画展示関連企画Ⅰ」第58回, 企画・調査・準備・展示.

2015年9月8日～10月18日, 収蔵資料展示「企画展示関連企画Ⅱ」第59回, 企画・調査・準備・展示.

2015年10月20日～11月15日, 収蔵資料展示「収蔵庫をのぞいてみよう!」第60回, 企画・調査・準備・展示.

2015年11月17日～2016年2月7日, 収蔵資料展示「収蔵庫をのぞいてみよう!」第61回, 企画・調査・準備・展示.

2015年3月15日～4月17日, 収蔵資料展示「収蔵庫をのぞいてみよう!」第62回, 企画・調査・準備・展示.  
B展示室常設展示陳列替え, 実施, 4件.

## 印刷物

### 【一般向けの著作】

- 川那部浩哉（2015）里山と水. 自然大学20周年記念シンポジウム：自然と緑～里山から考える, *自然と緑*: 13-14.  
只木良也・松谷 茂・前迫ゆり・伊藤孝美・川那部浩哉・渡辺弘之（2015）パネルディスカッション. 自然大学20周年記念シンポジウム：自然と緑～里山から考える, *自然と緑*: 15-26.  
川那部浩哉（2015）思文閣出版 思い出の一冊：木村兼葎堂 大阪歴史博物館 編；日本中世の環境と村落 橋本道範；没後二二〇年 蕪村 逸翁美術館他 編. *鴨東通信*, 100, 思文閣出版：10・25・28.  
川那部浩哉（2016）2015年読書アンケート. *みすず*, 58(1), *みすず書房*: 36-37.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会等への参加】

- 2015年9月4日～6日, 日本魚類学会, 日本魚類学会評議員会・同年会, 近畿大学奈良キャンパス（奈良市）.  
2016年3月20日～22日, 第63回日本生態学会, 仙台国際センターほか（仙台市）.

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### 他の博物館・機関等主催行事

- 2015年5月7日, 京の川の恵みを活かす会, 京の川の恵みを活かす会総会, 京都府職員福祉厚生センター（京都市）, 提言.  
2015年5月11日, 自然保護助成基金理事会, 自然保護助成基金, 環境パートナーシップオフィス（東京都）, 提言.  
2015年5月12日, 地球環境関西フォーラム, 地球環境関西フォーラム100人委員会, リーガロイヤルNCB（大阪市）, 提言.  
2015年5月19日, 京都新聞社会福祉事業団, 京都新聞社会福祉事業団理事会, 京都新聞社（京都市）, 提言.  
2015年5月22日, 柿田川生態系研究会, 柿田川生態系研究会, リバーフロント研究所（東京都）, コメント.  
2015年6月2日, 世界自然保護基金ジャパン, 世界自然保護基金ジャパン理事会, 世界自然保護基金ジャパン（東京都）, 提言.  
2015年6月4日, 滋賀県私立病院協会, 滋賀県私立病院協会総会・講演会, 大津プリンスホテル（滋賀県大津市）, 講演.  
2015年6月8日, 京都新聞社会福祉事業団, 京都新聞社会福祉事業団理事会, 京都新聞社（京都市）, 提言.  
2015年9月9日, 世界自然保護基金ジャパン, 世界自然保護基金ジャパン理事会, 世界自然保護基金ジャパン（東京都）, 提言.  
2015年9月28日, 自然保護助成基金, 自然保護助成基金理事会, 環境パートナーシップ=オフィス（東京都）, 提言・コメント.  
2015年9月30日, 地球環境関西フォーラム, 地球環境関西フォーラム生物多様性部会, 阪急ターミナルビル（大阪市）, コメント.  
2015年10月2日, 国土交通省河川技術研究開発制度委員会, 国土交通省河川技術研究開発制度河川生態委員会,



国土交通省（東京都），座長。  
2015年10月28日～29日，河川生態学術研究会，河川生態学術研究会，出雲地域（島根県松江市・出雲市・鳥取県境港市ほか），コメント・現地調査。  
2015年11月4日，国際生物学賞委員会，国際生物学賞委員会，日本学術振興会（東京都），コメント。  
2015年11月6日，国土交通省河川技術研究開発制度委員会，国土交通省河川技術研究開発制度河川生態委員会，国土交通省（東京都），座長。  
2015年11月8～9日，柿田川生態系研究会，柿田川生態系シンポジウム・同研究会，ホテルエルムリージェンシー（静岡県清水町）ほか，コメント。  
2015年11月9日，河川生態学術研究会，河川生態学術研究会発表会，東京都証券会館（東京都），コメント。  
2015年11月19日，自然と緑，自然大学：水域生態系実習，琵琶湖博物館，コメント。  
2015年11月28日，自然保護助成基金，プロナトウラファンド助成成果発表会，アーバンネット神田カンファレンス（東京都），コメント。  
2015年12月8日，河川生態学術研究会，河川生態学術研究会将来計画の会，新都ホテル（京都市），コメント。  
2015年12月13日，自然大学：水域生態系－水と生きる，自然と緑，近畿中国森林管理局（大阪市），講演。  
2015年12月17日，京の川の恵みを活かす会，京の川の恵みを活かす会拡大幹事会，京都職員会館かもがわ（京都市），コメント。  
2016年1月27日，国土交通省河川技術研究開発制度委員会，国土交通省河川技術研究開発制度河川生態委員会，国土交通省（東京都），座長。  
2016年2月1日，山階鳥類研究所，山階鳥類研究所科学研究費特定奨励費研究成果発表会，東京大学フィールドサイエンス（東京都），コメント。  
2016年2月10日，世界自然保護基金ジャパン，世界自然保護基金ジャパン理事会，世界自然保護基金ジャパン（東京都），提言。  
2016年2月24日，国土交通省河川技術研究開発制度委員会，国土交通省河川技術研究開発制度河川生態委員会，国土交通省（東京都），座長。  
2016年3月8日，河川生態学術研究会，河川生態学術研究委員会，大手町ファーストスクエアカンファレンス（東京都），コメント。  
2016年3月14日，自然保護助成基金，自然保護助成基金理事会，環境パートナーシップオフィス（東京都），提言。  
2016年3月25日，国土交通省河川技術研究開発制度委員会，国土交通省河川技術研究開発制度河川生態委員会，国土交通省（東京都），座長。

## 館内の人事・館外活動等に関すること

### 【館内の人事】

2015年度，琵琶湖博物館名誉学芸員。  
2015年度，琵琶湖博物館特別研究員。

### 【海外渡航】

2015年4月19日～29日，ドイツ連邦 東北部，自然と文化に関する調査研究。  
2015年10月5日～14日，フランス オーベルニュ地方，自然と文化に関する調査研究。

### 【館外の活動】

朝日21関西スクエア，会員。  
生き物文化誌学会，評議員。  
石垣島白保に空港を作らせない会，会員。  
International Journal of Ecology and Environmental Biology，編集顧問。  
Environmental Biology of Fishes，編集顧問。

応用生態工学会, 名誉会員.  
環境問題研究会, 会員.  
九条科学者の会, 会員.  
京都新聞社会福祉事業団, 理事.  
京の川の恵みを活かす会, 顧問.  
魚類自然史研究会, 会員.  
黒潮実感センター, 会員.  
国際生物学賞委員会, 委員.  
国土交通省河川技術研究開発制度河川生態委員会, 委員長.  
子どもと川とまちのフォーラム, 顧問.  
自然と緑「自然大学」, 教授.  
生態学琵琶湖賞運営委員会, 委員.  
世界自然保護基金ジャパン, 理事.  
地球環境関西フォーラム企画委員会, 委員.  
地球環境関西フォーラム生物多様性部会, 委員.  
地球環境関西フォーラム 100 人委員会, 委員.  
DIVERSTAS (生物多様性科学国際共同計画) 科学委員会, 顧問.  
長良川河口堰に反対する会, 会員.  
長良川市民学習会, 会員.  
日本魚類学会, 評議員.  
日本自然保護協会, 参与.  
日本自然保護基金, 理事.  
日本生態学会, 名誉会員.  
日本陸水学会, 会員.  
Hydrobiologia, 編集顧問.  
Brazilian Journal of Biology, 編集顧問.  
水俣病センター相思社, 会員.  
水俣フォーラム, 会員.  
八重山白保の海を守る会, 会員.  
山階鳥類研究所研究推進協議会, 委員.  
リバーフロント整備センター河川・海岸環境機能等検討委員会, 委員.

## 印刷物

## 【学術論文】

- Yamakawa, C., Momohara, A., Saito, A. and Nunotani, T. (2015) Composition and paleoenvironment of wetland forests dominated by *Glyptostrobus* and *Metasequoia* in the latest Pliocene (2.6Ma) in central Japan. *Palaeogeography, Palaeoclimatology, Palaeoecology*, ELSEVIER, online.
- 布谷知夫 (2016) タンポポ調査の経過とタンポポ調査 2015 三重県実行委員会の結果. *三重県総合博物館紀要*, 2 : 69-79.

## 【専門分野の著作】

- 布谷知夫・中村千恵 (2015) 博物館で結婚式をする意義. *全日本博物館学会第41回研究大会発表要旨集* : 45-46.
- 布谷知夫・高原 光 (2015) 自然生態系. *京都府レッドデータブック 2015. 3. 地形、地質*, 京都府自然環境保全課 : 261-288.
- 布谷知夫・高原 光 (2015) 自然生態系. *京都府レッドデータブック 2015 別冊*, 京都府自然環境保全課 : 344-346.
- 布谷知夫・高原 光 (2015) 京都府地域生態系リスト. *京都府レッドデータブック 2015 別冊*, 京都府自然環境保全課 : 347-350.
- 布谷知夫 (2015) 企業との連携に向けた博物館の戦略. *日本ミュージアム・マネージメント学会第20回記念大会会員研究発表要旨集*, 日本ミュージアム・マネージメント学会 : 30-31.
- 布谷知夫 (2015) 自然史系博物館研究. *ミュージアム・マネージメント学事典*, 日本ミュージアムマネージメント学会事典編集委員会 : 214-217.
- 布谷知夫 (2015) 地域博物館人材・組織. *ミュージアム・マネージメント学事典*, 日本ミュージアムマネージメント学会事典編集委員会 : 90-93.
- 布谷知夫 (2015) 博物館教育の歩み. *博物館教育論*, 講談社 : 10-17.
- 布谷知夫 (2015) 地域生態系. *京都府レッドデータブック (普及版)*, 京都府 : 177、179-180.
- 布谷知夫・高原 光 (2015) 地域生態系. *京都府レッドデータブック (普及版)*, 京都府 : 178.
- 布谷知夫 (2015) 地域生態系写真提供. *京都府レッドデータブック (普及版)*, 京都府 : 182-183.

## 【一般向けの著作】

- 布谷知夫 (2015) 千地万造先生を偲ぶ. *地域自然史と保全*, 関西自然保護機構, 37 (1) : 69-71.
- 布谷知夫 (2015) 絵画鑑賞と自然観察 自然観察のテーマ・108. *NACS-J 自然観察指導員大阪連絡会会誌*, 110, NACS-J 自然観察指導員大阪連絡会 : 2-3.
- 布谷知夫 (2015) 博物館でウエディング. *ミュゼ*, 111, アム・プロモーション : 16-17.
- 布谷知夫 (2015) 自然観察と理科教育 自然観察のテーマ・109. *NACS-J 自然観察指導員大阪連絡会会誌*, 111, NACS-J 自然観察指導員大阪連絡会 : 2-4.
- 布谷知夫 (2015) 暮らしの中の生物多様性 自然観察のテーマ・110. *NACS-J 自然観察指導員大阪連絡会会誌*, 112, NACS-J 自然観察指導員大阪連絡会 : 2-4.
- 布谷知夫 (2015) 生態系の仕組み (コラム). *自然観察から始まる自然保護*, 日本自然保護協会 : 38-39.
- 布谷知夫 (2015) ごあいさつ 南北の共存東西の交流. *三重県総合博物館総合案内*, 日本生命財団 : 表 2.
- 布谷知夫 (2015) ごあいさつ あんな虫、こんな虫、そんな虫、身近な小さな生きものたち. *三重県総合博物館第7回企画展示解説書*, 三重県総合博物館 : 3.
- 布谷知夫 (2015) 生態系のしくみ. *自然観察から始まる自然保護 (自然観察指導員講習会テキスト)*, NACS-J 日本

自然保護協会：39.

布谷知夫（2015）都市公園の改修計画 自然観察の素材. 自然観察から始まる自然保護（自然観察指導員講習会テキスト）, NACS-J 日本自然保護協会：110.

布谷知夫（2015）タンポポ調査へのご協力、ありがとうございました. 三重県総合博物館ミュージアムパートナー通信：6.

布谷知夫（2015）企業との連携に向けた博物館の戦略. 日本ミュージアムマネジメント学会会報, 20（3）：11-12.

布谷知夫（2015）暮らしの中の生物多様性. みえ第2期生物多様性推進プラン, 農林水産部森林緑地課：8.

布谷知夫（2016）高槻市鶴殿のヨシ原について 自然観察のテーマ・112. NACS-J 自然観察指導員大阪連絡会会誌, 114, NACS-J 自然観察指導員大阪連絡会：2-4.

布谷知夫（2015）秋の木の実ミュージアム・フィールドだより. みえんしす, 7, 三重県総合博物館：4.

布谷知夫（2016）博物館の新しい役割. 生涯学習ホーラム「社会教育施設を拠点とした人づくり・まちづくり」報告書, 滋賀大学社会連携研究センター・東近江市社会教育課.

布谷知夫（2016）失敗した観察の記録 自然観察のテーマ 113. NACS-J 自然観察指導員大阪連絡会会誌, 115, NACS-J 自然観察指導員大阪連絡会：2-4.

布谷知夫（2016）三重県. タンポポ調査西日本 2015 調査報告書, タンポポ調査・西日本 2015 実行委員会.

布谷知夫・木村 進（2016）タンポポ調査の目的. タンポポ調査西日本 2015 調査報告書, タンポポ調査・西日本 2015 実行委員会.

布谷知夫（2016）企業と博物館との連携事業. ミュゼ, 113, アム・プロモーション：21.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会などでの発表】

布谷知夫（2015年5月29日）三重県総合博物館における企業とのパートナーシップ事業. 文部科学省寄付フォーラム～組織的・戦略的寄付募集に向けて～, 文部科学省, 九州大学伊都キャンパス, [口頭発表].

布谷知夫（2015年6月7日）企業との連携に向けた博物館の戦略. 第20回日本ミュージアムマネジメント学会研究大会, 日本ミュージアムマネジメント学会, 東京家政学院大学（東京都新宿区）, [口頭発表].

布谷知夫（2015年6月28日）博物館で結婚式をする意義. 全日本博物館学会第41回研究大会, 京都国立博物館, [口頭発表].

布谷知夫（2015年11月18日）博物館の地域社会との関係. JICA 博物館とコミュニティ開発コース, JICA・国立民族学博物館・琵琶湖博物館, 国立民族学博物館, [口頭発表].

布谷知夫（2015年12月21日）利用者主体の博物館とその中での展示の役割. 放送大学博物館教育論第3回, 放送大学, [口頭発表].

布谷知夫（2016年1月31日）ミュージアムと著作権（進行とまとめ）. 日本ミュージアムマネジメント学会 ミッションマネジメント研究部 平成27年度第2回研究会, 国立国際美術館, [口頭発表].

布谷知夫（2016年3月6日）鈴木 武・木村 進・狩山俊悟・小川 誠・布谷知夫 タンポポ調査・西日本 2015 について. 植物分類学会富山大会, [ポスター発表].

### 【学会等の役職・運営・論文の査読など】

全日本博物館学会, 運営委員.

全日本博物館学会, 学会誌, 編集委員.

ミュージアム・マネジメント学会, ミッション・マネジメント研究会, 委員.

博物館学雑誌, 査読, 2件.

## 博物館事業に関する業績

### 【交流サービス事業】

#### 琵琶湖博物館の活動

- 2015年5月24日、文化ゾーンの春の植物観察、琵琶湖博物館植物はしかけ観察会、文化ゾーン周辺、補助。  
2015年9月13日、文化ゾーンの秋の植物観察、琵琶湖博物館植物はしかけ観察会、文化ゾーン周辺、補助。  
2015年12月12日、文化ゾーンの冬の植物観察、琵琶湖博物館植物はしかけ観察会、文化ゾーン周辺、補助。  
2016年3月19日、文化ゾーンの春の植物観察、琵琶湖博物館植物はしかけ観察会、文化ゾーン周辺、補助。

#### 他の博物館・機関等主催行事

- 2015年4月4日、館長と歩こう観察の林、三重県総合博物館ミュージアムフィールド。  
2015年4月26日、丘陵地の自然（春編）、三重県総合博物館ミュージアムパートナー。  
2015年5月2日、館長と歩こう観察の森、三重県総合博物館ミュージアムフィールド。  
2015年5月23日、里山の成立と人のくらし、皇学館大学佐川記念神道博物館市民教養講座、皇学館大学佐川記念神道博物館。  
2015年6月6日、館長と歩こう観察の森、三重県総合博物館ミュージアムフィールド。  
2015年7月10日、企画展示の紹介、第7回企画展示「あんな虫、こんな虫、そんな虫」内覧会、MieMu。  
2015年7月11日、博物館経営論、皇学館大学学芸員過程、皇学館大学佐川記念神道博物館。  
2015年7月12日、対談 今森光彦・大島康宏・布谷知夫「写真家と学芸員 虫で夢見た昆虫少年の今」、今森光彦講演会、三重県総合文化センター。  
2015年7月29日、MieMu：三重県総合博物館がめざそうとしていること、全国家庭科教師の会アラカルト（環境）研修、三重県総合博物館。  
2015年8月19日、地域博物館の役割、博物館実習講義、三重県総合博物館。  
2015年8月19日、課題発表とコメント、博物館実習、三重県総合博物館。  
2015年8月23日、博物館・美術館の楽しみ方、三重大学教育学部教育実施研究、三重県総合博物館。  
2015年9月28日、博物館に求められる新しい役割、東近江市社会教育研修会、能登川コミュニティセンター。  
2015年9月9日、博物館とミュージアムエドゥケーター、第5回文化庁エドゥケーター研修、東京都美術館。  
2015年9月11日、後半研修までの課題、第5回文化庁エドゥケーター研修、東京都美術館。  
2015年9月9日～11日、第5回文化庁エドゥケーター研修、東京都美術館、全体コーディネーター。  
2015年9月18日、展示見どころの紹介、三重県総合博物館内覧会、三重県立総合博物館。  
2015年9月21日、佐藤琢磨トークショー、総合文化センター。  
2015年9月28日、博物館に求められる新しい役割、社会教育施設を拠点とした人づくりまちづくり、滋賀県社会教育研究会、東近江市能登川コミュニティセンター。  
2015年10月17日、偕楽公園の植物観察会、津市環境部環境保全課。  
2015年10月16日～17日、こども体験展示室の運営に関する研究会、三重県総合博物館。  
2015年10月18日、三重県総合博物館 MieMu の活動、たらちね会、三重県総合博物館。  
2015年10月21日、生きものから学ぶ最新技術、三重県総合博物館 MieMu 館長懇談会、三重県総合博物館。  
2015年10月25日、丘陵地の自然、三重県総合博物館ミュージアムパートナー。  
2015年11月7日、館長と歩く観察の林、三重県総合博物館ミュージアムフィールド。  
2015年11月11日、三重県総合博物館・こんな博物館にしたい、東近江市社会教育研修、三重県総合博物館。  
2015年12月2日、博物館の社会的役割・位置、文化庁ミュージアム・マネージメント研修、文化庁・東京国立博物館。東京国立博物館。  
2015年12月3日、外部資金獲得、文化庁ミュージアム・マネージメント研修、文化庁・東京国立博物館。東京国立博物館。  
2015年12月5日、自然の観察、第521回NACS-J自然観察指導員講習会、日本自然保護協会・NACS-J自然観察指導員大阪連絡会、吹田市自然体験交流センター。

2015年12月5日, 森の観察, 第521回NACS-J自然観察指導員講習会, 日本自然保護協会・NACS-J自然観察指導員大阪連絡会, 吹田市自然体験交流センター.

2015年12月6日, テーマひろい, 第521回NACS-J自然観察指導員講習会, 日本自然保護協会・NACS-J自然観察指導員大阪連絡会, 吹田市自然体験交流センター.

2015年12月17日, 地域と利用者に向き合う博物館を目指して, FUJITSUファミリア会東海支部, 三重県総合博物館.

2016年2月4日~5日, 文化庁ミュージアムエデュケーター, 研修コーディネーター.

2016年2月5日, 全体討論とまとめ, 文化庁ミュージアムエデュケーター研修, 郷土と天文の博物館(東京都葛飾区).

2016年2月7日, 身近な里山と植物の話, 三重県環境学習情報センターステップアップ講座, 男女共同参画センター.

2016年2月18日, 三重の自然と人の暮らし, 三重県職員ブラッシュアップ研修, 三重県総合博物館.

2016年3月6日, 森と植物の不思議な話, 生物多様性を考える講演会, 滋賀県高島合同庁舎いきものふれあい室, ピアザ淡海.

2016年3月25日, 開館2年のMieMu, 津市商工会議所, 津市商工会議所.

2016年3月29日, 学校と地域とがつながるためには, ESD推進セミナー, 環境庁中部地方環境事務所, ウィンクあいち.

## 館内の人事・館外活動に関すること

### 【館内の人事】

2015年度, 琵琶湖博物館名誉学芸員.  
2015年度, 琵琶湖博物館特別研究員.

### 【館外の活動】

2015年4月1日~2016年3月31日, 三重県総合博物館, 館長.  
2015年3月31日~2016年3月31日, 放送大学「博物館概論」, 担当講師.  
2015年12月21日, 放送大学「博物館教育論」(ラジオ), 講師.  
2015年4月1日~2016年3月31日, 文化庁研修企画運営委員会, 座長.  
2015年10月1日~2016年12月31日, 文部科学省委員会, 委員.  
2015年4月1日~2016年3月31日, 和泉葛城山ブナ林保護増殖検討委員会, 委員・会長代理.  
2015年4月1日~2016年3月31日, タカラフォールディング助成評価委員会, 委員.  
2015年4月1日~2016年3月31日, 国立歴史民俗博物館展示更新検討委員会, 委員.  
2015年4月1日~2016年3月31日, 守山市下之郷保存整備活用基本計画検討部会, 委員.  
2015年4月1日~2016年3月31日, 日本ヨシ笛協会, 顧問.  
2015年4月1日~2016年3月31日, 関西自然保護機構, 監事.  
2015年4月1日~2016年3月31日, 日本自然保護協会自然観察指導員, 講習会講師.  
2015年4月1日~2016年3月31日, 鶴殿ヨシ原の環境保全に関する検討会, 委員.  
2015年4月1日~2016年3月31日, 鶴殿ヨシ原の環境保全に関する検討会植物ワーキンググループ, 委員.  
2015年4月1日~2016年3月31日, NACS-J自然観察指導員大阪連絡会, 顧問.  
2015年4月1日~2016年3月31日, 自然観察指導員三重県連絡会, 顧問.  
2015年4月1日~2016年3月31日, 特定非営利法人西日本自然史系博物館ネットワーク, 監事.  
2015年4月1日~2016年3月1日, 三重県博物館協会, 理事.  
2015年7月~2016年3月, 日本ミュージアムマネージメント学会ミッションマネージメント研究部会, 委員.  
2015年4月~2016年3月, 全日本博物館学学会, 役員.  
2015年4月~2016年3月, 全日本博物館学学会, 編集委員.

## 印刷物

### 【学術論文】

中島経夫 (2016) コイ科魚類の咽頭骨・咽頭歯の形態とその形態を表す部分の名称と用語. *Naturalistae*, 20:29-40.  
中島経夫・廣田大輔 (2016) 第14章第4節 中山遺跡から出土したコイ科魚類咽頭骨 (歯) 遺存体. *八郎潟沿岸における低湿地遺跡の研究*: 429-439.

## 研究活動に関する業績

### 【研究プロジェクト等への参加】

科学研究費助成事業 (基盤 B) 「古代農耕社会の魚：東アジアにおける養魚の成立」 (研究代表者：中島経夫), 研究代表者 (2014~2017 年度).

### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

JSPS 科学研究費委員会, 専門委員, 2011 年 11 月~2015 年 12 月.

## 館内の人事・館外活動等に関すること

### 【館内の人事】

2015 年度, 琵琶湖博物館名誉学芸員.  
2015 年度, 琵琶湖博物館特別研究員.

### 【館外の活動】

2012 年 4 月~, 岡山理科大学生物地球学部, 教授.  
2012 年 4 月~, 岡山理科大学大学院総合情報学研究所, 教授.

## 研究活動に関する業績

### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

日本魚類学会自然保護委員会，淡水魚部会長，2014年6月～.

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

2016年3月26日，田んぼは魚のゆりかごー魚はなぜ田んぼにやってくる？ー，新琵琶湖学セミナー「いざリニューアルへ！」，琵琶湖博物館，講演.

#### 他の博物館・機関等主催行事

2015年6月28日，琵琶湖の環境と魚、そして人，神戸学院大学，神戸学院大学同窓会京都滋賀支部総会，琵琶湖ホテル（滋賀県大津市），講演.

## 館内の人事・館外活動等に関すること

### 【館内の人事】

2015年度，琵琶湖博物館名誉学芸員.

2015年度，琵琶湖博物館特別研究員.

### 【館外の活動】

2015年5月～2017年4月，長浜市（滋賀県）文化的景観保存活用委員会，委員.

2000年5月～2016年4月，滋賀県生きもの総合調査委員会（滋賀県自然環境保全課），委員（魚貝類部会長）.

2016年2月～2017年3月，外来種中国産オオサンショウウオ対策検討会（京都市），委員.

2015年6月～2016年3月，京都府建設交通部河川課，畑川ダム環境保全検討委員会，委員.

2014年9月～2016年8月，大阪府環境影響評価審査会，委員.

2010年～，ハリヨ問題検討会，委員.

2015年11月～2016年11月，近畿地方ダム等管理フォローアップ委員会（(独)水資源機構），委員.

2015年7月～2016年3月，日吉ダム冷濁水対策検討会（(独)水資源機構），委員.

2015年7月～2018年6月，希少野生動植物種保存推進員（環境省自然環境局）.

2015年10月～2016年3月，平成27年度絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討会 汽水淡水魚類分科会，検討委員.

2012年4月～，神戸学院大学人文学部，教授.



## 研究活動に関する業績

### 【研究プロジェクト等への参加】

科学研究費助成事業 (基盤 C) 「遺伝情報に基づいた侵略的外来種ソウシチョウの駆除管理ユニットの策定」 (研究代表者: 天野一葉), 研究代表者 (2013~2015 年度).

### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

Strix, Journal of Natural History, 査読, 2 件.

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### *他の博物館・機関等主催行事*

2015 年 4 月 12 日, 全国的なシギ・チドリ類の渡来状況と博多湾の現状, NPO 法人ふくおか湿地保全研究会, 「絶滅が危惧されているヘラシギとシギ・チドリ類の保全に付いて」講演会, 福岡市保健環境学習室まもる一む福岡 (福岡市), 講師.

2015 年 6 月 13 日, 千丈川の水生昆虫についての講話, ホタルの学校, ほたるの集い, 千丈川 (滋賀県大津市), 補佐.

2015 年 12 月 19 日, 水鳥観察会, ホタルの学校, 観察会, 瀬田川 (滋賀県大津市), 講師.

## 印刷物

### 【専門分野の著作】

植田文雄（2015）縄文時代の考古学と考現学. *縄文*, 27, NPO法人国際縄文学協会：82-105.

植田文雄（2016）昭和漁師の聞き語り－琵琶湖・宇曾川・曾根沼のくらし. *研究調査報告書「東アジアの水環境－水辺暮らしの記憶と記録－*」, 28, 滋賀県立琵琶湖博物館：63-104.

## 館内の人事・館外活動等に関すること

### 【館外の活動】

2008 年度～, 佛教大学, 非常勤講師.

## 印刷物

## 【学術論文】

Thing, C. Y., Ota, Y., Hatai, K. and Ransangan, J. (2015) Redescription of *Caecognathia coralliophila* (Monod, 1926) (Crustacea, Isopoda, Gnathiidae), collected from a fish hatchery in Sabah, Borneo Island, Malaysia. *Proceedings of the Biological Society of Washington*, 128 (1), Biological Society of Washington: 51-62.

## 【専門分野の著作】

太田悠造 監訳 (2016) 節足動物門. Ross Piper, R. 原著・西尾香苗 翻訳, *知られざる地球動物大図鑑*, 東京書籍 : 148-177.

## 【一般向けの著作】

太田悠造 (2015) 鳥取県立博物館だより 「ちゃんと巻かない巻き貝・オオヘビガイ」. *日本海新聞*, 日本海新聞社, 9月17日.

## 研究活動に関する業績

## 【学会・研究会での発表】

太田悠造・早川昌志 (2015年9月17日) 日本動物学会, 日本動物学会第86回公募関連集会「数ミリ以下の動物学 IV」, 朱鷺メッセ:新潟コンベンションセンター (新潟市中央区), [企画・運営].

太田悠造 (2015年9月19日) 数ミリ以下の動物を研究する. 日本動物学会第86回, 朱鷺メッセ:新潟コンベンションセンター (新潟市中央区), [口頭発表].

太田悠造 (2015年12月19日) 海の昆虫採集紀-昆虫少年が海へ-. 鳥取生物学会, 鳥取県立博物館 (鳥取市), [口頭発表].

## 【インターネットページの公表】

Boyko, C.B., Bruce, N.L., Merrin, K., Ota, Y., Poore, G. and Taiti, S. (Eds.) (2015年4月) World list of marine, freshwater and terrestrial isopod crustaceans. World Register of Marine Species. <<http://www.marinespecies.org/isopoda/>>, [太田悠造はウミクワガタ類 (Gnathiidea) の編集員].

## 【研究プロジェクト等への参加】

基礎生物学研究所 共同利用研究「海産甲殻類ウミクワガタ科における大顎の内部構造の解明」(研究代表者:太田悠造), 研究代表者 (2015年度).

## 印刷物

### 【学術論文】

柏尾珠紀（2015）都市における環境再生とその担い手像—守山市の守山ほたるパーク&ウォークの調査から—。滋賀大学環境総合センター研究年報, 12（1）, 滋賀大学環境総合センター：9-18.

### 【専門分野の著作】

柏尾珠紀（2015）滋賀におけるおかず漁—女性と男性の違いに注目して—。滋賀の食事文化研究会年報, 24, 滋賀の食事文化研究会：26-32.

### 【一般向けの著作】

柏尾珠紀（2016）湖国の食シリーズ 米粉のクッキー。中日新聞, 中日新聞社, 11月11日.

柏尾珠紀（2016）湖国の食シリーズ びわこのホンモロコ料理。中日新聞, 中日新聞社, 3月16日.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

柏尾珠紀（2015年9月2日）姫路市家島の暮らしと若者の将来設計。瀬戸内海フォーラム in 奈良, 瀬戸内海研究会議, 奈良文化会館（奈良市）, [ポスター発表].

柏尾珠紀（2016年1月16日）地域に賦存する多様な組織とその作用—守山の調査から女性の情報交換の「場」とそのネットワークに注目して—。第38回環境用水研究会, 環境用水研究会, アスニー山科研究室（京都市山科区）, [口頭発表].

### 【研究プロジェクト等への参加】

科学研究費助成事業「食・農・暮らしの再編とむらの女性力についての社会学的研究」（研究代表者：柏尾珠紀）, 研究代表者（2014～2017年度）.

滋賀大学環境総合研究センター「琵琶湖愛知川流域の地域間交流による持続可能な農村づくり」（研究代表者：柏尾珠紀）, 研究代表者（2015年度）.

科学研究費助成事業「森林・林業における女子力の解明とジェンダー主流化」（研究代表者：中道仁美）, 研究分担者（2013～2015年度）.

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### メディアへの協力

2015年11月13日, KBS 京都ラジオ, 近江美味しもの 米粉のクッキー, 出演.

2016年3月18日, KBS 京都ラジオ, 近江美味しもの びわこのホンモロコ, 出演.

## 館内の人事・館外活動等に関すること

### 【館外の活動】

- 2014年7月～，守山ほたるパーク&ウォーク実行委員会，委員.
- 2015年4月～，京都府農村振興課日本型直接支払制度，支援委員.
- 2015年10月～，滋賀県緑化推進会，委員.
- 2015年10月～，鳥取県八頭郡若桜町活性化懇談会，委員.

## 印刷物

## 【学術論文】

田中和大・川瀬成吾・須藤允之・辻 晃一・細谷和海 (2015) 京都市久我水路における魚類群集. *地域自然史と保全*, 37: 35-45.

Kawase, S. and Hosoya, K. (2015) *Pseudorasbora pugnax*, a new species of minnow from Japan, and redescription of *P. pumila* (Teleostei: Cyprinidae). *Ichthyological Exploration of Freshwaters*, 25: 289-298.

## 【専門分野の著作】

川瀬成吾 (2015) ヨドコガタスジシマドジョウ・チュウガタスジシマドジョウ・タンゴスジシマドジョウ・ゼゼラ・ヨドゼゼラ. *京都府レッドデータブック 2015 第1巻 野生動物編*, 京都府自然環境保全課.

川瀬成吾 (2015) ヨドゼゼラ・ゼゼラ. *レッドデータブック 2014-日本の絶滅のおそれのある野生生物-4 汽水・淡水魚編*, ぎょうせい.

## 【一般向けの著作】

川瀬成吾 (2015) ウシモツゴ・ヨドゼゼラ・シマドジョウ類ほか79種. *山溪ハンディ図鑑 日本の淡水魚*, 山と溪谷社.

川瀬成吾 (2015) ヨドゼゼラほか. *京都府レッドデータブック【普及版】2015*, サンライズ出版.

## 研究活動に関する業績

## 【学会・研究会での発表】

細谷和海・藤田朝彦・川瀬成吾・滝川祐子 (2015年9月5日) デメモロコの学名をめぐる分類学的課題. 2015年度日本魚類学会年会, 近畿大学奈良キャンパス (奈良市), [口頭発表].

富永浩史・川瀬成吾 (2015年9月5日) 日本産カマツカ属の未記載種. 2015年度日本魚類学会年会, 近畿大学奈良キャンパス (奈良市), [口頭発表].

中田依里・田中和大・川瀬成吾・細谷和海 (2015年9月6日) 琵琶湖・淀川水系産ニゴイとコウライニゴイの食性比較. 2015年度日本魚類学会年会, 近畿大学奈良キャンパス (奈良市), [ポスター発表].

川瀬成吾・富永浩史・藤田朝彦・細谷和海 (2015年9月6日) カマツカ模式標本の再記載および模式産地の特定. 2015年度日本魚類学会年会, 近畿大学奈良キャンパス (奈良市), [ポスター発表].

小西雅樹・川瀬成吾・山田卓実・羽多宏彰・細谷和海 (2015年11月28日) 淀川水系木津川に生息する外来魚コクチバスの現状. 第61回魚類自然史研究会, 東京環境工科専門学校 (東京都墨田区), [口頭発表].

細谷和海・藤田朝彦・川瀬成吾・細谷和海 (2015年11月28日) デメモロコの学名はいかに?. 第61回魚類自然史研究会, 東京環境工科専門学校 (東京都墨田区), [口頭発表].

藤田朝彦・川瀬成吾・細谷和海・滝川祐子 (2015年11月28日) VEGA号航海で収集された日本産淡水魚類について. 第61回魚類自然史研究会, 東京環境工科専門学校 (東京都墨田区), [口頭発表].

山田卓実・小西雅樹・羽多宏彰・宮西 萌・川瀬成吾・細谷和海 (2016年2月5日) 木津川に侵入したコクチバスの食性. 外来魚情報交換会, 草津市立まちづくりセンター (滋賀県草津市), [口頭発表].

川瀬成吾 (2016年3月6日) 標本からよみがえる巨椋池の魚類相. 地域自然史と保全研究発表会 2016, 大阪自然史博物館 (大阪市東住吉区), [ポスター発表].

大橋一輝・川瀬成吾・内藤 馨・山本義彦・近藤美麻・上原一彦・小田優花・畑田賢吾・鈴木真裕・細谷和海  
(2016年3月6日) 大和川下流域における魚類相. 地域自然史と保全研究発表会 2016, 大阪自然史博物館  
(大阪市東住吉区), [ポスター発表].

大橋一輝・川瀬成吾・内藤 馨・山本義彦・近藤美麻・上原一彦・小田優花・畑田賢吾・鈴木真裕・細谷和海  
(2016年3月20日) 大和川下流域における魚類相. 第62回魚類自然史研究会, 八尾市立大正コミュニティ  
センター (大阪府八尾市), [口頭発表].

山田卓実・小西雅樹・羽多宏彰・宮西 萌・川瀬成吾・細谷和海 (2016年3月20日) 木津川に侵入したコクチバ  
スの食性. 第62回魚類自然史研究会, 八尾市立大正コミュニティセンター (大阪府八尾市), [口頭発表].

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### メディアへの協力

2015年4月29日, 京都新聞, ウシモツゴは新種!, 取材対応.

2015年4月30日, 産経新聞, ウシモツゴ 新種と確認, 取材対応.

2015年4月30日, 中日新聞, ウシモツゴ 実は新種, 取材対応.

## 館内の人事・館外活動等に関すること

### 【館外の活動】

2015年5月～2016年1月, 近畿大学農学部, 講師.

## 印刷物

### 【これまでの業績集に掲載されていない著作】

北村美香（2015）平成25年度滋賀県平和祈念館実施報告書。平成24年～28年度科学研究助成金（基盤研究S）研究成果中間報告書，国立科学博物館：261-266.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

北村美香（2015年9月27日）博物館職員のミュージアムリテラシーについて地域ぐるみのPCALi（ピ☆カ☆リ）参加からわかったこと。国立科学博物館・全日本博物館学会，国立科学博物館（東京都台東区），[口頭発表].

北村美香（2015年11月29日）コミュニティをどう維持するかー琵琶湖博物館はしかけグループでの取り組みー。大阪市立自然史博物館・西日本自然史博物館ネットワーク・大阪自然史センター，大阪市立自然史博物館（大阪市東住吉区），[口頭発表].

北村美香（2016年3月13日）自分が体験していないことを語り継ぐ～ヒト・モノ・キオクを伝える～。公益財団法人大阪国際平和センター，ピースおおさか（大阪府中央区），[口頭発表].

### 【研究プロジェクト等への参加】

科学研究費助成事業（基盤S）「知の循環型社会における対話型博物館生涯学習システムの構築に関する基礎的研究」（研究代表者：小川義和），研究分担者（2013～2016年度）.

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### 琵琶湖博物館主催行事

2015年8月4日，夜のワークショップ，第37回自然調査ゼミナール，琵琶湖博物館・滋賀県中学校教育研究会理科部会，琵琶湖博物館，講師.

#### 他の博物館・機関等主催行事

2015年5月5日，手のひら庭園をつくろう，滋賀県立近江富士花緑公園，ゴールデンウィークイベント，滋賀県立近江富士花緑公園（野洲市），講師.

2015年5月6日，手のひら庭園をつくろう，滋賀県立近江富士花緑公園，ゴールデンウィークイベント，滋賀県立近江富士花緑公園（野洲市），講師.

2015年6月14日，戦争があったころって、どんなご飯だったのかな？，三重県総合博物館，トピック展関連イベント「親子で平和を考えるワークショップ」，三重県総合博物館（津市），講師.

2015年6月21日，戦争があったころの学校の宿題 イナゴ捕りぶくろをつくろう！，三重県総合博物館，トピック展関連イベント「親子で平和を考えるワークショップ」，三重県総合博物館（津市），講師.

2015年8月1日，戦争があったころのご飯を知ろう，志摩市歴史民俗資料館，終戦記念展示関連イベント，志摩市歴史民俗資料館（三重県），講師.



- 2015年8月8日, 手のひら庭園をつくろう, 滋賀県立近江富士花緑公園, 夏休みイベント, 滋賀県立近江富士花緑公園(野洲市), 講師.
- 2015年8月9日, 手のひら庭園をつくろう, 滋賀県立近江富士花緑公園, 夏休みイベント, 滋賀県立近江富士花緑公園(野洲市), 講師.
- 2015年8月22日, 手のひら庭園をつくろう, 博物館夏祭り実行委員会, 博物館夏祭り, ビバシティ彦根(滋賀県彦根市), 講師.
- 2015年8月23日, そばを打って食べよう, 滋賀県立近江富士花緑公園, カリヨクのそばづくり, 滋賀県立近江富士花緑公園(野洲市), 講師.
- 2015年9月20日, 手のひら庭園をつくろう, 滋賀県立近江富士花緑公園, 秋のイベント, 滋賀県立近江富士花緑公園(野洲市), 講師.
- 2015年10月24日, 手のひら庭園をつくろう, 水のめぐみ館ウォーターステーション琵琶, 10月のイベント, 水のめぐみ館ウォーターステーション琵琶(滋賀県大津市), 講師.
- 2015年11月1日, ちりめんモンスターをさがせ!3, 大船渡市立博物館, 平成27年度大船渡市立博物館教育普及事業, 大船渡市立博物館(岩手県), 講師.
- 2015年11月3日, うしにまつわる工作コーナー, 奥州市牛の博物館, あそんでまなぼう!うしはく探検隊, 奥州市牛の博物館(岩手県), 講師.
- 2015年11月22日, そばを収穫しよう, 滋賀県立近江富士花緑公園, カリヨクのそばづくり, 滋賀県立近江富士花緑公園(野洲市), 講師.
- 2015年12月13日, 分科会7展示, 公害資料館連携ネットワーク, 公害資料館連携フォーラム, 四日市公害と環境未来館(三重県四日市市), 講師.
- 2015年12月20日, そばを打って食べよう, 滋賀県立近江富士花緑公園, カリヨクのそばづくり, 滋賀県立近江富士花緑公園(野洲市), 講師.
- 2016年3月20日, ヨシ笛をつくろう, 水のめぐみ館ウォーターステーション琵琶, 3月のイベント, 水のめぐみ館ウォーターステーション琵琶(滋賀県大津市), 講師.
- 2016年3月21日, 手のひら庭園をつくろう, 水のめぐみ館ウォーターステーション琵琶, 3月のイベント, 水のめぐみ館ウォーターステーション琵琶(滋賀県大津市), 講師.

### メディアへの協力

- 2015年8月3日, 毎日新聞, なんで、戦争するの?親子で学ぶ/上 心構え編 平和教育の識者と保護者、座談会 講師, (2015年7月9日取材).
- 2015年8月10日, 毎日新聞, なんで、戦争するの?親子で学ぶ/中 実践編 資料館、戦跡巡る, 講師, (2015年7月9日取材).

### 【展示活動】

#### 他博物館・機関の活動

- 大東市立歴史民俗資料館, 2016年1月9日~2月29日, 企画展「ちょっとむかしのくらし~きくえさんちのいちにち~」, 展示・貸出キット監修.

### 【企画調整活動】

- サテライトミュージアム事業, 化石のレプリカをつくろう, 講師, 2015年7月26日, 東急ハンズ心齋橋店(大阪市中央区).
- サテライトミュージアム事業, 化石のレプリカをつくろう, 講師, 2015年8月2日, 東急ハンズ心齋橋店(大阪市中央区).

## 館内の人事・館外活動等に関すること

### 【館外の活動】

2015年4月～，公害資料館ネットワーク，ネットワーク世話人.

2015年4月～，博物館夏祭り実行委員会，実行委員.

2015年6月1日～2016年3月31日，第8回つなぐ人フォーラム実行委員会，実行委員.

2015年9月～2016年3月，びわこ学院大学子ども学科，講師.

## 印刷物

## 【専門分野の著作】

- 黒岩啓子 (2015) The Museum Association. *日本ミュージアム・マネージメント学事典*, 学文社: 240.
- 黒岩啓子 (2015) 博物館教育の実践に役立つ理論. *博物館教育論*, 講談社: 27-36.
- 黒岩啓子 (2015) 展示基本設計における展示評価の活用. *第34回研究大会発表要旨集*, 日本展示学会: 42-43.
- 黒岩啓子 (2015) 地域別にみる学芸員養成課程受講生の実態. *第41回研究大会発表要旨集*, 全日本博物館学会: 53.
- Kuroiwa, K. (2015) Collaborative Approach to Create Communicative Learning Environment. *13th ICOM-UMAC & 45th annual ICOM-CECA Conference "Squaring the Circle? Research, Museum, Public: A Common Engagement towards Effective Communication" Proceedings*, ICOM-CECA & UMAC Committees 2015: 51-53.
- Kuroiwa, K. (2015) Museum Exhibitions with Diverse Community Voices. *ICOM-ICME 2015 Annual Conference "Museums and Communities: Diversity, Dialogue, Collaboration" Conference book*, ICOM-ICME: 4.

## 研究活動に関する業績

## 【学会・研究会での発表】

- 黒岩啓子 (2015年6月21日) 展示基本設計における展示評価の活用. 第34回研究大会, 日本展示学会, 國學院大學 (東京都渋谷区), [口頭発表].
- 黒岩啓子 (2015年6月28日) 地域別にみる学芸員養成課程受講生の実態. 第41回研究大会, 全日本博物館学会, 京都国立博物館 (京都市), [口頭発表].
- Kuroiwa, K. (2015年9月20日) How to Find Gaps and Bridge a Museum and People. 46th Annual ICOM-CECA conference "Museum Education and Accessibility: Bridging the Gaps", National Museum of the American Indian (Washington DC, USA), [Oral presentation].
- Kuroiwa, K. (2015年10月25日) Museum Exhibitions with Diverse Community Voices. ICOM-ICME 2015 Annual Conference "Museums and Communities: Diversity, Dialogue, Collaboration", Vietnam Museum of Ethnology (Hanoi, Vietnam), [Oral presentation].
- 黒岩啓子 (2015年12月8日) 博物館評価の課題. 静岡県立美術館評価業務, 静岡県立美術館 (静岡市駿河区), [講演].

## 【研究プロジェクト等への参加】

- 科学研究費助成事業 (基盤 B) 「ミュージアムと地域活性化—変容するミュージアムの新たな経営課題」 (研究代表者: 河島伸子), 研究分担者: 佐々木 亨 (北海道大学) への研究協力者 (2014~2016年度).
- 科学研究費助成事業 (基盤 C) 「博物館学芸員課程における学びの特徴と現代社会に対応した学芸員養成教育に関する研究」 (研究代表者: 江水是仁), 研究協力者 (2015年4月~).
- 科学研究費助成事業 (挑戦的萌芽研究) 「『癒し』を手がかりとする博物館の副次的機能論の構築」 (研究代表者: 戸田 孝), 研究協力者 (2013~2015年度).
- 笹川科学研究助成 (実践研究) 「東近江市で育まれた有形・無形の先人の遺産を次代へ伝え, 未来のまちづくりを担う人材を育むためのシステムの構築」 (研究代表者: 上平千恵), アドバイザー (2013~2015年度).

#### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

日本ミュージアム・マネジメント学会，基礎部門研究部会幹事，2009年4月～2015年8月。  
日本ミュージアム・マネジメント学会，近畿支部幹事，2009年4月～。  
日本ミュージアム・マネジメント学会，理事，2015年6月～。  
日本ミュージアム・マネジメント学会，ミッション・マネジメント部会，部会長，2015年8月～。  
全日本博物館学会，役員，2014年6月～。  
全日本博物館学会，査読，1件。  
日本ミュージアム・マネジメント学会ミッション・マネジメント部会，平成27年度第1回研究会「観光とミュージアム」，司会進行および開催趣旨説明，神奈川県立生命の星・地球博物館，2015年10月4日。  
日本ミュージアム・マネジメント学会ミッション・マネジメント部会，平成27年度第2回研究会「ミュージアムと著作権」，司会進行および開催趣旨説明，国立国際美術館，2016年1月31日。

#### 【大学の講義・実習、学生の指導など】

2012年4月～，奈良女子大学，「博物館教育論」。  
2012年4月～2015年9月，京都光華女子大学大学，「博物館教育論」。  
2012年9月～，関西学院大学，「博物館教育論」。  
2013年4月～，奈良女子大学，「博物館情報・メディア論」。  
2014年4月～2016年3月，近畿大学，「博物館概論」。  
2015年9月～，千葉科学大学，「博物館教育論」。

## 博物館事業に関する業績

#### 【展示活動】

##### 他博物館・機関の活動

奈良文化財研究所 平城宮跡資料館，2013年6月～現在，展示評価，来館者調査企画実施。

#### 【企画調整活動】

JICA研修 博物館とコミュニティ開発コース，Museum Evaluation Methods，Evaluation of the LBM，講師，2015年10月18日，琵琶湖博物館。

## 館内の人事・館外活動等に関すること

#### 【海外渡航】

2015年9月17日～21日，アメリカ（ワシントンDC），46th annual ICOM-CECA Conference “Museum Education and Accessibility: Bridging the Gaps” に出席および口頭発表。  
2015年10月24日～25日，ベトナム（ハノイ），ICOM-ICME 2015 Annual Conference “Museums and Communities: Diversity, Dialogue, Collaboration” に出席および口頭発表。

#### 【館外の活動】

2003年9月～，日本ミュージアム・マネジメント学会，会員。  
2003年9月～，全日本博物館学会，会員。  
2005年4月～，関西博物館研究会，会員。  
2006年2月～，日本国際理解教育学会，会員。  
2010年10月～，日本展示学会，会員。  
2012年3月～，文化遺産国際協力コンソーシアム，会員。

2012年11月～2016年3月，東近江市博物館グループ 博物館評価ワーキンググループ，外部協力者.  
2012年12月～2016年3月，三重県立博物館 博物館評価ワーキンググループ，外部協力者.  
2013年7月～2015年3月，東近江市西堀榮三郎記念探検の殿堂（滋賀県），運営協議会委員.  
2014年4月～，ICOM（International Council of Museums，国際博物館会議），会員.  
2014年6月～，全日本博物館学会，役員.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

篠原耕平（2016年2月19日）珪藻の微空間分布を利用した胃内容分析の実用化～マラウイ湖シクリッド魚類のマイクロハビタット推定～. 琵琶湖博物館研究セミナー, 琵琶湖博物館, 琵琶湖博物館, [口頭発表].

## 印刷物

## 【学术论文】

- Zhu, W., Li, M., Dai, X. and Xiao, M. (2015) Differences in vertical distribution of *Microcystis* morphospecies composition in a shallow hypertrophic lake (Lake Taihu, China), *Environmental Earth Sciences*, 73(9), Springer: 5721-5730.
- Zhu, W., Sun, Q., Chen, F. and Li, M. (2015) Cellular N:P ratio of *Microcystis* as an indicator of nutrient limitation- implications and applications. *Environmental Earth Sciences*, 74(5), Springer: 4023-4030.
- Xu, F., Zhu, W., Xiao, M. and Li, M. (2015) Interspecific variation in extracellular polysaccharide content and colony formation of *Microcystis* spp. cultured under different light intensities and temperatures. *Journal of Applied Phycology*, Springer: 1-9 (Online First).
- Sun, Q., Zhu, W., Li, M. and Tan, X. (2015), Morphological changes of *Microcystis aeruginosa* colonies in culture, *Journal of Limnology*, 75(1), PAGEPress: 14-23.
- Su, Y., Zhu, W., Gong, M., Zhou, H., Fan, Y. and Amuzu-Sefordzi, B. (2015) Interaction between sewage sludge components lignin (phenol) and proteins (alanine) in supercritical water gasification. *International Journal of Hydrogen Energy*, 40(30), Elsevier: 9125-9136.
- Min, F.L., Zhu, W., Lin, C. and Guo, X.J. (2015) Opening the excavation chamber of the large-diameter size slurry shield: A case study in Nanjing Yangtze River Tunnel in China. *Tunnelling and Underground Space Technology*, 46, Elsevier: 18-27.
- Gong, M., Zhu, W., Fan, Y., Zhang, H. and Su, Y. (2016) Influence of the reactant carbon- hydrogen- oxygen composition on the key products of the direct gasification of dewatered sewage sludge in supercritical water, *Bioresource Technology*, 208, Elsevier: 81-86.
- Fan, Y.J., Zhu, W., Gong, M., Su, Y., Zhang, H.W. and Zeng, J.N. (2016) Catalytic gasification of dewatered sewage sludge in supercritical water: Influences of formic acid on hydrogen production, *International Journal of Hydrogen Energy*, 41(7), Elsevier: 4366-4373.
- Zhao, X., Zhu, W., Huang, J., Li, M. and Gong, M. (2015) Emission characteristics of PCDD/Fs, PAHs and PCBs during the combustion of sludge-coal water slurry. *Journal of the Energy Institute*, 88(2), Elsevier: 105-111.
- Wang, L., Zhu, W., Xie, J., Li, L. and Zhang, C. (2015) Study of the Shear Strength of Sediments in Main Sedimentation Stages. *Marine Georesources & Geotechnology*, 33(6) Taylor & Francis: 556-566.
- 朱伟·姜 谋余·蔡 勇·杨 平 (2015) 倡导“亲自然河道”治理模式—对我国农村河道治理的思考. *水资源保护*, 31 (1), 河海大学: 1-7.
- 朱伟·杨 平·龚 森 (2015) 日本“多自然河川”治理及其对我国河道整治的启示. *水资源保护*, 31 (1), 河海大学: 22-29.
- 边 博·朱伟·李 冰·吴 海锁·周 灵君 (2015) 太湖流域西部地区面源污染特征及其控制技术. *水资源保护*, 31 (1), 河海大学: 48-55.
- 包 建平·朱伟·闵 佳华 (2015) 中小河道治理中的清淤及淤泥处理技术. *水资源保护*, 31 (1), 河海大学: 56-62+68.
- 张 会文·蔡 勇·仇 荣·周 钧·刘 敏昊·朱伟 (2015) 江苏农村河道治理现状调查及分析. *水资源保护*, 31 (1), 河海大学: 69-73.
- 孙 千千·朱伟·李 明 (2015) 太湖贡湖湾和梅梁湾微囊藻群落的时空分布及其驱动因子. *湖泊科学*, 27 (5), 中国科学院: 865-872.

## 研究活動に関する業績

### 【研究プロジェクト等への参加】

科学研究費助成事業（基盤 C）「*Microcystis* の群体集積によるアオコ発生メカニズムの解明」（研究代表者：朱偉），研究代表者（2015～2017 年度）.



## 印刷物

### 【学術論文】

瀬口眞司（2015）初期土偶の根本的性質と展開過程. *古代文化*, 3 (67), 古代学協会 : 3-22.

### 【一般向けの著作】

瀬口眞司（2016）*琵琶湖に眠る縄文文化 粟津湖底遺跡*, 新泉社, 東京都 : 93p.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

瀬口眞司（2015年11月20日）縄文人のエコロジーとエコノミー ―森と湖の開拓者達―. 琵琶湖博物館研究セミナー, 琵琶湖博物館, 琵琶湖博物館, [口頭発表].

### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

日本植生史学会, 植生史研究, 査読, 1件.

## 館内の人事・館外活動等に関すること

### 【館外の活動】

2015年前期, 奈良大学, 非常勤講師.

2016年1月5日～7日, 滋賀県立大学, 「地域考古学」(集中講義).

## 印刷物

### 【学術論文】

高梨純次（2015）甲賀市・櫛野、阿弥陀寺本尊の阿弥陀如来坐像について．*淡海文化財論叢*, 7 : 92-95.

高梨純次（2016）石山寺・塑造淳祐内供坐像の造像について．*文化学年報*, 65 : 399-423.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

高梨純次（2015年11月20日）神仏習合と神像の成立．琵琶湖博物館研究セミナー，琵琶湖博物館，琵琶湖博物館，  
[口頭発表].

### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館総合研究「前近代を中心とした琵琶湖周辺地域における自然および自然観の通時的変遷に関する研究」  
（研究代表者：橋本道範），共同研究者（2014～2018年度）.

## 博物館事業に関する業績

### 【展示活動】

#### 他博物館・機関の活動

MIHO MUSEUM, 2016年3月1日～5月15日，飾り—信仰と祭のエネルギー—，展覧会企画.

## 館内の人事・館外活動等に関すること

### 【大学の講義・実習、学生の指導など】

2015年度，同志社大学，講師.

2015年度，京都大学，講師.

2015年9月，京都女子大学，「博物館展示論」，集中講義.

## 印刷物

### 【専門分野の著作】

辻川（井上）智代（2015）民具の名称に関する基礎的研究[地域名一覧編] 滋賀県の民具名称. *国際常民文化研究叢書*, 9, 神奈川大学国際常民文化研究機構：189-228.

辻川智代（2016）「ウエ熊」乗田宗法氏による筥の復元製作. *研究調査報告書「東アジアの水環境—水辺暮らしの記憶と記録—*」, 28, 滋賀県立琵琶湖博物館：105-110.

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### *琵琶湖博物館の主催行事*

はしかけ運営「近江はたおり探検隊」, 担当.

## 印刷物

### 【学術論文】

河野俊夫・鹿山雅裕・中野聰志（2015）鹿児島県桜島産クリストバライトのフォトルミネッセンスとカソードミネッセンス. *地球科学*, 69 : 337-342.

多賀 優・河野俊夫・中野聰志（2015）紫色レーザー光励起による蛍光現象を用いた方解石の複屈折についての教材. *地学教育*, 68 : 1-12.

Nakano, S., Kojima, S., Makino, K., Kayama, M., Mishido, H. and Akai, J. (2016) Cryptoperthitic and replacive intergrowths with iridescence in monzonitic rocks from Cerro Colorado, northern Chile. *European Journal of Mineralogy*, Prepub, DOI: 10.1127/ejm/2016/0028-2522.

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### *琵琶湖博物館の主催行事*

はしかけ「大津の岩石調査隊」, 指導補助, 12件.

## 印刷物

### 【一般向けの著作】

中野正俊 (2016) アクティブ・ラーニングを理科学習にどう生かすか…Naturalis Biodiversity Center (オランダ・ラゲン市) と Natural Science CosmoCaixa (スペイン・バルセロナ市) における科学教育を視察して…。平成 27 年度滋賀県小学校教育研究会理科部会研究紀要, 滋賀県教育研究会理科部会 : 72-73.

## 研究活動に関する業績

### 【研究プロジェクト等への参加】

科学研究費助成事業(基盤 C)「児童の理科学力と学習意欲向上に寄与する博物館・学校・地域連携モデルの開発と汎用化」(研究代表者: 中野正俊), 研究代表者 (2015~2017 年度).

### 【受賞など】

平成 27 年度文部科学大臣優秀教員表彰, 2016 年 1 月 18 日, 学習指導部門.

平成 27 年度滋賀県教育会教育研究賞 優秀賞, 2016 年 3 月 11 日, 社会教育施設、地域住民、学校が協働する理科・環境学習…3 者がチームとなって進めるアクティブ・ラーニングの一試行….

## 印刷物

### 【専門分野の著作】

林 博通（2016）西浜千軒遺跡—琵琶湖湖底遺跡の調査・研究—。琵琶湖湖底遺跡研究略史およびその現状と課題、滋賀県立大学琵琶湖水中考古学研究会：72-75.

### 【一般向けの著作】

林 博通（2016）再考大津京総論。湖国と文化，154，公益財団法人滋賀県文化振興事業団：10-15.

## 研究活動に関する業績

### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

条里制・古代都市研究会，役員（評議員）.

## 博物館事業に関する業績

### 【資料整備活動】

琵琶湖博物館の活動

湖底遺跡調査，資料整理.

## 印刷物

### 【専門分野の著作】

廣石伸互 (2015) 沿岸環境修復技術としての貝殻利用の最前線-II. *月刊海洋*, 47(3), 海洋出版株式会社: 126-128.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

廣石伸互 (2015年8月21日) アオコを溶かす微生物. 琵琶湖博物館研究セミナー, 琵琶湖博物館, 琵琶湖博物館,  
[口頭発表].

### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

日本水環境学会, 中部支部会, 理事.

マリンバイオロジー学会, 評議員.

沿岸環境関連学会, 連絡協議会, 運営委員.

日本水産学会, 水産環境保全委員会, 委員.

## 印刷物

### 【学術論文】

- Fujioka, Y., Sakai, A. and Ide, A. (2015) Horizontal and vertical distribution of *Cottus reinii* (Pisces:Cittidae) in Lake Biwa, central Japan. *Biogeography*, 17: 13-20.
- Fujioka, Y., Kikko, T., Saegusa, J., Usuki, T. and Ohtsuka, T. (2015) Response of sex ratio to timing of breeding in the small cyprinid *Gnathopogon caerulescens*. *Journal of Fish Biology*, DOI: 10.1111/jfb.12768.
- 藤岡康弘・三枝 仁・亀甲武志 (2016) ホンモロコのペアーによる産卵および卵の孵化率. *水産増殖*, 4 (63) :463-468.
- Kikko, T., Okamoto, H., Ujiie, M., Usuki, T., Saegusa, J., Ishizaki, D., Fujioka, Y., Kai, Y. and Nakayama, K. (2016) Genetic evaluation of hatchery stocks of Honmoroko *Gnathopogon caerulescens* by mitochondrial DNA sequence for stock enhancement. *Fisheries science*, DOI: 10.1007/s12562-015-0958-4.
- Nagazawa, K. and Fujioka, Y. (2016) *Pseudorhadinorhynchus samegaiensis* (Acanthocephala: Echinorhynchida: Illiosentidae) uses the amphipod *Jesogammarus (Annanogammarus) fluvialis* as an intermediate host in a stream of the Lake Biwa Basin, central Japan. *Species Diversity*, 20: 191-197.

### 【専門分野の著作】

- 藤岡康弘 (2015) 現代に伝わる「ふなずし」の多様性. *みんなで語る「ふなずし」の歴史*, 滋賀県ミュージアム活性化推進委員会 : 269-289.

### 【一般向けの著作】

- 藤岡康弘 (2016) 琵琶湖のホンモロコの子供は春は雌 夏は雄が多い. *自然保護*, 549, 自然保護協会.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

- 藤岡康弘 (2015年12月12日) 総合研究「前近代を中心とした琵琶湖周辺地域における自然および自然観の通時的変遷に関する研究」琵琶湖の漁獲量の長期変遷. 琵琶湖博物館研究報告会, 琵琶湖博物館, 琵琶湖博物館, [口頭発表].

### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

- 陸水学雑誌 (日本陸水学会), 査読, 1件.  
Journal of Fish Biology, 査読, 1件.

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### 他の博物館・機関等主催行事

- 2015年6月8日, 琵琶湖の在来魚の現状と再生への展望, 滋賀県立大学, フィールドワーク, 滋賀県立大学 (彦根)



市), 講演.

2015年7月15日, 琵琶湖の環境と魚, 日野町立必佐小学校, 日野町立必佐小学校 (滋賀県), 講演.

2015年9月6日, 愛知川に人と生き物の賑わいを取り戻す, 東近江市およびびわ湖の森の生き物研究会, シンポジウム東近江の川を活かす, 第7回びわ湖の森の生き物講演会, アピアホール (滋賀県東近江市), 講演.

2015年11月8日, いのちのつながりに立ち会う～ビワマスの遡上と産卵～, 東近江市, 東近江森の博覧会, 永源寺コミュニティーセンター (滋賀県東近江市), 講演と産卵観察会指導.

2015年11月22日, ビワマスの生態, 野洲市, ビワマスフォーラム, コミュニティセンターぎおう (滋賀県野洲市), 講演.

2015年11月29日, 琵琶湖の在来魚の現状と再生, 滋賀大学, 滋賀大学 (滋賀県大津市), 講演.

2016年1月30日, 公開座談会「ふなずし」の歴史が変わる. 滋賀県ミュージアム活性化推進委員会, 琵琶湖博物館, 対談.

2016年2月17日, 琵琶湖の環境と漁業・魚, 日野町立西大路小学校, 日野町立西大路小学校 (滋賀県), 講演.

## 館内の人事・館外活動等に関すること

### 【海外渡航】

2015年6月13日～21日, モンゴル国, 猛禽類や野馬復帰に関する調査.

2016年2月21日～28日, カンボジア王国, トンレサップ湖の魚類および漁業についての調査.

## 印刷物

### 【学術論文】

Blakemore, R. J. (2016) Darwin's earthworms (Annelida, Oligochaeta, Megadrilacea) with review of cosmopolitan *Metaphire peguana*-species group from Philippines. *Opuscula Zoologica Budapest*, 47 (1), Eötvös Loránd University: 9-30.

## 研究活動に関する業績

### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館総合研究「琵琶湖の生物多様性の成立過程の解明」(研究代表者: マーク J. グライガー), 共同研究者 (2015 年度).

## 博物館事業に関する業績

### 【資料整備活動】

#### *琵琶湖博物館の活動*

標本収集, 無脊椎動物 (ミミズ類), 7 点, DNA の塩基配列分析のためのサンプル, 4 点.  
標本同定, 無脊椎動物 (ミミズ類), 4 点.

## 印刷物

### 【一般向けの著作】

矢田直樹 (2016) 親子で日本遺産・世界遺産にGO!. 教育しが, 56, 滋賀県教育委員会:3.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

矢田直樹 (2015年11月20日) 近江の民俗信仰ー野神を中心にー. 琵琶湖博物館研究セミナー, 琵琶湖博物館, 琵琶湖博物館, [口頭発表].

### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館総合研究「前近代とした琵琶湖周辺地域における自然および自然観の通時的変遷に関する研究」(研究代表者:橋本道範), 共同研究者 (2014~2018年度).

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### 他の博物館・機関等主催行事

2015年9月1日, 近江中山の芋競べ祭り探訪会, 滋賀県民俗文化財保護ネットワーク, 滋賀県教育委員会, 近江中山の芋競べ祭り探訪会, 日野町中山 (滋賀県), 司会.

2015年10月13日, 民俗文化を見つめ直す~人と地域の輝きをもとめて~, 滋賀県教育委員会, 平成27年度ふれあい教育対談, 滋賀県庁 (大津市), 講師.

2016年2月5日, 伝統工芸技術に関する意見交換会, 滋賀県教育委員会, 伝統工芸技術に関する意見交換会, 彦根市商工会 (滋賀県), 司会.

2016年2月10日, 滋賀県民俗文化財保護ネットワーク研修会, 滋賀県民俗文化財保護ネットワーク, 滋賀県民俗文化財保護ネットワーク研修会, ライズヴィル都賀山 (滋賀県守山市), 講師・司会.

2016年2月14日, 近江の祭りに見る祈りの美, 公益財団法人竜王町地域振興事業団, 平成27年度妹背の里連続歴史講座, 妹背の里 (滋賀県竜王町), 講師.

#### メディアへの協力

2015年9月11日・14日, NHK, おうみ発630 ニュースほっと関西, “祭り”の担い手不足解消 地域外の人も参加を, ロケ・インタビュー, (2015年9月3日・11日取材対応).

## 館内の人事・館外活動等に関すること

### 【館外の活動】

2013年~2016年, 「学校にアートがやってきた」推進懇話会 (滋賀県文化振興課), 懇話会委員.

2015年～2016年，小浜放生祭総合調査（福井県教育庁），調査員.

## 総合研究・共同研究による印刷物

- Blakemore, R. J. (2016) Darwin's earthworms (Annelida, Oligochaeta, Megadrilacea) with review of cosmopolitan *Metaphire perguana*-species group from Philippines. *Opuscula Zoologica (Budapest)*, 47(1), Department of Systematic Zoology & Ecology, Eötvös Loránd University: 9-30.
- Kakioka, R., Kokita, T., Komada, H., Watanabe, K. and Okuda, N. (2015) Genomic architecture of habitat-related divergence and signature of directional selection in the body shapes of *Gnathopogon* fishes. *Molecular Ecology*, 24, Wiley Online Library: 4159-4174.
- Karanovic, T., Kim, K. and Grygier, M. J. (2015) A new species of *Schizopera* (Copepoda: Harpacticoida) from Japan, its phylogeny based on the mtCOI gene and comments on the genus *Schizoperopsis*. *Journal of Natural History*, 49 (41-42), Taylor & Francis: 2493-2526, <http://dx.doi.org/10.1080/00222933.2015.1028112>.
- Karanovic, T., Djurakic, M. and Eberhard, S. M. (2016; online 2105年11月24日) Cryptic species or inadequate taxonomy? Implementation of 2D geometric morphometrics based on integumental organs as landmarks for delimitation and description of copepod taxa. *Systematic Biology*, 65 (2), Society of Systematic Biology and Oxford Journals: 304-327.
- Nakagawa, H., Seki, S., Ishikawa, T. and Watanabe, K. (2015) Genetic population structure of the Japanese torrent catfish *Liobagrus reinii* (Amblycipitidae) inferred from mitochondrial cytochrome b variations. *Ichthyological Research*, 日本魚類学会・Springer: doi:10.1007/s10228-015-0503-6.
- Park, J.-G. and Cho, J.-L. (2015) Redefinition of *Nipponbathynella* based on the four new species from East Asia (Crustacea: Bathynellacea: Parabathynellidae). *Journal of Natural History*, 49(37-38), Taylor & Francis: 2275-2307, <http://dx.doi.org/10.1080/00222933.2015.1023226>.
- 里口保文 (2015) 古琵琶湖層群下部層序の再検討. *地質学雑誌*, 121, 日本地質学会: 125-139.
- Smith, R. J. and Kamiya, T. (2015) Four new species of the subfamily Candoninae (Crustacea, Ostracoda) from freshwater habitats in Japan. *European Journal of Taxonomy*, 136, ヨーロッパの自然史期間 6 館のコンソーシアム: 1-34.
- Tabata R., Kakioka, R., Tominaga, K., Komiya T. and Watanabe, K. (2016) Phylogeny and historical demography of endemic fishes in Lake Biwa: the ancient lake as a promoter of evolution and diversification of freshwater fishes in western Japan. *Evolutionary Ecology*, Springer: doi: 10.1002/ece3.2070.
- Takahara, H. and Hayashi, R. (2015) Paleovegetation during marine isotope stage 3 in East Asia. In: Kaifu, Y., Izuhō, M., Goebel, T., Sato, H. and Ono, A. (eds.), *Emergence and Diversity of Modern Human Behavior in Paleolithic Asia*, Texas A&M University Press: 314-324.
- 高橋啓一 (2015) 旧石器時代から縄文時代にかけての動物相の変化. *季刊考古学*, 132, 雄山閣: 23-27.
- 高橋啓一・馬場理香・加藤正明 (2016) 門前標本, 見玉標本 (*Mammuthus* 属) の X 線 CT 装置による観察. *長岡市立科学博物館研究報告*, 51, 長岡市立科学博物館: 1-6.
- Tominaga, K., Nakajima, J. and Watanabe, K. (2015) Cryptic divergence and phylogeography of the pike gudgeon *Pseudogobio esocinus* (Teleostei: Cyprinidae): a comprehensive case of freshwater phylogeography in Japan. *Ichthyological Research*, 63, 日本魚類学会・Springer: 79-93.
- Urabe, M. (2016) Experimental infection of the digeneans to some congeneric snail species radiated in a single water system: Relative importance of local evolution and phylogenetic constraint. *Parasitology International* 65(3), 日本寄生虫学会・Elsevier: 221-226, doi:10.1016/j.parint.2016.01.003.
- Yamasaki, Y. Y., Nishida, M., Suzuki, T., Mukai, T. and Watanabe, K. (2015) Phylogeny, hybridization, and life history evolution of *Rhinogobius* gobies in Japan, inferred from multiple nuclear gene sequences. *Molecular Phylogenetics and Evolution*, 90, Elsevier: 20-33
- 戸田 孝 (2016) 教員を学校以外へ配属する場合の人事制度の地域差. *科学教育研究*, 40 (1), 日本科学教育学会:

92-97.

戸田 孝 (2016) 博物館総合調査に見る「博物館教員」の現状. *日本の博物館総合調査研究 平成 27 年度報告書*, 日本学術振興会 (JSPS) 科学研究費助成事業研究基盤 (B) 課題番号 25282079 : 166-175.

**【これまでの業績集に掲載されていない著作】**

Blakemore, R. J. (2012) New earthworm species from NIBR's Jeju-do biosphere compared to historical and new Japanese types (Oligochaeta: Megadrilacea: Megascolecidae). *Journal of Species Research*, 1(2), National Institute of Biological Resources: 133-150.

林 竜馬・高原 光 (2014) 東アジアの花粉記録に残された千年スケールでの植生変動の証拠. *号外地球*, 63, 海洋出版 : 74-80.

Karanovic, I. (2015) Barcoding of ancient lake ostracods (Crustacea) reveals cryptic speciation with extremely low distances. *PLoS ONE*, 10(3), Public Library of Science: e0121133, DOI: 10.1371/journal.pone.0121133.

\*編集者注：著者の順番は、様々な分野で異なった様式があると思われるが、分野等は考慮せず、アルファベット順に並べた。

## 2015年度の研究活動をふり返って

琵琶湖博物館中長期基本計画では、琵琶湖博物館ならではの学際的・地域的研究の確立をはかることを目標にしている。今年度は、琵琶湖博物館ならではの学際的・地域的研究、また他の研究機関や地域の人びとともに調査研究した成果を活かして、C展示室、水族展示室の展示リニューアルを行うこと、外部資金による研究代表者・研究分担者研究事業15件が目標値であった。学際的・地域的研究、また他の研究機関や地域の人びとともに調査研究した成果を活かして、C展示室、水族展示室の展示リニューアルを行う予定である。また、外部資金による研究代表者・研究分担者研究事業についても目標値を達成した。科学研究費などの外部資金の獲得を組織的に取り組んでおり、今年度科学研究費については、新規に5件が採択され継続もあわせると14件が採択されている。この件数は都道府県市町村立博物館の中で第一位である。今後も科研費申請は研究を本務とする学芸職員の義務という位置づけは継続していくとともに、新規の採択率をあげていく必要がある。

研究の発信は、学術論文24件、専門分野の著述33件、一般向けの著述20件、学会発表は48件であった。研究成果の発信数は論文数において昨年度の数字を下回った。次年度は、開館以来蓄積した琵琶湖博物館ならではの学際的・地域的研究、また他の研究機関や地域の人びとともに調査研究した成果を活かして、C展示室、水族展示室の展示リニューアルを行うことが大きな目標となる。中日新聞連載コラム「湖岸より」などへの執筆を続けているが、今後も、研究の成果をわかりやすく一般の方に伝えることを継続するとともに、その充実を図っていきたい。

また、本年度は昨年度の新琵琶湖学セミナーに続き、新琵琶湖学セミナー「いざリニューアルへ！」と題したやや専門的な一般向けの講座を開催した。今回のセミナーでは、C展示のリニューアルに関わるこれまでの博物館の研究をそれぞれの専門分野の第一線、最新の成果を交えて講義を行った。1月、2月、3月の3回に渡って、内部・外部の講師による6本の発表を行った。合計166名の参加があり、好評であった。今後も、湖と人の関わりについて視点を変えて探求していくセミナーの開催が望まれる。

研究部長 八尋克郎

琵琶湖博物館業績目録 第20号

2015年度

平成28年(2016年)6月発行

編集：滋賀県立琵琶湖博物館

発行：滋賀県立琵琶湖博物館

〒525-0001 滋賀県草津市下物町1091  
電話 077-568-4811(代)